

中央アジア関連研究文献リスト  
2004～2013年

『日本中央アジア学会報』第11号付録

日本中央アジア学会  
2015



## 目 次

凡 例 .....	1
書 籍 .....	3
論 文 .....	27



## 凡 例

1. 本リストは、『日本中央アジア学会報』第1号～10号の毎号に掲載された「中央アジア関連研究文献リスト」の10年間分を統合・編集して作成したものである。対象となった文献の刊行期間は、2004年1月～2013年12月に当たる。
2. 本リスト作成に際しては、若干の文献に関するデータを加えた以外は、文献データの本格的な追加作業や現物確認を経ての修正作業等を行っていない。
3. 本リストは、イスラーム化以降の中央アジア地域に関する人文・社会科学系の研究文献を対象とする。
4. 本リストにおける「中央アジア」は、旧ソ連領中央アジア諸国と中国新疆ウイグル自治区、およびその周辺地域を含む。
5. 原則として、国内で刊行された、国内で活動する研究者による著作を中心とし、エッセイや辞典項目等は除外した。
6. 文献の配列について
  - ① 著者名（姓名の姓）の五十音順に配列した。
  - ② 「書籍」の中に掲載される逐次刊行物の特集については、当該逐次刊行物のタイトルで配列した。
  - ③ 中国人漢語名については、日本語の漢字音読みにしたがって配列した。
  - ④ ローマ字人名については、基本的に日本語による読み方にしたがって配列した。
  - ⑤ 中国のウイグル人やカザフ人等の人名は、一般的に「本人の名前＋父の名前」からなり、「本人の名前」が「父の名前」の前に配置されることが多いが、逆の場合もありうる。本リストにおいては、「本人の名前」・「父の名前」のどちらかにしたがって配列する、という方式は採用せず、原記載通りの表記にしたがって配列した。
7. 複数著者の文献については、第一著者以外の共著者名の箇所、矢印表示の「見よ」項目を配して、参照の便を図った。
8. カタカナで表記される著者名の表記方法について
  - ① 原記載において「名・姓」の順になっている場合、「姓,名」と表記した。
  - ② 原記載において、「姓・名」の順で、中黒（・）やスペースが姓と名の間に入っている場合も、「姓,名」という表記に統一した。
  - ③ 中国のウイグル人やカザフ人等の人名における本人名と父名の間には、原記載でスペースが入っている場合も含め、中黒（・）を入れた。
9. 文献タイトルの副題については、コロンつなぎで統一した。

10. 書籍に付されている価格の表示は、各号における年ごとの文献リストに掲載されたデータを踏襲している。本リスト編集段階（2015年）における価格を反映するものではない。
11. 原記載において明らかに誤字と思われる箇所については、訂正した上で掲載した。  
（例）新疆 → 新疆

## 書籍

『アジア研ワールド・トレンド』112号, 2005「特集・ウイグル人の現在: 中国と中央アジアの間で」

梅村坦「ウイグル社会への『漢流』」

新免康「ウイグル人の歴史と現在」

堀直「ウイグルの古都ヤルカンド」

菅原純「翻弄された文字文化: 現代ウイグル語の黄昏」

リズワン・アブリミティ「新疆におけるウイグル人の民族学校」

藤山正二郎「儀礼的世界のウイグル女性」

岡奈津子「カザフスタンのウイグル人」

菅原純「ウイグル人と大日本帝国」

アナトラ・グリジャナティ 2013『中国新疆ウイグル自治区における少数民族双語教育に関する研究』(富士ゼロックス株式会社小林節太郎記念基金 2009年度研究助成論文) 富士ゼロックス小林節太郎記念基金 (非売品)

アブドゥルアハトフ, ナーディルベク等編 2007 → ムミノフ, アシルベク, ナーディルベク・アブドゥルアハトフ, 河原弥生編 2007

Ieda, Osamu and Uyama Tomohiko, eds., 2005, *Reconstruction and Interaction of Slavic Eurasia and Its Neighboring Worlds*, Slavic Research Center, Hokkaido University

(非売品 [http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/coe21/publish/no10\\_ses/contents.html](http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/coe21/publish/no10_ses/contents.html) からダウンロード可)

猪口孝編 2009『アジア・バロメーター 南アジアと中央アジアの価値観: アジア世論調査(2005)の分析と資料』明石書店 (8,000円+税)

ティムール・ダダバエフ「トルクメニスタンの政治、経済、社会の変化と国民の選択」

ティムール・ダダバエフ「中央アジアで移行はどのような影響を及ぼしているか: ウズベキスタンにおけるイデオロギー、経済、価値体系の変化に対する対応」

などを所収

池本修一、杉浦史和、岩崎一郎編 2008『グローバリゼーションと体制移行の経済学』文真堂 (2,900円)

輪島実樹「中央アジア諸国の市場経済化と外貨導入政策の現状: 「持てる国」カザフスタンの事例」

田畑理一「キルギス共和国の体制転換: グローバリゼーション下の小国の生き残り策」

などを所収

石郷岡建 2004『ユーラシアの地政学:ソ連崩壊後のロシア・中央アジア』岩波書店 (1,700 円)。

井土慎二 2012『タジク語文法便覧』東北大学出版会 (2,000 円)

伊藤香純等 2005 → 湊直信、林泰史、伊藤香純 2005

伊東孝之監修、広瀬佳一、湯浅剛編 2013『平和構築へのアプローチ:ユーラシア紛争研究の最前線』吉田書店 (3,800 円)

稲垣文昭「資源小国のエネルギー政策:キルギスとタジキスタンから見た中央アジア」

東島雅昌「中央アジアの政治変動:権威主義体制と選挙の多様性」

袴田茂樹「日本とロシア・ユーラシア:私の経験的政策論」

湯浅剛「日本にとってユーラシアとは:変化する国際環境と内政を見据えて」

などを所収

伊藤敏樹 2004『モンゴル vs. 西欧 vs. イスラム:13世紀の世界大戦』講談社 (1,680 円)

井上充幸等編 2009 → 窪田順平、承志、井上充幸編 2009

イブラヒム, アブデュルレシト (小松香織、小松久男訳) 2013『ジャボンヤ:イブラヒムの明治日本探訪記』岩波書店 (9,400 円)

岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004『現代中央アジア論:変貌する政治・経済の深層』日本評論社 (3,000 円)

小松久男「総論 中央アジアの眺望:歴史と地域」

地田徹朗「ソ連時代の共和国政治:共産党体制と民族エリートの成長」

宇山智彦「政治体制と政治制度:大統領制と権威主義」

岡奈津子「民族と政治:国家の『民族化』と変化する民族間関係」

帯谷知可「宗教と紛争:イスラム復興と世俗主義の調和を求めて」

湯浅剛「国際関係と安全保障:地域国際システムの形成と越境する脅威」

中村泰三「ソ連時代の共和国経済:計画経済体制下の中央アジア地域開発」

岩崎一郎「市場経済移行とマクロ経済実績:分極化する経済システム」

錦見浩司「農業改革:市場システム形成の実際」

片山博文「環境問題:『負の遺産』と市場経済化のはざままで」

輪島実樹「世界経済への統合:扉を開く天然資源」

などを所収

岩崎一郎 2004『中央アジア体制移行経済の制度分析:政府-企業間関係の進化と経済成果』東京大学出版会 (11,500 円)

岩崎雅美編 2004『中国・シルクロードの女性と生活』東方出版 (2,000 円)

宮坂靖子「ウイグル族の家族と生活」

服部判子「南疆における家庭生活とジェンダー」

岩崎雅美「南疆における伝統的な服飾：ジェンダーの視点から」

村田仁代「北疆における服飾：伝統と変容」

中田理恵子「ウイグル族の食生活」

瀬渡章子「カシュガル地区におけるウイグル族の住まいと生活」

久保博子「冬期の住生活と都市部の現代住宅」

などを所収

岩崎雅美 2006『中国・新疆ウイグル自治区の女性と生活環境に関する総合的研究』（平成15年度～17年度科学研究費補助金 基盤研究(B) 研究成果報告書）（非売品）

岩崎雅美 2006『ウイグル女性の家族と生活：中国・シルクロード』東方出版（2,400円）

梅谷博之等編 2004 → 林徹、梅谷博之編 2004

梅村坦等編 2005 → 小松久男、梅村坦、宇山智彦、帯谷知可、堀川徹編 2005

梅村坦、新免康編 2011『中央ユーラシアの文化と社会』（中央大学政策文化総合研究所研究叢書）中央大学出版部（4,305円）

保坂俊司「ナーナクの思想形成における中央アジアのインパクト：ナーナクとパープルの遭遇を手掛かりに」

新免康「新疆におけるスウェーデン伝道団の活動とムスリム住民」

侍建宇「古代帝国に組み入れられる現代国家：帝国型国家（Empire-state）と現代中国の国家形態」

香月法子「多様化するゾロアスター教徒：改宗ゾロアスター教徒に対するパールシー・コミュニティの反応」

王瓊「漢語教育に対するウイグル人の意識：教員と大学生に対する HSK, MHK に関するアンケート調査から」

梅村坦「現代カシュガルのウイグル人鍛冶職人集団：歴史的考察への予備作業」

などを所収

梅村坦、江上綏総合編集 2013『図録 文字から見る歴史と文化：江上波夫蒐集品を中心に』山川出版社（3,500円）

梅村坦「中国へ入った外来の文字」

新免康「新疆の文字」

などを所収

宇山智彦等編 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004

宇山智彦等編 2005 → 小松久男、梅村坦、宇山智彦、帯谷知可、堀川徹編 2005

Uyama, Tomohiko et al., ed., 2005 → Ieda, Osamu and Uyama Tomohiko, eds. 2005

Uyama, Tomohiko, ed., 2007, *Empire, Islam, and Politics in Central Eurasia*, 21st Century COE

Program, Slavic Eurasian Studies No.14, Sapporo: Slavic Research Center, Hokkaido University

Hanya, Shiro, “Nationalities Policy in the Brezhnev Era: The Case of Deported Nations”

Komatsu, Hisao, “Dar al-Islam under Russian Rule as Understood by Turkestan Muslim Intellectuals”

Uyama, Tomohiko, “A Particularist Empire: The Russian Politics of Christianization and Military Conscription in Central Asia”

Naganawa, Norihiro, “Maktab or School? Introduction of Universal Primary Education among the Volga-Ural Muslims”

Oka, Natsuko, “Transnationalism as a Threat to State Security? Case Studies on Uighurs and Uzbeks in Kazakhstan”

などを所収

宇山智彦編、北海道大学スラブ研究センター監修 2008『地域認識論：多民族空間の構造と表象』（講座スラブ・ユーラシア学2）講談社（2,310 円）

宇山智彦「地域認識の方法：オリエンタリズム論を超えて」

木村暁「中央アジアとイラン：史料に見る地域認識」

野田仁「露清関係とカザフ草原：帝国支配と外交の中の地域認識」

長縄宣博「ロシア帝国のムスリムにとっての制度・地域・越境：タタール人の場合」

などを所収

宇山智彦、クリストファー・レン、廣瀬徹也編 2009『日本の中央アジア外交：試される地域戦略』北海道大学出版会（1,800 円＋税）

廣瀬徹也「対中央アジア外交の概観：実務レベルでの政策立案者の視点から」

河東哲夫「対中央アジア政策の推移：シルクロード外交から「中央アジア＋日本」へ

湯浅剛「ユーラシアへの「価値の外交」は定着するか：「自由と繁栄の弧」構想とその後」

宇山智彦「対中央アジア外交の歴史的文脈と展望：アジア主義と日米関係のはざままで」

ティムール・ダダバエフ「対中央アジア協力の現状と課題：機能主義の観点から」

岩下明裕「上海協力機構：「反米」ゲームの誘惑に抗して」

嶋尾孔仁子「現代グローバル化の下での日本のエネルギー戦略：西アジア・中央アジアの場合」

などを所収

Uyama, Tomohiko, ed., 2011, *Asiatic Russia: Imperial Power in Regional and International Contexts*, London: Routledge, xv + 296 p. (£ 80.00)

Uyama, Tomohiko, “Introduction: Asiatic Russia as a space for asymmetric interaction”

Hamamoto, Mami, “Tatarskaia Kargala in Russia’s eastern policies”

Noda, Jin, “Russo-Chinese trade through Central Asia: regulations and reality”

Kimura, Satoru, “Sunni-Shi‘i relations in the Russian protectorate of Bukhara, as perceived by the local ‘ulama”

Uyama, Tomohiko, “The Alash Orda’s relations with Siberia, the Urals and Turkestan: the Kazakh national movement and the Russian imperial legacy”

などを所収

宇山智彦 2012 『比較帝国論の世界：新学術領域研究第4班中間成果』北海道大学スラブ研究センター（非売品）

宇山智彦「帝国の弱さ」

などを所収

Uyama, Tomohiko, ed., 2012, *Empire and after: Essays in Comparative Imperial and Decolonization Studies*, Sapporo: Slavic Research Center, Hokkaido University（非売品）

Uyama, Tomohiko, “Mutual relations and perceptions of Russians and Central Asians”

などを所収

宇山智彦等編 2012 → 塩川伸明、小松久男、沼野充義、宇山智彦編 2012

江上綏等総合編集 2013 → 梅村坦、江上綏総合編集 2013

エルタザロフ、ジュリボイ（大阪大学世界言語研究センター編集；藤家洋昭、小松格、吉村大樹訳）2010 『ソヴィエト後の中央アジア：文化、歴史、言語の諸問題』大阪大学出版会（3,990円）

王柯 2006 『20世紀中国の国家建設と「民族」』東京大学出版会（5,000円）

王柯 2007 『「天下」を目指して：中国多民族国家の歩み』農山漁村文化協会（3,048円）

応地利明著 2012 → 窪田順平監修、応地利明著 2012

大倉忠人（編）2012 『キルギス語－日本語辞書』アカデミア出版（非売品）

大杉卓三 2009 『情報ネットワークで結ぶシルクロード：国際開発協力にみる現代中央アジア』中国書店（1,785円）

大杉卓三、大谷順子編 2010 『人間の安全保障と中央アジア』（比較社会文化叢書18）花書院（2,500円）

大杉卓三「中央アジアにおける情報通信技術と社会開発」

大谷順子「中央アジア諸国の社会開発と国際保健・人口学：人間開発指標（HDI）としての HIV 感染学および喫煙率」

庄司ゆりこ「南カザフスタン HIV / AIDS：小児病棟院内感染のケース・スタディ」

羽生勇作「人間の安全保障と政治力学：カザフスタンにおける難民保護の事例」

奈尾雪絵「タジキスタンでの貧困撲滅対策」

河野明日香「中央アジア諸国における社会開発と地域コミュニティ：ウズベキスタン、キルギス、タジキスタンにおけるコミュニティ観と地域社会教育の観点から」  
久木元恵「カザフスタンにおける日本語教育の現状と課題：カザフ民族大学における事例を中心に」  
森川哲雄「新疆ウイグル自治区における牧民の定住化政策とその現状」  
リズワン・アブリミティ「1980～90年代の新疆における「民族学校」の役割」  
飯島聰「カザフスタンに対する日本の経済協力」  
などを所収。

大谷順子等編 2010 → 大杉卓三、大谷順子編 2010

岡奈津子等 2006 → 半谷史郎、岡奈津子 2006

岡奈津子編 2008『移住と「帰郷」：離散民族と故地』日本貿易振興機構アジア経済研究所（非売品）

岡本雅享 2008『中国の少数民族教育と言語政策』社会評論社【増補改訂版】（8,200円＋税）

お茶の水女子大学グローバル協力センター編 2012『アフガニスタンの女子教育支援：ノンフォーマル教育の視点から』お茶の水女子大学グローバル協力センター  
笹井宏益「識字教育と女性の自立」

三宅隆史「シャンティ国際ボランティア会の子どもの学校外教育」

小荒井理恵「アフガニスタンの識字教育の現状と課題」

佐久間潤「JICAのノンフォーマル教育支援」

などを所収

Onuma, Takahiro, 2009, *250 Years History of the Turkic-Muslim Camp in Beijing*, TIAS Central Eurasian Research Series No.2, TIAS: Department of Islamic Area Studies, Center for Evolving Humanities, Graduate School of Humanities and Sociology, The University of Tokyo（非売品）

Onuma, Takahiro et al., 2010 → Noda, Jin and Onuma Takahiro, 2010

帯谷知可 2005『中央アジア地域研究希少資料アーカイブの構築とその学術的一般的有効利に関する研究』（平成15年度～平成16年度科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 研究成果報告書）国立民族学博物館（非売品）

帯谷知可等編 2005 → 小松久男、梅村担、宇山智彦、帯谷知可、堀川徹編 2005

帯谷知可 2008『地域研究資料としての「トルキスタン集成」に関する総合的書誌研究』（平成17年度～平成19年度日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)・研究成果報告書）（非売品）

Obiya, Chika and Kuroki Hidemitsu, eds., 2006, *Political Violence and Human Security in the Post-9.11 World* (JCAS Symposium Series 24, State Nation and Ethnic Relations IX), The Japan

Center for Area Studies.

帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 『朝倉世界地理講座 5 中央アジア』 朝倉書店 (17,000

円 + 税)

菅原睦 「テュルク文化とペルシア文化」

小松久男 「イスラーム化の進展」

北川誠一 「南コーカサスのキリスト教」

川本正知 「中央アジアにおける聖者崇拜の実態」

吉田世津子 「「遊牧民」の現在」

真田安 「バザールと人々」

宇山智彦 「帝政ロシア支配の実像とロシア・ムスリム知識人」

帯谷知可、北川誠一 「「民族」の成立と国境画定」

北川誠一 「南コーカサスにおける政治と文学：アルメニアを中心に」

清水学 「中央アジア農業の市場化とその課題」

小松久男 「イスラーム復興」

宇山智彦 「タジキスタン内戦と和平」

新免康 「中央アジアにおけるウイグル人の越境とその背景」

半谷史郎、岡奈津子 「中央アジアに強制移住された諸民族：歴史と現在」

坂井弘紀 「英雄叙事詩の世界」

鷲尾惟子 「ウイグル人の音楽に現れる歴史性・地域性」

浅村卓生 「ウズベキスタンの現代演劇」

湯浅剛 「現代国際関係にとってのシルクロード」

などを所収 (本学会会員執筆部分)

帯谷知可編 2013 『「トルキスタン集成」が拓く世界 .1 (データベース化の課題と展望、その資料としての可能性)』 京都大学地域研究統合情報センター (非売品)

帯谷知可 「「トルキスタン集成」のデータベース化：その展望と課題」

藤本透子 「カザフ社会の近代化過程における宗教的儀礼へのまなざし：歴史資料への人類学からのアプローチ」

宗野ふもと 「「トルキスタン集成」所収のバザールに関する資料について：現代ウズベキスタン地域研究との関連から」

中村朋美 「「トルキスタン集成」に見るロシア領トルキスタンのワクフ研究」

などを所収

帯谷知可編 2013 『「トルキスタン集成」が拓く世界 .2 (帝政ロシアの植民地的「知」の中の中央アジア)』 京都大学地域研究統合情報センター (非売品)

“Turkestanskii Sbornik as a Compilation of Colonial Knowledge: Focus on its Indexes” (OBIYA, Chika)

などを所収

加々美光行 2008 『中国の民族問題：危機の本質』(岩波現代文庫) 岩波書店 (1,200 円)

加藤九祚 2006 『アイハヌム：加藤九祚一人雑誌』 東海大学出版会 (2,100 円)

加藤九祚 2013 『シルクロードの古代都市：アムダリヤ遺跡の旅』 岩波書店 (800 円)

金子民雄 2008 『ヤングハズバンド伝：激動の中央アジアを駆け抜けた探検家』 白水社 (7,875 円)

川口琢司 2007 『ティムール帝国支配層の研究』 北海道大学出版会 (7,560 円)

川口琢司、長峰博之編、菅原睦校閲 2008 『『チンギズ・ナーマ (Čingīz-nāma)』 ウテムシユ・ハーギー (Ötämiš Hāji) 著 解題・訳註・転写・校訂テキスト』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (非売品)

河野明日香 2010 『「教育」する共同体：ウズベキスタンにおける国民形成と地域社会教育』 九州大学出版会 (4,410 円)

川野徳幸 2006 『カザフスタン共和国セミパラチンスクにおける核被害解明の試み：アンケート調査を通して』 (IPSHU 研究報告シリーズ研究報告 36) 広島大学平和科学研究センター (非売品 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/~heiwa/jrrj.html> からダウンロード可)

川野辺敏等編 2012 → 嶺井明子、川野辺敏編 2012

河原弥生、羽田亨一 (校訂) 2006 『ムハンマド・ハキーム・ハーン著：選史』 第 2 巻、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (非売品)

河原弥生等 (編) 2006 → 菅原純、河原弥生 (編) 2006

河原弥生等編 2007 → ムミノフ、アシルベク、ナーディルベク・アブドゥルアハトフ、河原弥生編 2007

河原弥生等 2008 → ジャリロフ、アマンベク、河原弥生、澤田稔、新免康、堀直 2008

Kawahara, Yayoi and Koichi Haneda., eds., 2009, *Muhammad Ḥakīm khān, Muntakhab al-tawārīkh, Selected history*, vol. I, Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa (非売品)

河原弥生等編著 2010 → 新免康、河原弥生編著 2010

Kawahara, Yayoi, 2012, *Private Archives on a Makhdūmzāda Family in Marghilan*, Tokyo: Department of Islamic Area Studies Center for Evolving Humanities, Graduate School of Humanities and sociology, The University of Tokyo (非売品)

Kawahara, Yayoi et al. eds., 2012 → Babadjanov, Bakhtiyar and Kawahara Yayoi, eds., 2012

川本正知 (校訂) 2005 『15 世紀中央アジアの聖者伝：マカーマーテ・ホージャ・アフラール / マウラーナー・シャイフとして知られる弟子編著』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (非売品)

- 川本正知 (訳注) 2005 『15 世紀中央アジアの聖者伝：ホージャ・アフラルのマカーマート / マウラーナー・シャイフとして知られる弟子編著』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (非売品)
- 川本正知 2013 『モンゴル帝国の軍隊と戦争』 山川出版社 (3,150 円)
- 菅野裕臣 2008 『中央アジアのウズベク・タジク等諸民族の言語接触等に関する社会言語学的基礎研究』 (平成 18 年度～平成 19 年度科学研究費補助金・基盤研究 (C)・研究成果報告書) (非売品)
- 菊田悠 2013 『ウズベキスタンの聖者崇敬：陶器の町とポスト・ソヴィエト時代のイスラーム』 風響社 (6,000 円)
- 北川誠一、前田弘毅、廣瀬陽子、吉村貴之編著 2006 『コーカサスを知るための 60 章』 明石書店 (2,000 円)
- 北川誠一等編 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012
- 小松久男、梅村担、宇山智彦、帯谷知可、堀川徹編 2005 『中央ユーラシアを知る事典』 平凡社 (6,500 円)
- 木村崇ほか編 2006 『カフカース：二つの文明が交差する境界』 彩流社 (3,800 円)
- 窪田順平、承志、井上充幸編 2009 『イリ河流域歴史地理論集：ユーラシア深奥部からの眺め』 松香堂 (3,800 円 + 税)
- 小沼孝博「ジュンガルの支配体制に関する基礎的検討」
- 村上信明「乾隆・嘉慶期における新疆北部ダラダムトゥ金鉱の開採問題」
- 華立「清代イリにおける民人社会の形成とその諸相」
- 野田仁「イリ事件再考：ロシア統治下のイリ地方 (1871-1881 年)」
- 陳維新「中国とロシアの霍爾果斯河国境交渉：中露の外交地図、外交档案を手がかりに」
- などを所収
- 窪田順平編 2010 『ユーラシア中央域の歴史構図：13～15 世紀の東西』 総合地球環境学研究所
- 小野浩「ギヤースッディーン・ナッカーシュのティムール朝遣明使節行記録 全訳・註解：ハーフィズィ・アブルー『バイスングルの歴史精華』から」
- などを所収。
- 窪田順平監修、奈良間千之編 2012 『中央ユーラシア環境史 1：気候変動と人間』 臨川書店 (2,800 円)
- 奈良間千之「中央ユーラシアの自然環境と人間：変動と適応の一万年史」
- 宇山智彦「カザフスタンにおけるジュト (家畜大量死)：文献史料と気象データ (19 世紀中葉—1920 年代)」
- などを所収。
- 窪田順平監修、承志編 2012 『中央ユーラシア環境史 2：国境の出現』 臨川書店 (2,800 円)

杉山清彦「イリ地域をめぐる帝国の興亡と国境の誕生：ユーラシアの中心から周縁へ」

承志「中央ユーラシアにおける「国境」の誕生と遊牧の実態」

野田仁「歴史の中のカザフの遊牧と移動」

華立「清朝時代におけるイリ渓谷の農業開発」

華立「イリ九城点描：都市・住民・環境」

小沼孝博「遊牧国家の資源利用：ジューンガルにおける農業と交易」

承志「シベ集団の移住とその後の生活」

などを所収

窪田順平監修、渡邊三津子編 2012『中央ユーラシア環境史3:激動の近現代』臨川書店(2,800円)

小長谷有紀、渡邊三津子「中央ユーラシアの社会主義的近代化：カザフスタンとモンゴルの対比から」

地田徹朗「社会主義体制下での開発政策とその理念：近代化の「視覚」から」

渡邊三津子「社会主義的近代化の担い手たちがみた地域変容：イリ河中流域を対象として」

清水克之「中央アジアにおける灌漑農業」

阿部健一「イリ河デルタの地域生態史：異化空間の生成と崩壊の記憶」

中村知子「国境地域における社会主義崩壊とコミュニティ変容：中国・カザフスタン国境域を対象に」

大西健夫、地田徹朗「乾燥・半乾燥地域の水資源開発と環境ガバナンス」

などを所収

窪田順平監修、応地利明著 2012『中央ユーラシア環境史4：生態・生業・民族の交響』臨川書店(2,800円)

熊谷瑞恵 2011『食と住空間にみるウイグル族の文化：中国新疆に息づく暮らしの場』昭和堂(6,500円+税)

グリジャナティ → アナトラ・グリジャナティ

Kuroki, Hidemitsu et al., eds., 2006 → Obiya, Chika and Kuroki Hidemitsu, eds., 2006

『国際シンポジウム「21世紀中央アジアにおける体制転換と法：法整備の現状と課題」報告集：The International Symposium on “Legal and Structural Transition in 21st Century Central Asia”』2005, 名古屋大学法政国際教育協力研究センター(CALE), 名古屋大学大学院法学研究科(非売品)

『国際政治』138号, 2004, 日本国際政治学会編「中央アジア・カフカス」(2,000円)

湯浅剛「ソ連解体後の境界構築の諸相：ロシアの制度改編と中央アジア諸国との関係を中心に」

稲垣文昭「アメリカの対ウズベキスタン政策：新生国家ウズベキスタンの国家主権とア

「アメリカの覇権」

- 須田将「『市民』たちの管理と自発的服従：ウズベキスタンのマハッラ」  
輪島実樹「カスピ海・エネルギー資源開発を巡る国際関係の展開：第1段階の決着」  
岡田晃枝「トルクメニスタンの対外政策：ロシアとの天然ガス売買交渉を事例として」  
廣瀬陽子「アゼルバイジャンの権威主義の成立と変容」  
北川誠一「グルジア・パンキスイ渓谷問題の種族・信仰的背景」  
などを所収。

小杉泰、林佳世子、東長靖編 2008『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会 (3,800円+税)

- 小松久男「中央アジア」  
新免康「東トルキスタン」  
宇山智彦「中央アジア・ロシアのイスラーム」  
などを所収

小長谷有紀等編 2005 → 松原正毅、小長谷有紀、楊海英編 2005

小松久男等編 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004

Komatsu, Hisao et al., eds., 2004 → Dudoignon, Stéphane A. and Komatsu Hisao, eds., 2004

Komatsu, Hisao et al., eds., 2006 → Dudoignon, Stéphane A. and Komatsu Hisao, eds., 2006

小松久男 2008『イブラヒム、日本への旅：ロシア・オスマン帝国・日本』刀水書房 (1,600円)

小松久男 (監訳), V.V. バルトリド 2011『トルキスタン文化史 1』(東洋文庫) 平凡社 (2,940円)

小松久男 (監訳), V.V. バルトリド 2011『トルキスタン文化史 2』(東洋文庫) 平凡社 (3,150円)

小松久男等編 2012 → 塩川伸明、小松久男、沼野充義、宇山智彦編 2012

小松久男等編 2012 → 塩川伸明、小松久男、沼野充義編 2012

小宮裕恵等 2005 → 西村可明、小宮裕恵 2005

近藤信彰編 2011『ペルシア語文化圏史研究の最前線』(イスラム文化研究第99集、中東イスラーム研究シリーズ第16集) 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (非売品)

菅原睦「前古典期チャガタイ語文学における翻訳・翻案」

川口琢司「ハーフィズ・アブラーの地理書におけるマー・ワラー・アンナフルの条について」

などを所収

佐伯弘次等編 2006 → 森川哲雄、佐伯弘次編 2006

坂井弘紀 (翻訳) 2011『ウラル・バトゥル:バシュコルト英雄叙事詩』(東洋文庫) 平凡社 (2,940円)

坂本勉 2006『トルコ民族の世界史』慶応義塾大学出版会 (2,300円)

坂本勉編著 2008 『日中戦争とイスラーム：満蒙・アジア地域における統治・懐柔政策』慶  
応義塾大学出版会（4,800 円）

先崎将弘 2012 『美味しい中央アジア：食と歴史の旅』東洋書店（800 円）

澤田稔編 2007 『中央アジアのイスラーム聖地：フェルガナ盆地とカシュガル地方』（『シル  
クロード学研究』28 号）シルクロード学研究センター（1,100 円）

澤田稔「フェルガナ盆地における聖地調査」

菅原純「カシュガル地方における聖地調査」

河原弥生「クタイバ・イブン・ムスリム廟：口承伝説と所蔵文書の検討」

菅原純「カシュガル地方における聖地伝承」

新免康、河原弥生「ブズルグ・ハーン・トラとカッタ・ケナガス村の墓廟」

などを所収

澤田稔等 2008 → ジャリロフ、アマンバク、河原弥生、澤田稔、新免康、堀直 2008

Sawada, Minoru et al., eds., 2013 → Shinmen, Yasushi, Sawada Minoru and Edmund Waite, eds.,  
2013

塩川伸明 2004 『多民族国家ソ連の興亡 I：民族と言語』岩波書店（7,350 円）

塩川伸明 2007 『多民族国家ソ連の興亡 II：国家の構築と解体』岩波書店（7,560 円）

塩川伸明 2007 『多民族国家ソ連の興亡 III：ロシアの連邦制と民族問題』岩波書店（7,560 円）

塩川伸明、小松久男、沼野充義、宇山智彦編 2012 『ユーラシア世界 1〈東〉と〈西〉』東京  
大学出版会（4,500 円＋税）。

宇山智彦「総論〈東〉と〈西〉：特にロシアと東方との関係について」

宇山智彦「カザフ知識人にとっての〈東〉と〈西〉：階層的国際秩序の認識と文化的精  
神性の希求」

などを所収

塩川伸明、小松久男、沼野充義編 2012 『ユーラシア世界 3：記憶とユートピア』東京大学出  
版会（4,500 円＋税）

小松久男「汎イスラーム主義再考：ロシアとイスラーム世界」

坂井弘紀「英雄叙事詩の伝える記憶」

濱本真実「ポーランド＝リトアニア・タタール人のイスラームの記憶」

などを所収

Shimada, Shizuo and Sharifa Tosheva, 2010, *Ṣadr al-Dīn 'Aynī, Bukhārā inqilābīning ta'rīkhī*, TIAS  
Central Eurasian Research Series, No.4, TIAS: Department of Islamic Area Studies, Center for  
Evolving Humanities, Graduate School of Humanities and Sociology, The University of Tokyo(非  
売品)

- 嶋田晴行 2013 『現代アフガニスタン史：国家建設の矛盾と可能性』 明石書店（3,800 円）
- 清水由里子、新免康、鈴木健太郎 2008 『ムハンマド・エミン・ボグラ著『東トルキスタン史』の研究』 NIHU プログラム・イスラーム地域研究東京大学拠点（非売品）
- 清水陽子等編著 2005 → 水谷令子、清水陽子編著 2005
- 志茂碩敏 2013 『モンゴル帝国史研究正篇：中央ユーラシア遊牧諸政権の国家構造』 東京大学出版会（26,000 円）
- 下社学 2008 『中央アジア経済図説』（ユーラシア・ブックレット No.128） 東洋書店（630 円）
- JICA 研究所アフガニスタン・プロジェクト・チーム 2013 『アフガニスタンに平和の礎を：人々の生活再建に奔走する日本人たち』 丸善プラネット（1,600 円）
- ジャリロフ、アマンバク、河原弥生、澤田稔、新免康、堀直 2008 『『ターリーヒ・ラシーディー』テュルク語訳附編の研究』 NIHU プログラム「イスラーム地域研究」東京大学拠点（非売品）
- 淑瑠ラフマン 2012 『ウイグル社会とその伝統音楽』 金沢大学人間社会研究域
- 承志等編 2009 → 窪田順平、承志、井上充幸編 2009
- 承志等編 2012 → 窪田順平監修、承志編 2012
- 新免康編 2007 『中央アジアにおけるウイグル人地域社会の変容と民族アイデンティティに関する調査研究』（平成 15 年度～18 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 A(1) 研究成果報告書）（非売品）
- 新免康「研究序説：ウイグル人地域社会と民族意識」
- 堀直「ヤルカンド＝オアシスの拡大」
- 菅原純「ドイツ連邦共和国所蔵の新疆史料について：マルティン・ハルトマン収集写本と関連資料」
- 清水由里子「ウイグル人の女子学校教育の開始とその展開：1930 年代のカシュガルを事例に」
- リズワン・アブリミティ「1980 年代の新疆におけるウイグル民族文化の復興と民族教育の新たな確立」
- 藤山正二郎「カシュガル・ホータンの現地調査報告」
- 岡奈津子「カザフスタンのウイグル人：民族運動と国際環境」
- 新免康「フェルガナ地域のウイグル人：移住の背景と地域性」
- 水谷尚子「アメリカ「ラジオ・リバティ」「ボイス・オブ・アメリカ」「ラジオ・フリー・アジア」のウイグル語ラジオ放送と、その職員たち」
- 河原弥生「カシュガルにおけるウズベク人：予備調査報告」
- 澤田稔「フェルガナ盆地オシュのタフティ・スライマーンについて」

吉田世津子「首都の祭典、農村の祝日：クルグズスタン（キルギス）・ノールズ復興に見る「国家」と「民族」

坂井弘紀「ウズベキスタンにおける「遊牧的伝統」の現状：カラカルパクの語りの伝統と民族楽器ウズベク・ドンブラについて」

などを所収

新免康等 2008 → 清水由里子、新免康、鈴木健太郎 2008

新免康等 2008 → ジャリロフ、アマンバク、河原弥生、澤田稔、新免康、堀直 2008

新免康、河原弥生編著 2010『フェルガナ盆地のウイグル人と越境の記憶』NIHU プログラム・イスラーム地域研究東京大学拠点（非売品）

Shinmen, Yasushi et al., eds., 2010 → Millward, James A., Shinmen Yasushi and Sugawara Jun, eds., 2010

新免康等編 2011 → 梅村坦、新免康編 2011

Shinmen, Yasushi, Sawada Minoru and Edmund Waite, eds., 2013, *Muslim Saints and Mausoleums in Central Asia and Xinjiang*, Paris: Librairie d’Amerique et d’Orient, Jean Maisonneuve Successeur

Sawada, Minoru, “Towards a Classification of Mazars in Ferghana Valley”

Kawahara, Yayoi, “The Mazar of Qutayba ibn Musim: A Study of Oral Traditions and Historical Documents”

Shinmen, Yasushi and Kawahara Yayoi, “Buzurg Khān Tora and his Mausoleum at the Katta Kenagas Village”

などを所収

末澤恵美等編 2004 → 田畑伸一郎、末澤恵美編 2004

菅原睦 2007『ウイグル文字本『聖者伝』の研究：Ⅰ．序論と転写テキスト』（Contribution to the Studies of Eurasian Languages Series, No.11）神戸市看護大学（非売品）

菅原睦 2008『ウイグル文字本『聖者伝』の研究：Ⅱ．日本語訳及び註』（Contribution to the Studies of Eurasian Languages Series, No.12）神戸市看護大学（非売品）

菅原純等編 2006 → 町田和彦、菅原純共編 2006

菅原純、河原弥生編 2006『新疆およびフェルガナのマザール文書（影印）』第1集、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（非売品）

菅原純 2009『現代ウイグル語小辞典』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（非売品）

Sugawara, Jun et al., eds., 2010 → Millward, James A., Shinmen Yasushi and Sugawara Jun, eds., 2010

鈴木健太郎等 2008 → 清水由里子、新免康、鈴木健太郎 2008

- 須田将 2011 『スターリン期ウズベキスタンのジェンダー：女性の覆いと差異化の政治』 風響社（ブックレット《アジアを学ぼう》25）（840 円）
- 関啓子 2012 『コーカサスと中央アジアの人間形成：発達文化の比較教育研究』 明石書店（4,700 円）
- 相馬秀廣等編 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012
- 高橋巖根 2005 『ウズベキスタン：民族・国家・歴史』 創土社（2,000 円）
- Takamura, Hiroki, 2005, *Change in the Natural Environment and Life in Oases of the Taklimakan Desert*, Bunkashobo-hakubunsha（3,990 円）
- Dadabaev, Timur, 2004, *Towards Post-Soviet Central Asian Regional Integration: A Scheme for Transitional States*, Akashi-Shoten（4,200 円）
- ダダバエフ, ティムール 2006 『マハッラの実像：中央アジア社会の伝統と変容』（東洋文化研究所紀要別冊）東京大学出版会（8,500 円）
- ダダバエフ, ティムール 2008 『社会主義後のウズベキスタン：変わる国と揺れる人々の心』 アジア経済研究所（1,029 円）
- ダダバエフ, ティムール 2010 『記憶の中のソ連：中央アジアの人々の生きた社会主義時代』 筑波大学出版会（3,990 円）
- 伊達秀 2008 『ウズベク語初級：ウズベキスタンへの招待』 ブイツーソリューション（2,520 円）
- 田畑伸一郎、末澤恵美編 2004 『CIS：旧ソ連空間の再構成』 国際書院（3,360 円）
- 田畑伸一郎「経済統合：旧ソ連経済空間の解体との対照」
- 角田安正「安全保障：CIS 全体の統合から部分的な協力関係の構築へ」
- 岡奈津子『『近い外国』のロシア人：同胞法と国籍法にみるロシアのジレンマ』
- 廣瀬陽子「CIS 内のサブ・リージョナル・グループの動向：GUUAM の盛衰を事例に」
- 廣瀬陽子、岩下明裕ほか「CIS と国際関係：ウクライナ・コーカサス・中央アジア」
- などを所収
- 『中央アジア諸国における立憲主義の「移植」とその現実態に関する研究』 2008（平成 17 年度～平成 19 年度日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（B）・研究成果報告書）
- 中国ムスリム研究会編 2012 『中国のムスリムを知るための 60 章』 明石書店（2,000 円＋税）
- 田中周、他「民族自治地方のひろがりと多様性」
- 清水由里子「ウイグル族：新疆ウイグル自治区の主体民族」
- 田中周「カザフ族とクルグズ族：テュルク系遊牧民族」
- 王建新「サラール族：中央アジアよりのムスリム・ディアスポラ」
- 菅原純「試練に立つことば：「現代ウイグル語」の歴史と現在」
- 梅村坦「張承志：回族作家、その人道主義とムスリム意識」
- 菅原純「現代ウイグル文学における「過去の記憶」：オトクウル『足跡』が映し出す世界」

- 鷺尾惟子「ウイグルの音楽とおどり：多様な音楽スタイルの諸相」
- 澤井充生「ジャマア：ムスリムの伝統的コミュニティ」
- 澤井充生「変わる結婚事情：回族の婚姻慣行」
- 梅村坦「カシュガルの職人街：オアシス都市とその住人」
- 熊谷瑞恵「カシュガルの伝統住居：ウイグルの住まい」
- 梅村坦「新疆の遊牧民：カザフ、クルグズ、モンゴルの定住化をめぐる」
- 真田安「バザール：オアシスの市場」
- 澤井充生、新免康「清真寺とメスチト：中国のモスク」
- 澤井充生「年中行事：イードと預言者聖誕祭マウリド」
- 澤田稔「マザール：新疆の聖者墓廟」
- 王建新「ムスリムのシャーマニズム：中国西北の民間信仰」
- 小沼孝博「中国におけるイスラームの伝播と拡大：唐代から元代のムスリム」
- 小沼孝博「清朝の新疆征服・統治とイスラーム聖者裔の「聖戦」：異教徒の支配のもとで」
- 新免康「新疆ムスリム反乱とヤークーブ・ベグ政権：東の間のムスリム政権時代」
- 野田仁「清朝とロシア帝国の狭間で：18・19世紀のカザフ」
- 清水由里子「新疆のジャディード：「ウイグル」たちの近代的教育運動」
- 清水由里子「テュルクかウイグルか：近代ウイグル人のアイデンティティ」
- 菅原純「新疆「イスラーム法廷文書」の「出現」：埋没した歴史へのアプローチ」
- 山崎典子「日本の回教工作」
- 澤井充生「イスラームを信仰する共産党員：無神論と宗教のはざままで」
- 澤井充生「中国共産党とイスラーム：宗教政策の歴史の変遷」
- 小嶋祐輔「人口政策とムスリム：人口大国の苦悩」
- 澤井充生、新免康「イスラーム復興と脱宗教化：改革開放期の西北地方を中心として」
- 田中周、新免康「民族文化の「復興」と民族史の強調：ウイグル族知識人の活動」
- 小嶋祐輔「ウイグルのナショナリズム：新疆と「和諧社会」」
- 澤井充生、他「清真寺をむすぶネットワーク：移動するムスリム・エリート」
- 岡奈津子「旧ソ連領中央アジアのウイグル人：新疆からの分断と交流の再開」
- 王建新「中央アジアのドゥンガン：国境の其方に移住した回回末裔」
- などを所収（本学会会員執筆部分）
- 『中国ムスリムの宗教的・商業的ネットワークとイスラーム復興に関する学際的共同研究』  
2008（平成17年度～平成19年度日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（B）・研究成果報告書）（非売品）
- 澤井充生「清真寺のネットワーク型社会：中国におけるムスリム知識人の事例」

梅村坦「現代カシュガルの鍛冶職人について」

星野真「中国の地域格差と民族の分布」

王建新「トルファンの自然、農業と交易ネットワーク：発展の諸条件及び問題をめぐって」

吉田世津子「クルグズスタン（キルギス）北部農村のモスク開設：中央アジア・イスラーム復興に関する調査報告」

などを所収

Dudoignon, Stéphane A. and Komatsu Hisao, eds., 2004, *Research Trends in Modern Central Eurasian Studies: Works Published between 1985 and 2000, A Selective and Critical Bibliography*, Part 1. Tokyo: The Toyo Bunko, 2003

Uyama, Tomohiko, “Research Trends in the Former Soviet Central Asian Countries”

Hamada, Masami, “Research Trends in Xinjiang Studies”

Komatsu, Hisao, “Modern Central Eurasian Studies in Japan: An Overview 1985-2000”

などを所収

Dudoignon, Stéphane A. and Komatsu Hisao, eds., 2006, *Research Trends in Modern Central Eurasian Studies (18th-20th Centuries): A Selective and Critical Bibliography of Works Published between 1985 and 2000*, Part 2, The Toyo Bunko (5,150 円)

Tosheva, Sharifa et al., 2010 → Shimada, Shizuo and Sharifa Tosheva, 2010

富樫耕介 2012 『コーカサス：戦争と平和の狭間にある地域』 東洋書店 (800 円)

豊川浩一 2006 『ロシア帝国民族統合史の研究：植民政策とバシキール人』 北海道大学出版会 (9,500 円)

登利谷正人 2012 『アフガニスタン・英領インドにおけるパシュトゥーン基礎史料：アブドゥル・ガッファール・ハーンの回想録『我が人生と奮闘』』 上智大学アジア文化研究所

中嶋善輝 2013 『カザフ語文法読本』 大学書林 (5,000 円)

中西健 2011 『中央アジア・クルグズスタン：旧ソ連新独立国家の建設と国民統合』 明石書店 (3,990 円)

長峰博之等編 2008 → 川口琢司、長峰博之編、菅原睦校閲 2008

中村逸郎 2007 『虚栄の帝国ロシア：闇に消える「黒い」外国人たち』 岩波書店 (2,730 円)

奈良間千之編 2012 → 窪田順平監修、奈良間千之編 2012

西村めぐみ 2005 『民主化以降の南コーカサス：戦略的利益と民主主義理念の相克』 多賀出版 (3,000 円)

西村可明、小宮裕恵 2005 『一橋大学経済研究所所蔵中央アジア・ザカフカス・ロシア極東経済統計資料総目次』 一橋大学経済研究所 (非売品)

沼野充義等編 2012 → 塩川伸明、小松久男、沼野充義、宇山智彦編 2012

沼野充義等編 2012 → 塩川伸明、小松久男、沼野充義編 2012

Noda, Jin and Onuma Takahiro, 2010, *A Collection of Documents from the Kazakh Sultans to the Qing Dynasty*, TIAS Central Eurasian Research Series Special Issue, No.1, TIAS: Department of Islamic Area Studies, Center for Evolving Humanities, Graduate School of Humanities and Sociology, University of Tokyo (非売品)

野田仁 2011 『露清帝国とカザフ＝ハン国』 東京大学出版会 (7,350 円)

橋寺知子等編 2012 → 森部豊、橋寺知子編 2012

羽田亨一等 (校訂) 2006 → 河原弥生、羽田亨一 (校訂) 2006

Haneda, Koichi et al., eds., 2009 → Kawahara, Yayoi and Koichi Haneda, eds., 2009

Babadjanov, Bakhtiyar and Kawahara Yayoi, eds., 2012, *History and culture of Central Asia*, supervised by Morita Yoshikazu, Bahrom Abdukhalimov, Komatsu Hisao, Tokyo: Department of Islamic Area Studies, Center for Evolving Humanities, Graduate School of Humanities and Sociology, the University of Tokyo (非売品)

Horikawa, Toru, “Islamic Court Documents as Historical Sources in Central Asia”

Yajima, Yoichi, “The Spread of the Kubrawiya”

Kawahara, Yayoi, “On Private Archives Related to the Development of the Naqshbandiya-Mujaddidiya in the Ferghana Valley”

などを所収

濱田正美 2008 『中央アジアのイスラーム』 (世界史リブレット No. 70) 山川出版社 (765 円)

浜野道博 2011 『検証 キルギス政変：天山小国の挑戦』 東洋書店 (2,520 円)

濱本真実 2009 『「聖なるロシア」のイスラーム：17-18 世紀タタール人の正教改宗』 東京大学出版会 (7,200 円＋税)

濱本真実 2011 『共生のイスラーム：ロシアの正教徒とムスリム』 山川出版社 (1,200 円＋税)

林徹、梅谷博之編 2004 『チュルク系諸言語における接触と変容のメカニズム：研究調査報告』 (Contribution to the Studies of Eurasian Languages 6) 東京大学人文社会系研究科・文学部言語学研究室。

西岡いずみ 「カザフ語の指示詞」

大崎紀子 「2002-2003 年度キルギス語に関する調査報告」

西村多恵 『漢回合璧』 新ウイグル語とアクス方言」

菅原睦 「ウイグル語フェルガナ方言について」

古屋薫 「ウズベキスタンにおける方言調査報告」

藤家洋昭 「チュルク系言語同士の接触と変容」

などを所収。

- 林泰史等 2005 → 湊直信、林泰史、伊藤香純 2005
- 半谷史郎、岡奈津子 2006『中央アジアの朝鮮人：父祖の地を遠く離れて』（ユーラシア・ブックレット No. 93）東洋書店（630 円）
- 広瀬佳一等編 2013 → 伊東孝之監修、広瀬佳一、湯浅剛編 2013
- 廣瀬徹也 2007『テュルク族の世界：シベリアからイスタンブールまで』東洋書店（ユーラシア・ブックレット No. 114）（630 円）
- 廣瀬徹也等編 2009 → 宇山智彦、クリストファー・レン、廣瀬徹也編 2009
- 廣瀬陽子 2005『旧ソ連地域と紛争：石油・民族・テロをめぐる地政学』慶應義塾大学出版会（4,200 円）
- 廣瀬陽子等編著 2006 → 北川誠一、前田弘毅、廣瀬陽子、吉村貴之編著 2006
- 廣瀬陽子 2008『コーカサス：国際関係の十字路』（集英社新書 452A）集英社（735 円）
- 樋渡雅人 2008『慣習経済と市場・開発：ウズベキスタンの共同体にみる機能と構造』東京大学出版会（6,400 円）
- 藤本透子 2010『カザフの子育て：草原と都市のイスラーム文化復興を生きる』（ブックレット《アジアを学ぼう》19）風響社（840 円）
- 藤本透子 2011『よみがえる死者儀礼：現代カザフのイスラーム復興』風響社（6,720 円）
- プジョル, カトリーヌ（宇山智彦、須田将訳）2006『カザフスタン』（文庫クセジュ 904）白水社（951 円）
- 北海道中央ユーラシア研究会編 2012『中央ユーラシア研究を拓く：北海道中央ユーラシア研究会第 100 回記念』北海道大学スラブ研究センター
- 宇山智彦「北海道中央ユーラシア研究会の歩みとこれからの中央ユーラシア研究」などを所収
- 堀直等 2008 → ジャリロフ, アマンベク、河原弥生、澤田稔、新免康、堀直 2008
- 堀江典生編 2010『現代中央アジア・ロシア移民論』ミネルヴァ書房（8,400 円）
- 雲和広「中央アジア地域の人的資源と社会状況」
- 堀江典生、セルゲイ・リャザンツェフ「モスクワの中央アジア移民：移民の語りから構築する中央アジア移民像」
- 湯浅剛「中央アジアのシティズンシップと安全保障：ロシア国籍と二重国籍制を中心に」などを所収
- 堀江則雄 2010『ユーラシア胎動：ロシア・中国・中央アジア』岩波書店（760 円＋税）
- 堀川徹等 2004 → 間野英二、堀川徹他 2004
- 堀川徹等編 2005 → 小松久男、梅村担、宇山智彦、帯谷知可、堀川徹編 2005
- 堀川徹編 2006『中央アジアにおけるムスリム・コミュニティの成立と変容に関する歴史

学的研究』(平成 14 年度～平成 17 年度科学研究費補助金基盤研究 A(1) 研究成果報告書)  
(非売品)

稲葉穰「ムスリム侵入時のフェルガナ」

井谷鋼造「中央アジアにおけるアラビア文字墓碑銘研究の試み」

小野浩「テムル朝シャールフのウイグル文字テュルク語文書再読」

川口琢司「ティムールとヤサ」

川本正知「16 世紀中央アジアのソユルガル下賜文書」

矢島洋一「系譜書二通」

塩谷哲史「ヒヴァ・ハン国におけるコングラト朝の成立とサイイド・アタ信仰」

堀川徹「19 世紀末ハザラスプの地区別戸主名一覧について」

木村暁「ブハラ・アミール国末期の集落調査について：史料集『ブハラ・アミール国の  
集落 (19 世紀末 -20 世紀初)』を素材として」

帯谷知可「トルキスタン総督府における「異族人教育」活動の一端：教育セミナーア関  
連資料 2 点の紹介」

黒田卓「イラン人下級官僚が見たジャンギアリー＝ポリシェヴィキ同盟」

前田弘毅等編著 2006 → 北川誠一、前田弘毅、廣瀬陽子、吉村貴之編著 2006

前田弘毅編 2009『多様性と可能性のコーカサス：民族紛争を超えて』北海道大学出版会 (2,940  
円)

前田弘毅「コーカサス史の読み方：歴史における「辺境」と「中心」

宇山智彦「中央アジアとコーカサス：近くて遠い隣人？」

廣瀬陽子「コーカサスをめぐる国際政治：求められるバランス外交」

北川誠一「チェチェン紛争の現在：野戦軍司令官からジャマーアット・アミールへ」

松里公孝「ダゲスタンのイスラーム：スーフィー教団間の多元主義的競争」

中村唯史「特権的トボスのはじまり：コーカサス表象の原型と「他者の声」について」

などを所収

前田弘毅 2009『イスラーム世界の奴隷軍人とその実像：17 世紀サファヴィー朝イランとコ  
ーカサス』明石書店 (7,000 円＋税)

町田和彦、菅原純共編 2006『周縁アラビア文字文化の世界：規範と拡張 3』(GICAS 叢書)  
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

松長昭 2009『簡明 日本語－アゼルバイジャン語 アゼルバイジャン語－日本語 辞典』国際語  
学社 (4,800 円＋税)

松原正毅、小長谷有紀、楊海英編 2005『ユーラシア草原からのメッセージ：遊牧研究の最前線』  
平凡社 (2,800 円)

梅村坦「天山山中に遊牧民をたずねて」

堀直「オアシスに生きた人々」

濱田正美「天山の岩と泉と聖者の墓と」

澤田稔「オアシスを支配した人々：17世紀ヤルカンドの事例」

などを所収

松原正毅 2011『カザフ遊牧民の移動：アルタイ山脈からトルコへ 1934-1953』平凡社(5,775 円)

松本弘編著 2011『中東・イスラーム諸国 民主化ハンドブック』明石書店 (7,140 円)

宇山智彦「＜中央アジア・南カフカス諸国＞解説」

湯浅剛「カザフスタン共和国」

須田将「ウズベキスタン共和国」

立花優「アゼルバイジャン共和国」

吉村貴之「アルメニア共和国」

などを所収

間野英二、堀川徹他 2004『中央アジアの歴史・社会・文化』放送大学教育振興会 (3,150 円)。

間野英二 2013『バーブル：ムガル帝国の創設者』(世界史リブレット人 No. 046)山川出版社(840 円)

水谷尚子 2007『中国を追われたウイグル人：亡命者が語る政治弾圧』文藝春秋社(文春新書 599) (840 円)

水谷令子、清水陽子編著 2005『女たちが究めたシルクロード：その国々の生活文化誌』東洋出版 (2,000 円)

湊直信、林泰史、伊藤香純 2005『援助協調事例研究：ウズベキスタン共和国カラカルパクスタン自治共和国の経験から』国際開発高等教育機構国際開発研究センター(非売品)

嶺井明子、川野辺敏編 2012『中央アジアの教育とグローバリズム』東信堂 (3,200 円)

嶺井明子「中央アジア各国の教育改革の軌跡 ウズベキスタン共和国」

岩崎正吾「カザフスタン共和国」

関啓子「キルギス共和国」

遠藤忠「タジキスタン共和国」

大谷実「教育内容・方法 数学の授業過程からみた学びの特徴」

木之下健一「「憲法教育」と国民統合の課題」

タスタンベコワ クアニシ「少数民族の母語教育保障のパラドックス」

森岡修一「リテラシーと多言語併用をめぐる中央アジアのクロスロード」

松永裕二「高等教育における公正性確保と質保証」

水谷邦子「高校生の9割が学ぶ職業カレッジ」

澤野由紀子「教育戦略とグローバル・ガバナンス 世界の「多極化」と中央アジアの教育協力」

福田誠治「教育戦略のグローバリズム」

などを所収

Millward, James A., Shinmen Yasushi and Sugawara Jun, eds., 2010, *Studies on Xinjiang Historical Sources in 17–20th Centuries*, Tokyo: Toyo Bunko (非売品)

Sawada, Minoru, “Three Groups of Tadhkira-i khwājagān: Viewed from the Chapter on Khwāja Āfāq”

Jalilov, Amanbek and Shinmen Yasushi, “Addendum to the Turkic Translation of Tārīkh-ī Rashīdī by Khwāja Muḥammad Sharīf”

Sugawara, Jun, “Tradition and Adoption: Elements and Composition of Land-related Contractual Documents in Provincial Xinjiang (1884-1955)”

Onuma, Takahiro, “A Set of Chaghatay and Manchu Documents Drafted by a Kashgar Hakim Beg in 1801: A Basic Study of a “Chaghatay-Turkic Administrative Document””

Hua, Li, “Materials in the Manwen lufu regarding Hui Muslim Migrants to Xinjiang”

などを所収。

ムミノフ, アシルベク、ナーディルベク・アブドゥルアハトフ、河原弥生編 2007『新疆およびフェルガナのマザール文書(影印)』第3集(『イスラム文化研究』第88集)東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(非売品)

森川哲雄、佐伯弘次編 2006『内陸圏・海域圏交流ネットワークとイスラム』權歌書房(2,100円)

劉迎勝著・藤野月子訳「明初中国と中央アジア・西アジア地域との間における外交言語の問題」

船田善之「「西安清真寺洪武25年聖旨碑」から見た元明期中国ムスリムの変容とネットワーク」

四日市康博「元朝とイルハン朝の外交・通商関係における国際貿易商人」

高栄盛著・小野裕子訳「シハーブッディーンと元代の行泉府司」

などを所収

森部豊、橋寺知子編 2012『アジアにおける文化システムの展開と交流』関西大学出版部(3,570円)

堀川徹「中央アジア文化における連続性について：テュルク化をめぐる」

福田浩子「トルクメン人の民族衣装・被衣チルピについて」

などを所収

森本一夫編 2009『ペルシア語が結んだ世界：もうひとつのユーラシア史』(スラブ・ユーラシア叢書)北海道大学出版会(3,000円+税)

矢島洋一「ペルシア語文化圏におけるスーフィー文献著述言語の変遷とその意義」  
磯貝健一「イスラーム法とペルシア語：近現代西トルキスタンの法曹界」  
菅原睦「中央アジアにおけるテュルク語文学の発展とペルシア語」  
川口琢司「18世紀クリミアのオスマン語史書『諸情報の要諦』における歴史叙述：ペ  
ルシア語文献からの影響を中心に」  
中西竜也「清代の中国ムスリムにおけるペルシア語文化受容」  
などを所収

楊海英等編 2005 → 松原正毅、小長谷有紀、楊海英編 2005

吉田世津子 2004『中央アジア農村の親族ネットワーク：クルグズスタン・経済移行の人類  
学的研究』風響社（8,820円）

吉村貴之等編著 2006 → 北川誠一、前田弘毅、廣瀬陽子、吉村貴之編著 2006

湯浅剛等編 2013 → 伊東孝之監修、広瀬佳一、湯浅剛編 2013

『ユーラシア研究』35号, 2006「特集I シンポジウム 21世紀ユーラシアのダイナミズム」

斎藤治子「はじめに」

宇山智彦「クルグズスタンの「革命」とカザフスタンの「安定」」

塚谷恒雄「アムダリヤ川兩岸の灌漑をめぐる国際協力とケシ栽培問題の解決の可能性」

ティムール・ダダバエフ「ウズベキスタンの抱える問題」

堀江則雄「ユーラシアを束ねる「上海協力機構」」

『ロシア・ユーラシア経済調査資料』893号, 2006「特集 コーカサスを読み解く」

廣瀬陽子「独立後15年のアゼルバイジャン：石油ブームと権威主義体制の中で」

吉村貴之「アルメニアから見たロシア」

関啓子「グルジアにおける人間形成～比較研究の試み～」

レン, クリストファー等編 2009 → 宇山智彦、クリストファー・レン、廣瀬徹也編 2009

渡邊三津子編 2012 → 窪田順平監修、渡邊三津子編 2012



## 論文

- 阿依努尔・艾孜木 2006 「中国・新疆ウイグル自治区における郷鎮企業の展開過程に関する研究」『酪農学園大学紀要・人文・社会科学編』30(2), 149-193 頁
- アイネル・バラティ 2012 「中国少数民族文化の維持と継承に関する一考察：ウイグル族の教育状況を手掛かりとして」『国際文化研究論集』（西南大学大学院）6, 21-51 頁
- アイビブラ・イマム等 2007 → 平田昌弘、アイビブラ・イマム 2007
- Aibibula Yimamu 等 2008 → 平田昌弘、Aibibula Yimamu、Tursunay Reyim 他 2008
- 青木一能等 2008 → 大塚友美、青木一能、葭田光三他 2008
- 青木恭子 2009 「帝政末期のアジアロシア移住政策をめぐる一考察：移住を許可された世帯の分析」『ロシア史研究』84, 24-46 頁
- 赤坂恒明 2004 『『金帳汗国』史の解体：ジュチ裔諸政権史の再構成のために』『内陸アジア史研究』19, 23-41 頁
- 秋山徹 2009 「20 世紀初頭のクルグズ部族首領権力に関する一考察：シャブダン・ジャンタイの葬送儀式的分析をてがかりとして」『内陸アジア史研究』24, 83-104 頁
- 秋山徹 2010 「クルグズ遊牧社会におけるロシア統治の成立：部族指導者「マナブ」の動向を手がかりとして」『史学雑誌』119(8), 1-35 頁
- 秋山徹 2011 「クルグズ遊牧社会におけるロシア統治の展開：統治の仲介者としてのマナブの位置づけを中心に」『スラヴ研究』58, 29-56 頁
- 秋山徹 2012 「ロシア統治下におけるクルグズ首領層の権威について：遊牧世界とイスラーム世界の間で」『東洋史研究』71(3), 29-57 頁
- 秋山徹 2012 「混成村落の創設に見える 20 世紀初頭のクルグズーロシア関係」『日本中央アジア学会報』8, 21-42 頁
- アクマタリエワ、ジャクシルク 2010 「キルギス語の授受を表わす補助動詞について」『日本教育研究年報』14, 1-20 頁
- アクマタリエワ、ジャクシルク 2011 「キルギス語」（特集「モダリティ」）『語学研究所論集』16, 203-209 頁
- アクマタリエワ、ジャクシルク 2012 「都市化の中の遊牧民：中央アジア・キルギスの人生儀礼」『都市民俗研究』17, 99-64 頁
- アクマタリエワ、ジャクシルク 2012 「キルギス語」（特集「ヴォイスとその周辺」）『語学研究所論集』17, 212-219 頁
- 浅村卓生 2008 「1924-1934 年における「ウズベク語」理念の模索：標準語の母音調和法則の扱いをめぐる」『ロシア・東欧研究』（ロシア・東欧学会年報）36, 48-60 頁

- 浅村卓生 2011 「カザフスタンにおける自国語振興政策及び文字改革の理念的側面」『外務省調査月報』2011年度(1), 1-24頁
- 浅村卓生 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- アジ → シャオケイテイ・アジ
- アジム → チョン・アジム
- アスカ → ハムヅラ・アスカ
- アディル・ジュマトウルディ、西脇 隆夫 (訳) 2011 「キルギス族英雄叙事詩「マナス」第一部(1)」『名古屋学院大学論集』言語・文化篇 22(2), 112-98頁
- アディル・ジュマトウルディ (西脇隆夫訳) 2012 「現代のホメロスに訊く：中国キルギス族の語り手ジュspb・ママイ訪問談」『名古屋学院大学論集 言語・文化篇』23(2), 63-76頁
- 阿迪拉・庫尔班、榎本弘行 2012 「新疆ウイグル自治区における地方立法：その法的枠組，沿革及び若干の考察」『共生社会システム研究』6(1), 197-224頁
- 阿迪拉・庫尔班 (アディラ・クルバン)、榎本弘行、佐藤信行 2013 「中国新疆ウイグル自治区における地方環境立法(1)」『中央ロー・ジャーナル』10(3), 155-191頁
- 阿迪拉・庫尔班 (アディラ・クルバン)、榎本弘行、佐藤信行 2014 「中国新疆ウイグル自治区における地方環境立法(2)」『中央ロー・ジャーナル』10(4), 129-154頁
- アナトラ・グリジャナティ 2007 「中国新疆ウイグル自治区における経済開発と言語変容：バザールを中心に」『国際教育文化研究』7, 97-108頁
- アナトラ・グリジャナティ等 2008 → 坂元一光、Guljennet Anaytulla 2008
- アナトラ・グリジャナティ等 2008 → 坂元一光、Guljennet Anaytulla 2008
- アナトラ・グリジャナティ 2009 「中国における少数民族双語教育に関する研究：多言語共生の視点から」『飛梅論集』(九州大学大学院教育学コース院生論文集) 9, 17-32頁
- アナトラ・グリジャナティ 2009 「中国の少数民族双語教育における母語の位置づけ：新疆ウイグル自治区の民族教育をめぐる」『国際教育文化研究』(九州大学大学院人間環境学研究院国際教育文化研究会編) 9, 125-137頁
- アナトラ・グリジャナティ等 2009 → 坂元一光、アナトラ・グリジャナティ 2009
- アナトラ・グリジャナティ 2011 「教育現場における言語使用の変化とその民族的・社会的影響：新疆ウイグル自治区・ウルムチ市における双語教育を事例に」(特集 学校教育における少数派言語)『ことばと社会』13, 126-147頁
- アナトラ・グリジャナティ (古力加娜提・艾乃吐拉)、河野明日香 2011 「20世紀中国における言語と教育：人々の語りにみる新疆ウイグル自治区の民族教育」『アジア太平洋レビュー』8, 76-88頁

- アナトラ・グリジャナティ 2013 「伝統的手工芸技術の継承過程について：ウイグルのビシ  
ュックを事例に」『国際教育文化研究』13, 63-72 頁
- Anarbaev, Maksat, et al., 2009 → Watanabe, Teiji, Maksat Anarbaev, Yasuhiro Ochiai, Shigeyuki  
Izumiya and Lebaiatelaite Gaunavinaka, 2009
- Anarbaev, Maksat, et al., 2010 → Watanabe, Teiji, Shigeyuki Izumiya, Lebaiatelaite  
Gaunavinaka and Maksat Anarbaev, 2010
- アナルバエフ, マクサト等 2011 → 渡辺悌二, 泉山茂之, 澤柿教伸, ガウナビナカ・レン  
バイアテライテ, マクサト・アナルバエフ 2011
- アハポフ・エルラン, 北野慎一 2012 「カザフスタンの農村地域における砂漠化の一要因：  
アルマティ州ジャンブル地区の過放牧の可能性」『沙漠研究：日本沙漠学会誌』21(4),  
167-180 頁
- アブディラシム → デュセンアイル・アブディラシム → 杜山那里
- アフタモヴァ, イローダ 2012 「日本企業で働く在日ウズベキスタン・ムスリムから見た異文  
化間葛藤と異文化教育の課題についての事例的研究」『上智大学教育学論集』46, 49-60  
頁
- アブドゥラハマン・ギュロル 2009 「トルコ語とウイグル語の関係節における受身形」『岡山  
大学大学院社会文化科学研究科紀要』27, 73-93 頁
- アブドゥラフマン → ムフタル・アブドゥラフマン
- アブドカディル → パルハト・アブドカディル
- 阿布都沙塔爾・買買提明, 田中丸治哉, 多田明夫 2012 「新疆ウイグル自治区における水資  
源開発と耕地塩類化」『水土の知：農業農村工学会誌』80(2), 99-102 頁
- 阿布都西庫爾・阿布都熱合曼 (アブドゥルシュクル・アブドゥルラフマン) 2006 「中国新疆ウ  
イグル自治区のウイグル族の民族誌的概況」『社会環境研究』(金沢大学)11, 353-369 頁
- 阿布都西庫爾・阿布都熱合曼 (アブドゥルシュクル・アブドゥルラフマン) 2006 「新疆ウイ  
グル自治区のウイグル族における結婚式の変容：アトシュに住む家族三世代の事例から」  
『人間社会環境研究』(金沢大学)12, 211-22 頁
- 阿布都西庫爾・阿布都熱合曼 2008 「ウイグル社会における音楽の近代化, 人々の音楽に対す  
る意識と行動に関する研究」『人間社会環境研究』15, 1-17 頁
- 阿不都熱西提・阿不都勒堤甫 2010 「在日ウイグル人の言語使用とアイデンティティ：「民考民」  
「民考漢」の言語意識調査から」『民族紛争の背景に関する地政学的研究』18, 88-99 頁
- 阿不都熱西提・阿不都勒堤甫 2011 「在日ウイグル人の言語アイデンティティ」『社会システ  
ム研究』14, 181-194 頁
- アブドロスリ → グリザル・アブドロスリ

アハマドザイ → カル・モハマド・アハマドザイ

アブラ来提 → 玉素甫・アブラ来提

アブラ力米提 → 司馬義・アブラ力米提

アブリズ・ユスップ (石川孝之訳) 2012 「中国・新疆における生態移民の研究」『神奈川大学法学研究所研究年報』30, 1-17 頁

アブリミテ・ミジテ、河原達也、ハムヅラ・アスカ 2011 「識別学習に基づく音声認識単語辞書の最適化」『情報処理学会研究報告 SLP, 音声言語情報処理』2011-SLP-87(5), 1-4 頁

アブリミティ → リズワン・アブリミティ

阿部健一 2012 → 窪田順平監修、渡邊三津子編 2012 に所載

Alimujiang Kasimu, Li Hu, Takashi Ishiyama and Ryutaro Tateishi 2008 「Desertification monitoring in region of Ebinur Lake in XinJiang based on MODIS and NOAA satellite data and GIS」『沙漠研究』17(4), 167-175 頁

アルン → モハンティ・アルン

安西俊彦、清水克之、北村義信他 2013 「カザフスタン・イリ川下流域灌漑地区における地下水水位変動特性とその要因に関する研究」『農業農村工学会論文集』81(1), 51-56 頁

飯島聰 2010 → 大杉卓三、大谷順子編 2010 に所載

家田修等 2009 → 久保慶一、西山克典、鳥山祐介、家田修、宇山智彦、松里公孝 2009

五十嵐徳子、雲和広 2013 「タジク女性の声：タジキスタンマイクロサーベイより」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』965, 2-25 頁

諫早庸一 2008 「ペルシア語文化圏における十二支の年始変容について：ティムール朝十二支考」『史林』91(3), 42-73 頁

Isahaya, Yoichi, 2010, "Vicissitudes of Nourūz: Islam, Zoroastrianism and Historical Time Scales," Haneda, Masashi, ed., *Secularization, Religion, and the State*, UTCP, pp. 63-74.

Isahaya, Yoichi, 2013, "The Tārīkh-i Qitā in the Zīj-i Īlkhānī: the Chinese Calendar in Persian," *SCIAMVS* 14, pp. 149-258.

石井祥子 2011 「モンゴルのカザフ：国家体制の変革のはざまで」『地理』56(11), 94-103 頁

石井祥子 2012 「モンゴルのカザフ：国家体制の変革のはざまで (第3回) イスラーム信仰の復興とカザフ・エスニシティの発現」『地理』57(1), 104-110 頁

石井祥子 2013 「モンゴルの鉾山町ナライハにおけるカザフ伝統文化とイスラーム信仰の復興」『共生の文化研究』8, 22-25 頁

石田紀郎 2005 「中央アジアの水問題：消えるアラル海から」『アジア遊学』75 「黄河は流れず：アジアの水問題」所収，勉誠出版 (1,890 円)，120-130 頁

石田紀郎 2009 「アラル海と環境問題」『人口と開発』107, 27-37 頁

- 石村誠人 2011 「ウズベキスタンの現状と課題」『Business research』1038, 78-85 頁
- Ishiyama, Takashi et al., 2008 → Alimujiang Kasimu, Li Hu, Takashi Ishiyama and Ryutaro Tateishi 2008
- 井尻直彦 2009 「中央アジア 5 カ国中国の直接投資立地決定要因」『経科研レポート』（日本大学経済学部経済科学研究所）34, 33-37 頁
- イスマーイール → バフティヤール・イスマーイール
- イスマンバエヴァ, ジィバック（富樫耕介訳）2013 「クルグズ（キルギス）共和国における鉱物資源の可能性とグローバル化の中でのその重要性」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』975, 2-13 頁
- 泉田洋一等 2008 → 矢元龍治、泉田洋一 2008
- Izumiyama, Shigeyuki et al., 2009 → Watanabe, Teiji, Maksat Anarbaev, Yasuhiro Ochiai, Shigeyuki Izumiyama and Lebaiatelaite Gaunavinaka, 2009
- Izumiyama, Shigeyuki, et al., 2010 → Watanabe, Teiji, Shigeyuki Izumiyama, Lebaiatelaite Gaunavinaka and Maksat Anarbaev, 2010
- 泉山茂之等 2011 → 渡辺悌二、泉山茂之、澤柿教伸、ガウナビナカ・レンバイアテライテ、マクサト・アナルバエフ 2011
- 磯貝健一 2009 → 森本一夫編 2009 に所載
- 磯貝健一 2011 「20 世紀初頭サマルカンドの 7 通のファトワー文書：中央アジア・イスラーム法廷の裁判におけるムフティール」『日本中東学会年報』27(1), 259-282 頁
- 磯貝健一 2013 「近代中央アジア・イスラーム法廷文書の世界」『歴史と地理』661, 21-30 頁
- 井谷鋼造 2006 → 堀川徹編 2006 に所載
- 市川顕等 2010 → 稲垣文昭、市川顕 2010
- 市橋克哉 2008 「ウズベキスタンにおける行政改革」『名古屋大学法政論集』225, 321-350 頁
- 伊藤順二 2011 「カフカスの「高貴な野蛮人」」『世界史の研究』（歴史と地理）227（通号 644）, 57-61 頁
- 伊藤隆 2008 「特集 ウズベキスタン倒産法注釈書プロジェクト：プロジェクトの実施概要・評価と注釈書作成作業を通じて判明した法制的問題点」『ICD news（法務省法務総合研究所国際協力部報）』34, 4-90 頁
- 稲垣文昭 2004 → 『国際政治』138, 2004 に所載
- 稲垣文昭 2008 「変容を続ける政治体制：強化される大統領の権限と資源ナショナリズム」（各国・地域の動向：中央アジア諸国）『アジア動向年報』2008, 596-611 頁
- 稲垣文昭、市川顕 2010 「タジキスタンの水資源政策に見るアラル海流域問題：ソ連からの制度的遺産とエネルギーとしての水資源」『政策情報学会誌』3(1), 43-54 頁

- 稲垣文昭 2011 「水資源対立に見るウズベキスタンとタジキスタンの関係」『国際情勢』81, 281-289 頁
- 稲垣文昭 2012 「中央アジアの電力網改革：南アジアへの電力供給源の可能性と各国の思惑」『国際情勢』82, 169-182 頁
- 稲垣文昭 2012 「電力をめぐる中央アジアの国際関係：ロシア、アフガニスタンと水資源対立の相互作用」『海外事情』60(9), 61-79 頁
- 稲垣文昭 2013 「タジキスタンとロシア関係」『国際情勢紀要』83, 173-184 頁
- 稲垣文昭 2013 「科学技術と中央アジア：電力インフラ整備から見た中央アジアの国際関係」金沢工業大学国際学研究所編『科学技術と国際関係』内外出版, 255-283 頁
- 稲垣文昭 2013 「転回する中央アジア空間：新家産制化する中央アジア」市川顕、稲垣文昭、奥田敦編『体制転換とガバナンス』ミネルヴァ書房, 111-141 頁
- 稲垣文昭 2013 → 伊東孝之監修、広瀬佳一、湯浅剛編 2013 に所載
- 稲葉穰 2006 → 堀川徹編 2006 に所載
- 稲葉穰 2010 「8世紀前半のカーブルと中央アジア」『東洋史研究』69(1), 174-151 頁
- 稲原泰平 2007 「上海協力機構の国際法上の意義」『金沢星稜大学論集』40(3), 1-12 頁
- 今堀恵美 2006 「市場経済におけるカシュタチ（刺繍屋）事業の誕生：ウズベキスタン・ショーフィルコーン地区の事例から」『社会人類学年報』32, 57-84 頁
- 今堀恵美 2006 「ポスト・ソヴィエト期におけるカシュタ（刺繍）制作と副業：ウズベキスタン・ブハラ州ショーフィルコーン地区の事例から」『日本中東学会年報』21(2), 113-140 頁
- 今堀恵美 2012 「ウズベキスタンの刺繍業におけるキンドレッド貢献の逆説」『人文学報』(453), 63-81 頁
- 今堀恵美 2012 「ウズベク・ムスリムにおける礼拝用敷物とイスラーム信仰実践」『イスラーム地域研究ジャーナル』4, 46-58 頁
- イマム → アイビブラ・イマム
- 岩崎一郎、片山博文、輪島実樹 2004 「中央アジア諸国の改革・開発・環境：体制転換プロセスの立体的な把握に向けて」『ロシア東欧貿易調査月報』（社団法人ロシア東欧貿易会）49(10), 1-38 頁
- 岩崎一郎 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004 に所載
- 岩崎一郎 2013 「中央アジア第二次産業の長期発展経路：百年統計の構築と比較経済分析」『アジア経済』54(1), 2-46 頁
- 岩崎正吾 2004 「タタールスタン共和国の英才教育と民族エリートの形成」『文化国際研究』（東京都立短期大学文化国際学科）8, 35-44 頁
- 岩崎正吾 2010 「多民族・多言語国家における教育の現状と課題：ロシア、中国、スリランカ（1）

- ロシア・タタールスタン共和国を事例として」『季刊教育法』162, 74-80 頁
- 岩崎正吾 2012 → 嶺井明子、川野辺敏編 2012 に所載
- 岩崎雅美 2004 → 岩崎雅美編 2004 に所載
- 岩崎雅美、村田仁代 2006「中国・新疆ウイグル族の祈りと婚礼に関する服飾：2004 年度 ハミ地区における調査より」『家政学研究』52(2) (通号 104) , 79-87 頁
- 岩崎雅美 2007「現代イスラム女性の隠す服飾：アフガニスタン・中国新疆ウイグル自治区・パキスタン・イランの調査から」『家政学研究』(奈良女子大学家政学会) 54(1), 16-25 頁
- 廣瀬陽子、岩下明裕ほか 2004 → 田畑伸一郎、末澤恵美編 2004 に所載
- 岩下明裕 2005「現地報告：中国と中央アジア：接触地域の現場検証」『ユーラシア国境政治：ロシア・中国・中央アジア』(21 世紀 COE プログラム「スラブ・ユーラシア学の構築」研究報告集 No. 8) , 北海道大学スラブ研究センター, 39-72 頁
- 岩下明裕 2009 → 宇山智彦、クリストファー・レン、廣瀬徹也編 2009 に所載
- 岩間陽子 2013「同盟と国家建設：NATO とアフガニスタン」『国際政治』174, 125-138 頁
- 植田暁 2013「帝政ロシア支配期のクルグズの社会経済的変容：フェルガナ州における天水農耕の普及を中心に」『内陸アジア史研究』28, 101-126 頁
- 植田樹 2005「プーチン大統領のチェチェン政策」『自由』47(3), 24-40 頁
- 上野稔弘 2004「1950 年代中国の民族政策と民族学：新疆における民族調査を中心に」『東アジア地域研究』11, 19-30 頁。
- 上野正弥 2012「新疆における中国共産党の民族・宗教政策の展開（1949-55 年）」『国際情勢：紀要』82, 77-86 頁
- 鶴島三壽 2010「ウイグルの油灯舞：大谷探検隊が見た「油皿踊」の追跡」『立命館文學』619, 497-506 頁
- ウスペンスキー、ウラジーミル 2004「モンゴル、チベット、東トルキスタンの歴史史料としての『欽定外藩蒙古回部王公表傳』」『神戸大学史学年報』19, 3-9 頁
- 鶴殿倫次 2010「言語、アイデンティティ、民族政策：七・五ウルムチ騒乱の背景」『愛知県立大学外国語大学紀要（言語・文学編）』42, 275-304 頁
- ウフル → ロシヤングリ・ウフル
- 梅村坦 2005 → 松原正毅、小長谷有紀、楊海英編 2005 に所載
- 梅村坦 2005 → 『アジ研ワールド・トレンド』112, 2005 に所載
- 梅村坦 2008 → 『中国ムスリムの宗教的・商業的ネットワークとイスラーム復興に関する学際的共同研究』2008 に所載
- 梅村坦 2011 → 梅村坦, 新免康編 2011 に所載
- 梅村坦 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載

梅村坦 2013 → 梅村坦、江上綏総合編集 2013 に所載

宇山智彦 2004, От «булгаризма» через «марризм» к националистическим мифам: дискурсы о татарском, чувашском и башкирском этногенезе. // Новая волна в изучении этнополитической истории Волго-Уральского региона: Сборник статей. Саппоро: Центр славянских исследований Университета Хоккайдо, С. 16–51

宇山智彦 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004 所載

Uyama, Tomohiko, 2004 → Dudoignon, Stéphane A. and Komatsu Hisao, eds., 2004 に所載

宇山智彦 2005 「旧ソ連ムスリム地域における『民族史』の創造:その特殊性・近代性・普遍性」 酒井啓子、臼杵陽編『イスラーム地域の国家とナショナリズム』所収, 東京大学出版会 (4,800 円), 55–78 頁

宇山智彦 2005 「第二ラウンドを迎えた CIS 諸国の政治変動:『革命』の誘因と阻害要因」『国際問題』(日本国際問題研究所) 544, 42–46 頁

宇山智彦 2006 「「個別主義の帝国」ロシアの中央アジア政策: 正教化と兵役の問題を中心に」『スラブ研究』53, 27–59 頁

宇山智彦 2006 「クルグズスタン(キルギス)の革命: エリートの離合集散と社会ネットワークの動員」『「民主化革命」とは何だったのか: グルジア、ウクライナ、クルグズスタン』(21 世紀 COE プログラム「スラブ・ユーラシア学の構築」研究報告集 16) 北海道大学スラブ研究センター, 41–77 頁

宇山智彦、前田弘毅、藤森信吉 2006 「グルジア・ウクライナ・クルグズスタン三国「革命」の比較」『「民主化革命」とは何だったのか: グルジア、ウクライナ、クルグズスタン』(21 世紀 COE プログラム「スラブ・ユーラシア学の構築」研究報告集 16) 北海道大学スラブ研究センター, 79–85 頁

宇山智彦 2006 「ヒズブッタフリール(解放党)メンバーとの出会い」『スラブ研究センターニュース』104, 13–15 頁

宇山智彦 2006 「クルグズスタンの「革命」とカザフスタンの「安定」: 15 年の政治・社会変動の結果を分けたのは何か」『ユーラシア研究』35, 3–8 頁

宇山智彦 2006 → 『ユーラシア研究』35, 2006 に所載

Uyama, Tomohiko, 2007 → Uyama, Tomohiko, ed., 2007 に所載

宇山智彦 2008 「アブハジア・南オセチア: 小さな地域の大きな紛争」『世界』2008 年 11 月号, 54–61 頁

宇山智彦 2008 → 宇山智彦編、北海道大学スラブ研究センター監修 2008 に所載

宇山智彦 2008 → 小杉泰、林佳世子、東長靖編 2008 に所載

宇山智彦 2009 「グルジア紛争後の中央ユーラシアとロシア: 小国のバーゲニング・パワー

- が作る国際秩序」『現代思想』2009年3月号, 206-217頁
- 宇山智彦 2009 「中央アジアを理解するための6つの鍵」『外交フォーラム』2009年6月号, 38-41頁
- 宇山智彦 2009 → 宇山智彦、クリストファー・レン、廣瀬徹也編 2009 に所載
- 宇山智彦 2009 → 前田弘毅編 2009 に所載
- 宇山智彦等 2009 → 久保慶一、西山克典、鳥山祐介、家田修、宇山智彦、松里公孝 2009
- Уяма, Томохико, 2011, Восприятие международной обстановки начала XX в. А. Букейханом и его современниками // «Алаш мұраты және тәуелсіз Қазақстан»: Халықаралық ғылыми-практикалық конференцияның материалдарының жинағы. Астана: Беркут-Принт, С. 13-19
- Uyama, Tomohiko, 2011 → Uyama, Tomohiko, ed., 2011 に所載
- 宇山智彦 2011 「(書評) 浜由樹子著『ユーラシア主義とは何か』」『国際政治』163, 180-183頁
- 宇山智彦 2011 「勃興する第二地域と日本：中央アジア史から見た「文明の生態史観」」小長谷有紀責任編集『梅棹忠夫：知的先覚者の軌跡』国立民族学博物館, 56-57頁
- 宇山智彦 2011 (程艳阳訳) 「日本の中部欧亜研究：俄羅斯研究与東方研究的緊密結合」『俄羅斯研究』2011年第1期, 122-127頁
- 宇山智彦 2011 → 松本弘編著 2011 に所載
- 宇山智彦 2012 「ロシア帝国論」ロシア史研究会編『ロシア史研究案内』彩流社, 165-179頁
- 宇山智彦 2012 「(書評) 高田和夫著『ロシア帝国論：一九世紀ロシアの国家・民族・歴史』」『ロシア史研究』91, 45-50頁
- 宇山智彦 2012 「(書評) 藤本透子著『よみがえる死者儀礼：現代カザフのイスラーム復興』」『人環フォーラム』31, 57頁
- 宇山智彦 2012 → 宇山智彦 2012 に所載
- Uyama, Tomohiko, 2012 → Uyama, Tomohiko, ed., 2012 に所載
- Уяма, Томохико, 2012, Бакытжан Каратаев и алашордынцы: изменения взаимоотношений // История Западного отделения Алаш-Орды: Сборник научных статей // Под ред. М. Н. Сдыкова. Уралск: Западно-Казахстанский центр истории и археологии, С. 290-298
- 宇山智彦 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 宇山智彦 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 宇山智彦 2012 → 窪田順平監修、奈良間千之編 2012 に所載
- 宇山智彦 2012 → 塩川伸明、小松久男、沼野充義、宇山智彦編 2012 に所載
- 宇山智彦 2012 → 塩川伸明、小松久男、沼野充義、宇山智彦編 2012 に所載
- 宇山智彦 2012 → 北海道中央ユーラシア研究会編 2012 に所載
- ウラコワ, マハバット、富樫耕介 2013 「クルグズ(キルギス)共和国における「二度目の革

- 命」はなぜ生じたのか：革命の経緯・要因の再考』『ロシア・ユーラシアの経済と社会』  
974, 33-48 頁
- ウラコワ, マハバット 2013 「独立後のキルギス（クルグズ）共和国に対する国際援助：援助  
はキルギスを豊かにしたのか」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』975, 26-43 頁
- ウラコワ, マハバット等 2013 → 富樫耕介, ウラコワ, マハバット 2013
- 榎本弘行等 2012 → 阿迪拉・庫尔班, 榎本弘行 2012
- 榎本弘行等 2013 → 阿迪拉・庫尔班, 榎本弘行, 佐藤信行 2013
- 遠藤忠 2012 → 嶺井明子, 川野辺敏編 2012 に所載
- 遠藤哲也 2012 「アフガニスタンにおける米国麻薬取締局の対麻薬活動」『海外事情』60(12),  
79-93 頁
- 遠藤義雄 2005 「キルギスタンのチューリップ革命」『海外事情』（拓殖大学海外事情研究所）  
53(5), 17-26 頁
- 王瓊 2011 → 梅村坦, 新免康編 2011 に所載
- 王建新, 新免康 2005 「中国ムスリムの女性教育：1990 年代以降の状況を中心に」加藤博編『イ  
スラームの性と文化』所収, 東京大学出版会, 127-151 頁
- 王建新 2008 → 『中国ムスリムの宗教的・商業的ネットワークとイスラーム復興に関する  
学際的共同研究』2008 に所載
- 王建新 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- 大川玲子 2010 「ウズベキスタンのウスマーン写本：「世界最古」のクルアーン（コーラン）写本」  
『国際学研究』37, 87-93 頁
- 大倉忠人 2012 「クルグズスタンの国政選挙からみる民主化の軌跡：2011 年のクルグズ大統  
領選に至る道」『法政大学大学院紀要』69, 125-143 頁
- 大倉忠人 2013 「社会のセーフティ・ネットとして機能するキルギスの地域コミュニティ」『地  
域イノベーション』5, 125-136 頁
- 大倉忠人 2013 「キルギス人の経済観形成に係る一考察：キルギス民族の歴史から」『公共政  
策志林』1, 127-142 頁
- 大倉忠人 2013 「なぜナルン市民は立ち上がったのか：革命勃発の端緒と文脈に関する一考察」  
『法政大学大学院紀要』71, 193-208 頁
- 大崎紀子 2004 → 林徹, 梅谷博之編 2004 に所載
- 大杉卓三等 2008 → 河野明日香, 大杉卓三, 大谷順子 2008
- 大杉卓三等 2009 → 河野明日香, 大杉卓三, 大谷順子 2009
- 大杉卓三 2010 → 大杉卓三, 大谷順子編 2010 に所載
- 太田公典 2013 「中央アジアウズベキスタンの陶芸：原料からみるリシトン“青の陶芸”の意

- 味』『アジア民族造形学会誌』13, 85-98 頁
- 大谷順子 2008 「加濃式社会的ニコチン依存度調査表 (KTSND) を用いた大学生低学年の喫煙に対する意識調査と禁煙教育の効果：中央アジア諸国 (カザフスタン共和国とウズベキスタン共和国) と日本 (九州大学) の比較調査研究」『大学院教育学研究紀要』(九州大学) 10, 97-116 頁
- 大谷順子等 2008 → 河野明日香、大杉卓三、大谷順子 2008
- 大谷順子等 2009 → 河野明日香、大杉卓三、大谷順子 2009
- 大谷順子 2010 → 大杉卓三、大谷順子編 2010 に所載
- 大谷順子等 2010 → 希日娜依・買蘇提 (シェリンアイ・マソティ)、大谷順子 2010
- 大谷順子等 2011 → 希日娜依・買蘇提、大谷順子 2011
- 大谷実 2012 → 嶺井明子、川野辺敏編 2012 に所載
- 大塚友美、青木一能、葎田光三他 2008 「平成 17 年度・平成 18 年度 日本大学精神文化研究所「共同研究」研究報告 多民族居住地域における社会文化変容の分析：新疆ウイグル自治区を分析対象として」『日本大学精神文化研究所紀要』38, 1-18 頁
- 大塚友美、守屋政平、葎田光三他 2008 「多民族地域における社会経済開発と民族共生：新疆ウイグル自治区を分析対象として (2006 年度人文科学研究所共同研究 B 研究報告)」『研究紀要』(日本大学文理学部人文科学研究所) 75, 291-324 頁
- 大西純也 2012 「ウズベキスタンにおける農業生産と塩類集積対策」『農業』(1555), 64-67 頁
- 大西純也等 2012 → 奥田幸夫、大西純也 2012
- 大西健夫、地田徹朗 2012 → 窪田順平監修、渡邊三津子編 2012 に所載
- 大原一真 2011 「カザフスタン経済と銀行部門」『国際金融』1226, 32-37 頁
- 大原一真 2012 「カザフスタン独立 20 周年と今後の見通し」『国際金融』1232, 76-82 頁
- 大森圭祐 2012 「中国新疆ウイグル自治区での遊牧民の定住化：新疆北部の定住事業の現状と今後の動向」『農業』1556, 62-67 頁
- 大八木清隆 2008 「「知られざる」カザフを見る：観光大国化にはまだ課題多し」『エネルギーレビュー』27(12), 32-37 頁
- 岡奈津子 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004 に所載
- 岡奈津子 2004 → 田畑伸一郎、末澤恵美編 2004 に所載
- 岡奈津子 2005 「カザフスタンにおける地方政治エリート (1992 ~ 2001 年)」青山弘之、酒井啓子編『中東・中央アジア諸国における権力構造：したたかな国家・翻弄される社会』岩波書店, 111-142 頁
- 岡奈津子、半谷史郎 2005 「旧ソ連朝鮮人研究の現状：李愛俐娥著『中央アジア少数民族社会の変貌：カザフスタンの朝鮮人を中心に』を読んで」『アジア経済』46(10), 66-79 頁

- 岡奈津子 2005 → 『アジア研ワールド・トレンド』 112, 2005 に所載
- 岡奈津子 2006 「カザフスタン：権威主義体制における民族的亀裂の統制」 間寧編『西・中央アジアにおける亀裂構造と政治体制』（研究双書 No.555）アジア経済研究所, 211–248 頁（第 5 章）
- Oka, Natsuko, 2006, “The ‘Triadic Nexus’ in Kazakhstan: A Comparative Study of Russians, Uighurs, and Koreans,” Ieda, Osamu et al., ed., *Beyond Sovereignty: From Status Law to Transnational Citizenship?*, Sapporo: Slavic Research Center, Hokkaido University, pp. 359–380
- 岡奈津子 2006 「（講演記録）カザフスタン大統領選挙：約束されていたナザルバエフの勝利」 『ロシア東欧貿易調査月報』 51(3), 51–59 頁
- 岡奈津子 2007 「民族化するカザフスタンにおけるコリアン・ディアスポラ：エスニック・マイノリティとしての生き残り戦略」 高全恵星監修、柏崎千佳子訳『ディアスポラとしてのコリアン：北米・東アジア・中央アジア』新幹社, 491–527 頁
- Oka, Natsuko, 2007 → Uyama, Tomohiko, ed., 2007 に所載
- 岡奈津子 2007 → 新免康編 2007 に所載
- 岡奈津子 2008 「2007 年カザフスタン下院選挙：大統領与党による「一党独裁」の成立」 『現代の中東』 44, 28–36 頁
- 岡奈津子 2010 「同胞の「帰還」：カザフスタンにおける在外カザフ人呼び寄せ政策」 『アジア経済』 51(6), 2–23 頁
- 岡奈津子等 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 岡奈津子 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- 岡奈津子 2013 「カザフスタンにおける日常的腐敗：フィールドワークに基づく考察」 『アジア研ワールド・トレンド』 209, 37–42 頁
- 岡奈津子 2013 「父祖の地を目指して：カザフスタンに『帰還』する在外カザフ人」 『アジア研ワールド・トレンド』 216, 27–33 頁
- Oka, Natsuko, 2013, “A Note on Ethnic Return Migration Policy in Kazakhstan: Changing Priorities and a Growing Dilemma,” IDE Discussion Paper (<http://www.ide.go.jp/English/Publish/Download/Dp/index.html> で公開) No. 394
- 岡崎邦彦 2005 「中国の中央アジア政策：上海協力機構（SCO）設立にみる中国の中央アジア政策」 『東洋研究』（大東文化大学東洋研究所） 154, 1–31 頁
- 岡田晃枝 2004 → 『国際政治』 138, 2004 に所載
- 岡田晃枝 2013 「タジキスタン：ロシアへの複雑な思い」 『地域研究』 13(2), 393–399 頁
- 小川啓一 2008 「ウズベキスタンにおける後期中等教育と労働市場の分析」 『国民経済雑誌』（神戸大学経済経営学会） 197(4), 45–63 頁

- 小川啓一、中室牧子 2010 「移民と送金が就学率に与える影響について：タジキスタンの家計調査を用いた実証研究」『国民経済雑誌』201(6), 67-84 頁
- 奥田幸夫、大西純也 2012 「ウズベキスタンにおける塩害農地の現状と課題」『水土の知：農業農村工学会誌』80(2), 83-86 頁
- オスマノヴァ, ラリサ 2006 「戦前の東アジアにおけるテュルク・タタール移民の歴史的変遷に関する覚書」『北東アジア研究』10, 45-66 頁
- 小田桐奈美 2011 「キルギス語の正書法改革の展開：ロシア語的要素の扱いをめぐって」『ことばと社会』13, 199-223 頁
- 小田桐奈美 2011 「旧ソ連における国家語概念に関する一考察：クルグズ（キルギス）共和国における地位計画を事例として」『スラヴィアーナ』2（通算 24 号）, 47-68 頁
- Ochiai, Yasuhiro et al., 2009 → Watanabe, Teiji, Maksat Anarbaev, Yasuhiro Ochiai, Shigeyuki Izumiyama and Lebaiatelaite Gaunavinaka, 2009
- 落合康浩、水嶋一雄 2011 「キルギス共和国アライ谷における産業構造及び生活の実態」『日本大学文理学部自然科学研究所研究紀要』46, 11-24 頁
- 小沼孝博 2004 「『西域地理図説』所収の中央アジア諸部に関連する満文記事について」片岡一忠編『明・清両朝の「藩」政策の比較研究』（平成 13 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2) 研究成果報告書）、66-81 頁
- 小沼孝博 2005 「イリ駐防八旗の設置について：清朝の新疆支配体制の構築に関する一考察」『東方学』110, 108-121 頁
- 小沼孝博 2006 「「フンカル国」小考：18-19 世紀のユーラシア東部におけるオスマン朝認識の一端」楠木賢道編『清朝における満・蒙・漢の政治統合と文化変容』（平成 14 年度～平成 17 年度科学研究費補助金基盤研究(B) 研究成果報告書）、112-120 頁
- 小沼孝博 2006 「ヤルカンド＝オアシスに残る清朝支配期の史跡」『日本中央アジア学会報』2, 31-37 頁
- 小沼孝博 2007 「清朝とカザフ遊牧勢力との政治的関係に関する一考察：中央アジアにおける「エージェンシャルバト」関係の敷衍と展開」『アジア・アフリカ言語文化研究』72, 39-63 頁
- 小沼孝博 2007 「ベク制度の創設：清朝公文書による東トルキスタン史研究序説」『内陸アジア史研究』22, 39-59 頁
- 小沼孝博 2009 → 窪田順平、承志、井上充幸編 2009 に所載
- 小沼孝博 2010 「1770 年代における清-カザフ関係：閉じゆく清朝の西北辺疆」『東洋史研究』69(2), 1-34 頁
- Onuma, Takahiro, 2010 → Millward, James A., Shinmen Yasushi and Sugawara Jun, eds., 2010 に

所載

- Onuma, Takahiro, 2011 “The Development of the Junghars and the Role of Bukharan Merchants,”  
*Journal of Central Eurasian Studies* 2, pp. 83–100
- 小沼孝博 2012 「(書評) 野田仁『露清帝国とカザフ＝ハン国』『歴史学研究』(895), 51–54  
頁
- Onuma, Takahiro, 2012 “Promoting Power : The Rise of Emin Khwaja on the Eve of the Qing  
Conquest of Kashgaria”『遊牧世界と農耕世界の接点：アジア史研究の新たな史料と視点』  
(『学習院大学東洋文化研究所調査研究報告書』57) , 31–60 頁
- 小沼孝博 2012 → 窪田順平監修、承志編 2012 に所載
- 小沼孝博 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- Onuma, Takahiro et al., 2012 → Shinmen, Yasushi and Onuma Takahiro, 2012
- 小沼孝博 2013 「ヌサン使節の派遣：1757 年における清とアブライの直接交渉」『アジア文化  
史研究』14, 1–20 頁
- 小沼孝博、新免康、河原弥生 2013 「国立故宮博物院所蔵 1848 年コーカンド文書再考」『東  
北学院大学論集・歴史と文化』49, 1–24 頁
- 小野浩 2006 → 堀川徹編 2006 に所載
- 小野浩 2010 → 窪田順平編 2010 に所載
- 小野瑞絵等 2013 → 村主道美、小野瑞絵 2013
- 小野亮介 2013 「(書評) 松原正毅著『カザフ遊牧民の移動：アルタイ山脈からトルコへ  
1934–1953』『アジア経済』54(4), 188–192 頁
- 帯谷知可 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004 に所載
- 帯谷知可 2005 「英雄の復活：現代ウズベキスタン・ナショナリズムの中のティムール」酒  
井啓子、臼杵陽編『イスラーム地域の国家とナショナリズム』東京大学出版会, 185–  
212 頁
- 帯谷知可 2005 「中央アジア地域研究希少資料デジタル化の試み」『地域研究』(国立民族学  
博物館) 7(1), 185–195 頁
- 帯谷知可 2005 「オストロウモフの見たロシア領トルキスタン」『ロシア史研究』76,  
15–27 頁
- 帯谷知可 2005 「旧ソ連中央アジアの国境：20 世紀の歴史と現在」(北海道大学スラブ研究セ  
ンター公開講座(2) ユーラシアの国境問題を考える)『しゃりばり』284, 54–58 頁
- 帯谷知可 2006 「旧ソ連中央アジアの国境：20 世紀の歴史と現在」岩下明裕編著『国境・誰  
がこの線を引いたのか：日本とユーラシア』(スラブ・ユーラシア叢書) 北海道大学出  
版会, 57–80 頁 (第 3 章)

- 帯谷知可 2006 「アンディジャン事件：ウズベキスタンにおける暴力の「現場」からの声をどう聞くか」押川文子編『紛争の総合的研究』（平成15年度～平成17年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告）, 115-154 頁
- 帯谷知可 2006 → 堀川徹編 2006 に所載
- 帯谷知可等 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 帯谷知可 2013 → 帯谷知可編 2013 に所載
- 華立 2006 「乾隆期の新教回民弾圧と新疆への波及」『東アジア研究』（大阪経済法科大学アジア研究所）45, 79-92 頁
- 華立 2009 → 窪田順平、承志、井上充幸編 2009 に所載
- Hua, Li, 2010 → Millward, James A., Shinmen Yasushi and Sugawara Jun, eds., 2010 に所載
- 華立 2012 → 窪田順平監修、承志編 2012 に所載
- 華立 2013 「「異郷」から「家郷」へ：清代新疆における内地移民社会の出現」『東アジア研究』60, 15-24 頁
- 艾孜木 → 阿依努尔・艾孜木
- Gaunavinaka, Lebaiatelaite, et al., 2009 → Watanabe, Teiji, Maksat Anarbaev, Yasuhiro Ochiai, Shigeyuki Izumiyama and Lebaiatelaite Gaunavinaka, 2009
- Gaunavinaka, Lebaiatelaite, et al., 2010 → Watanabe, Teiji, Shigeyuki Izumiyama, Lebaiatelaite Gaunavinaka and Maksat Anarbaev, 2010
- ガウナビナカ・レンバイアテライテ等 2011 → 渡辺悌二、泉山茂之、澤柿教伸、ガウナビナカ・レンバイアテライテ、マクサト・アナルバエフ 2011
- 加々美光行 2009 「ウルムチ暴動と中国の危機：「開発援助」は何をもたらしたか」『環』39, 20-35 頁
- 加々美光行 2009 「中国の民族主義の変貌とウルムチ事件：天下主義と「普遍—特殊」ナショナルリズム」『情況 第三期』10(9) (通号 88), 6-29 頁
- 角張嘉孝 2013 「タジキスタン国における温暖化防止のための森林保全調査研究：JSPS-JICA 科学技術研究員派遣事業による調査」『海外の森林と林業』88, 3-8 頁
- 風戸真理 2012 「ポスト社会主義国における職業と人生選択：カザフスタンのある朝鮮人の事例より」『神戸山手大学紀要』14, 97-107 頁
- 笠原俊宏 2008 「アゼルバイジャン共和国の国際私法立法：「国際私法に関する法律」及び「家族法典」中の国際私法規定」『東洋法学』（東洋大学法学会）51(2) (通号 110) , 67-87 頁
- Kasimu → Alimujiang Kasimu
- 梶浦岳 2009 「クルグズ共和国における農牧業の地域的特性」『地球環境研究』（立正大学地

- 球環境科学部) 11, 139-149 頁
- 梶浦岳 2010「クルグズ共和国北部ウスツクグル州テスケイ山脈における家畜飼育の形態」『地域研究』50(2), 18-32 頁
- 鹿島正裕、Qasim Wafayezada 2012「紛争後の平和構築への国際的支援：カンボジアとアフガニスタンの事例」『人間社会環境研究』23, 43-70 頁
- Qasim → Wafayezada, Qasim
- 片岡一忠 2006「近現代中国における「西北」への関心と研究の歴史」『歴史人類』34, 1-62 頁
- 片山博文 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004 に所載
- 片山博文等 2004 → 岩崎一郎、片山博文、輪島実樹 2004
- 片山博文 2005「アラル海をめぐる国際協力：『地域共有資源』の構築へ向けて」『桜美林エコノミックス』（桜美林大学経済学部）52, 39-55 頁
- 片山博文 2006「中央アジアの体制転換とミレニアム開発目標（特集 ソ連解体から15年目の CIS 諸国）」『ロシア東欧貿易調査月報』51(6), 41-55 頁
- 香月法子 2011 → 梅村坦、新免康編 2011 に所載
- 加藤巖 2007「ウズベキスタンの物価・所得水準と人間開発指数から考える生活環境」『東西南北 2007』（和光大学総合文化研究所）235-250 頁
- 加藤志津子 2011「カザフスタンの企業システムの現状：2010年3月のアスタナでの調査を中心として」『明治大学社会科学研究所紀要』49(2), 67-82 頁
- 加藤孝明等 2010 → 龍甚良、加藤孝明、小出治 2010
- 加藤直人 2010「新疆北部およびアルマトイ現地調査報告」『満族史研究』(8), 129-149 頁
- 狩野良昭 2013「アフガニスタン稲作振興支援プロジェクト (RIPA)」『国際農林業協力』36(4), 2-9 頁
- 香山弘文 2007「我が国のカザフスタン向け原子力外交の本質と展望：ウラン権益確保の裏に隠されたカザフスタンとの原子力協力の真の戦略性とは何か？」『アトモス』（日本原子力学会）49(8), 543-547 頁
- カリモヴァ、オミナ、木之下健一 2013「ウズベキスタンにおける言語的少数派擁護の取り組み」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』967, 37-49 頁
- カリーモワ、スライヤー（木村暁訳）2010「ウズベキスタンにおけるイスラーム期文献史料の研究：成果と課題」『イスラーム地域研究ジャーナル』(2), 64-76 頁
- カル・モハマト・アハマトザイ、豊田隆 2013「アフガニスタン農村における貧困と生計の多様化：アフガニスタンタハル州ヤング・カラ地区における事例研究」『開発学研究』24(2), 42-51 頁
- 川上高司 2012「アフガニスタンの現状と将来：米軍の拘束作戦」『海外事情』60(3), 2-16 頁

- 川口琢司 2006 → 堀川徹編 2006 に所載
- 川口琢司 2008 「ティムールとトクタミシュ：トクタミシュ軍のマーワラーアンナフル侵攻とその影響」『北海道武蔵女子短期大学紀要』40, 125-155 頁
- 川口琢司 2009 → 森本一夫編 2009 に所載
- 川口琢司、長峰博之 2010 「15 世紀ジョチ・ウルスとモスクワの相互認識：ロシア語テュルク語文書を中心に」『北西ユーラシア歴史空間の再構築：ロシア外部の史料を通じてみた前近代ロシア世界』（北海道大学スラブ研究センター共同利用・共同研究拠点公募プログラム・シンポジウム報告書）, 93-125 頁
- Кавагучи, Т., Нагаминэ, Х., 2010, Некоторые новые данные о «Чингиз-нама» Утемиша-хаджи: в системе историографии в Дашт-и Кипчаке.// Золотоордынская цивилизация: Сборник статей. Выпуск 3. Казань: Центр золотоордынских исследований ИИ АН РТ, С. 44-52.
- 川口琢司 2011 → 近藤信彰編 2011 に所載
- 川口琢司、長峰博之 2013 「ジョチ・ウルス史再考」『内陸アジア史研究』28, 27-51 頁
- 川口琢司 2013 「ティムールの冬営地と帝国統治・首都圏」『史学雑誌』122(10), 1-38 頁
- 川崎智也等 2012 → 花岡伸也、川崎智也 2012
- 河東哲夫 2007 「権威主義・強権主義の一大ベルトにいかに関与すべきか：もうユーラシアで躓かないために」『中央公論』1473, 172-184 頁
- 河東哲夫 2009 → 宇山智彦、クリストファー・レン、廣瀬徹也編 2009 に所載
- 河東哲夫 2010 「「中央アジア」はユーラシアの失われた環」『ロシア・ユーラシア経済』(932), 2-16 頁
- 河野明日香 2007 「ウズベキスタンの学校における地域共同体（マハッラ）の教育：政府のマハッラ政策との関連で」『比較教育学研究』35, 166-185 頁
- 河野明日香 2008 「ウズベキスタンのマハッラ（地域共同体）と子どもの社会化：イスラームを核とした社会性の習得と文化継承に焦点を当てて」『飛梅論集』（九州大学大学院教育学コース院生論文集）8, 17-36 頁
- 河野明日香、大杉卓三、大谷順子 2008 「中央アジア諸国におけるコミュニティ研究：ジェンダーの視点から」『アジア女性研究』17, 87-96 頁
- 河野明日香、大杉卓三、大谷順子 2009 「中央アジア諸国におけるコミュニティ研究：ウズベキスタン、タジキスタン、キルギスにおける女性のコミュニティ活動を中心に」『アジア女性研究』18, 83-95 頁
- 河野明日香 2010 → 大杉卓三、大谷順子編 2010 に所載
- 河野明日香 2011 「独立後のカザフスタンにおける高等教育改革と留学生政策：欧州・アジア諸国によるインパクトに焦点を当てて」『教育制度研究紀要』(6), 1-12 頁

- 河野明日香等 2011 → アナトラ・グリジャナティ、河野明日香 2011
- 河野明日香 2012 「現代中央アジアの教育における茶と国民形成」『TASC monthly』(433), 6-11 頁
- 河野明日香 2013 「ウズベキスタンにおける成人教育と国際支援：DVV International の実践とネットワークの事例を通して」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 教育科学』60(1), 39-48 頁
- 川端良子 2012 「中央アジアのアラル海の縮小が漁業資源、農業、食糧生産に及ぼす影響について」『日本海水学会誌』66(2), 79-85 頁
- 川端良子 2013 「アラル海の消失とその再生に向けて」『季刊民族学』37(3), 60-65 頁
- 河原達也等 2011 → アプリミテ・ミジテ、河原達也、ハムヅラ・アスカ 2011
- 河原弥生 2005 「コーカンド・ハーン国におけるマルギランのトラたち：ナクシュバンディエー教団系の聖者一族に関する一考察」『日本中東学会年報』20(2), 269-294 頁
- 河原弥生 2006 『『ホージャ・ハサン・サーヒブキラーン伝』：フェルガナ盆地における民間所蔵史料の研究』『アジア・アフリカ言語文化研究』71, 205-257 頁
- 河原弥生 2007 → 澤田稔編 2007 に所載
- 河原弥生等 2007 → 澤田稔編 2007 に所載
- 河原弥生 2007 → 新免康編 2007 に所載
- 河原弥生 2008 「(書評) Adeb Khalid, Islam after Communism: Religion and Politics in Central Asia. Berkeley - Los Angeles - London: University of California Press, 2007, xv+241pp.」『アジア経済』49(8), 73-77 頁
- 河原弥生 2010 「コーカンド・ハーン国期フェルガナ盆地におけるムジャッディディーヤの発展」『内陸アジア史研究』25, 31-54 頁
- Kawahara, Yayoi, 2012 → Babadjanov, Bakhtiyar and Kawahara Yayoi, eds., 2012 に所載
- Kawahara, Yayoi, 2013 → Shinmen, Yasushi, Sawada Minoru and Edmund Waite, eds., 2013 に所載
- Kawahara, Yayoi et al., 2013 → Shinmen, Yasushi, Sawada Minoru and Edmund Waite, eds., 2013 に所載
- 河原弥生等 2013 → 小沼孝博、新免康、河原弥生 2013
- 川本正知 2006 → 堀川徹編 2006 に所載
- 川本正知 2008 「ナクシュバンディエー教団の修業法について (2) : アブド・アッラフマーン・ジャーミー著『ホージャガーンの修業法についての論考』より」『西南アジア研究』69, 1-32 頁
- 川本正知 2010 「モンゴル帝国における戦争:遊牧民の部族・軍隊・国家とその定住民支配」『ア

- 『アジア・アフリカ言語文化研究』80, 113-151 頁
- 川本正知 2012 「バハー・ウッディーン・ナクシュバンドの生涯とチャガタイ・ハン国の終焉」  
『東洋史研究』70(4), 768-738 頁
- 川本正知 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- カン, ビクトリヤ 2012 「大企業の再編成と中小企業の新規開業：ウズベキスタン移行経済の実証研究」『比較経済研究』49(1), 31-44 頁
- Kan, V. 2012 「体制転換期の中小企業育成における国家の役割：ウズベキスタンの事例研究」  
『ロシア・ユーラシアの経済と社会』959, 13-40 頁
- 菊田悠 2005 「変化の中の『伝統』解釈と実践：ポスト・ソヴィエト期ウズベキスタンの陶工の事例より」『アジア経済』（アジア経済研究所）46(9), 42-61 頁
- 菊田悠 2005 「ソ連期ウズベキスタンにおける陶業の変遷と近代化の点描」『国立民族学博物館研究報告』30(2), 231-278 頁
- Kikuta, Haruka, 2009, “A Master is greater than a father: Rearrangements of tradition among Muslim artisans in Soviet and post-Soviet Uzbekistan,” D. C. Wood, ed., *Economic development, integration, and morality in Asia and the Americas* (Research in Economic Anthropology 29), UK: JAI Press, Emerald, pp. 89-122.
- Kikuta, Haruka, 2011, “Ruh or Spirits of the Deceased as Mediators in Islamic Belief: The Case of a Town in Uzbekistan,” *ACTA SLAVICA IAPONICA*, 30, pp. 63-78
- 菊田悠 2012 「ウズベキスタン東部地方都市における聖者崇敬の現在：ムスリム陶工のピール崇敬を中心に」『文化人類学』77(3), 361-381 頁
- 希日娜依・買蘇提（シェリンアイ・マソティ）、大谷順子 2010 「中国新疆南部の農村地域におけるウイグル人女性の教育状況に関する調査報告」『九州大学アジア総合政策センター紀要』4, 67-83 頁
- 希日娜依・買蘇提、大谷順子 2011 「新疆ウイグル自治区の特有群体「民考漢」：ウルムチ市のウイグル人を事例として」『中国 21』34, 281-302 頁
- 希日娜依・買蘇提（シェリンアイ・マソティ）2013 「新疆ウイグル自治区におけるウイグル語と漢語の言語接触について：2010 年における調査の紹介を中心に」『日本中央アジア学会報』9, 49-59 頁
- 北川誠一 2004 → 『国際政治』138, 2004 に所載
- 北川誠一 2009 → 前田弘毅編 2009 に所載
- 北川誠一 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 北川誠一等 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 北村浩二 2007 「中央アジアの農民水利組織の役割と課題」『水土の地』（農村農業工学会）

75(7), 621–626 頁

北村義信等 2013 → 安西俊彦、清水克之、北村義信 他 2013

木下恵二 2010 「一九三〇年代新疆盛世才政権下の「ソ連型」民族政策とその政治的矛盾」『史學』78(4), 413–44 頁

木下恵二 2011 「新疆における盛世才の統治と粛清：一九三七年～三八年」『法学政治学論究』(89), 1–24 頁

木下恵二 2012 「新疆における盛世才政権の民族政策の形成と破綻」『アジア研究』58(1・2), 18–32 頁

木之下健一 2012 → 嶺井明子、川野辺敏編 2012 に所載

Kinoshita, Kenichi, 2013, “Yaponiya va O’zbekistonda huquqiy ta’limning o’ziga xos xususiyatlari,” *Konstitutsiya - demokratiya va ijtimoiy adolat mezonlari - mavzusidagi to’plam*, Mas’ul muharrir:

Alimov, F., Toshkent: Nizomiy nomidagi Toshkent davlat pedagogika universiteti, 65–69 betlar

木之下健一等 2013 → カリモヴァ, オミナ、木之下健一 2013

木村暁 2006 → 堀川徹編 2006 に所載

木村暁 2007 → 宇山智彦編、北海道大学スラブ研究センター監修 2008 に所載

Kimura, Satoru, 2011 → Uyama, Tomohiko, ed., 2011 に所載

木村汎 2005 「CIS の終焉か：『オレンジ革命』の衝撃と限界」『海外事情』（拓殖大学海外事情研究所）53(5), 2–16 頁

木村汎 2007 「プーチンの中央アジア外交」『海外事情』（拓殖大学海外事情研究所）55(1), 64–82 頁

ギュロル → アブドゥラハマン・ギュロル

居来提・熱依木、草苺仁 2012 「中国新疆ウイグル自治区における農業経済成長へ影響を及ぼす要因に関する分析」『日本農業経済学会論文集』日本農業経済学会 333–336 頁

居来提・熱依木、草苺仁 2013 「新疆における農村の都市化と経済発展」『農林業問題研究』49(2), 381–384 頁

居来提・色依提 → ジュラティ・セイティ

魏力 → 米克拉依・魏力

久木元恵 2010 → 大杉卓三、大谷順子編 2010 に所載

草苺仁等 2012 → 居来提・熱依木、草苺仁 2012

草苺仁等 2013 → 居来提・熱依木、草苺仁 2013

久保一之 2008 「ナヴァーイー（ミール・アリー・シール）の社会観：Maḥbūd al-qulūb 第 1 章 日本語訳（付．ローマ字転写校訂テキスト）」『京都大學文學部研究紀要』47, 183–295 頁

久保一之 2012 「ミール・アリーシールと「ウイグルのバフシ」」『西南アジア研究』77,

39-73 頁

久保博子 2004 → 岩崎雅美編 2004 に所載

久保慶一、西山克典、鳥山祐介、家田修、宇山智彦、松里公孝 2009 「『講座 スラブ・ユーラシア学』 批評と応答」『スラヴ研究』 56, 215-243 頁

窪田順平 2012 「中央アジア乾燥・半乾燥地域の人と自然：歴史の変遷を中心に」『日本緑化工学会誌』 37(4), 455-459 頁

窪田順平 2013 「中央ユーラシアの人間と自然の相互作用の歴史の変遷：地球研・イリプロジェクトの成果から」『沙漠研究』 23(3), 129-135 頁

窪田順平 2013 「社会の流動性とレジリアンス：中央ユーラシアの人間と自然の相互作用の総合的研究の成果から」『史林』 96(1), 100-127 頁

熊谷瑞恵 2004 「ナンをめぐる中国新疆ウイグル族の食事文化」『文化人類学』 69(1), 1-24 頁

熊谷瑞恵 2007 「家庭の食事からみるウイグル族のつきあい：中央アジア新疆カシュガルにおける事例から」『イスラーム世界研究』 1(2), 270-299 頁

熊谷瑞恵 2012 「ナンをめぐる中国新疆ウイグル族の食事文化」『イルシー』 110, 74-84 頁

熊谷瑞恵 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載

熊倉潤 2012 「民族自決の帝国：ソ連中央アジアの成立と展開」『國家學會雑誌』 125(1・2), 41-104 頁

雲和広 2010 → 堀江典生編 2010 に所載

雲和広 2011 「タジキスタンの国際労働移民と外国送金：タジク移民は貧困削減的か」『経済研究』 62(2), 113-128 頁

雲和広 2013 → 五十嵐徳子、雲和広 2013

倉田亮 2012 「アゼルバイジャンの文化遺産の水環境：バクーとカスピ海」『用水と廃水』 54(12), 883-893 頁

倉田亮 2013 「世界遺産の水環境 (46) ウズベキスタンの文化遺産の水環境：サマルカンドとブハラ、消えゆくアラル海の現状」『用水と廃水』 55(11), 787-798 頁

グリザル・アブドロスリ 2007 「新疆ウイグル自治区における観光産業の発展と環境問題」『国際文化学』 (神戸大学国際文化学会) 16, 1-14 頁

グリザル・アブドロスリ 2009 「新疆ウイグル自治区における観光開発と貧困脱却」『国際文化学』 (神戸大学国際文化学会) 20, 67-85 頁

グリザル・アブドロスリ 2010 「新疆ウイグル自治区における農村観光開発」『国際文化学』 22, 85-101 頁

グリジャナティ → アナトラ・グリジャナティ

栗田抄苗 2007 「カザフスタンのエネルギー政策と北東アジアの対応」『エネルギー経済』 ((財)

- 日本エネルギー経済研究所) 33(2), 40–45 頁
- 黒岩高 2005 『学』と『教』:回民蜂起に見る清代ムスリム社会の地域相 『東洋学報』(東洋文庫) 86(3), 99–133 頁
- 黒河功等 2006 → 甫爾加甫、黒河功、志賀永一、祖力菲亜買提 2006
- 黒田卓 2006 → 堀川徹編 2006 に所載
- 玉素甫・阿布來提 (Yusup Ablet) 2010 「中央アジア諸国において「中国元」を決済通貨とする可能性」 『亜細亜大学大学院経済学研究論集』 34, 145–172 頁
- 玄承洙 2005 「北カフカスにおける『ワッハブ主義』の形成と展開」 『イスラム世界』 64, 91–99 頁
- 玄承洙 2012 「チェチェン/北コーカサスにおけるテロリズムと不安定の拡大:チェチェン抵抗イデオロギーの転換とコーカサス首長国の創設」 『ロシア・ユーラシアの経済と社会』 961, 37–51 頁
- 吳琮等 2012 → 劉智彪、吳琮 2012
- 小荒井理恵 2012 → お茶の水女子大学グローバル協力センター編 2012 に所載
- 小泉実 2007 「シルクロード(中央アジア) オアシス都市のあかり」 『照明学会誌』 91(10), 672–681 頁
- 小泉悠 2011 「ロシア、カザフスタン、ベラルーシの経済統合:関税同盟条約を中心に」 『外国の立法:立法情報・翻訳・解説』 250, 183–190 頁
- 小泉悠 2011 「ロシアのアキレス腱 グルジア戦争から3年を経たカフカス」 『軍事研究』 46(10), 217–231 頁
- 小泉悠 2012 「グルジア戦争後4年目の南カフカス最新情勢 プーチンを苛立たせる!グルジア再びアメリカに接近、NATO加盟を諦めず」 『軍事研究』 47(12), 104–117 頁
- 小出治等 2010 → 龍甚良、加藤孝明、小出治 2010
- 高明潔 2006 「一神教土着化の合理性:中国ムスリムの信仰体系と宗教活動に基づいて」 『愛知大学国際問題研究所紀要』 128, 21–48 頁
- 河野敦史 2013 「18～19世紀における回部王公とベク制に関する一考察:ハーキム・ベク職への任用を中心に」 『日本中央アジア学会報』 9, 19–48 頁
- 河野桂子 2013 「アフガニスタン戦争と付随的損害:武力紛争法上の評価」 『上智法学論集』 56(4), 219–253 頁
- 庫尔班 → 阿迪拉・庫尔班
- 小嶋祐輔 2009 『民族』化される格差:新疆ウイグル自治区を例に 『中国 21』 30, 193–212 頁
- 小嶋祐輔 2010 「ウイグル族と「漢化」:文化の二分法を超えて」 小長谷有紀、川口幸大、長沼さやか編 『中国における社会主義的近代化:宗教・消費・エスニシティ』 勉誠出版,

221-245 頁

- 小嶋祐輔 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- 小尻利治等 2012 → 峠嘉哉、田中賢治、小尻利治、浜口俊雄 2012
- 小杉末吉 2010 「一九九四年ロシア連邦-タタルスタン共和国権限区分条約論 (1) 交渉過程を焦点に据えて」『法学新報』117(3・4), 1-86 頁
- 小杉末吉 2011 「一九九四年ロシア連邦-タタルスタン共和国権限区分条約論 (2) 交渉過程を焦点に据えて」『法学新報』117(5・6), 1-44 頁
- 小杉末吉 2011 「一九九四年ロシア連邦-タタルスタン共和国権限区分条約論 (3・完) 交渉過程を焦点に据えて」『法学新報』117(9・10), 33-102 頁
- 後藤寛等 2009 → 小松久男、後藤寛 2009
- 小長谷有紀等 2012 → 窪田順平監修、渡邊三津子編 2012 に所載
- 小林善文 2006 「中国新疆ウイグル自治区の水資源問題」『神戸女子大学文学部紀要』39, 25-36 頁
- Komatsu, Hisao, 2004, "Bukhara and Kazan," *Acta Asiatica* 86, pp.75-90
- 小松久男 2004 「中央アジアにおけるイスラーム復興」、片倉もところ、梅村坦、清水芳見編『イスラーム世界』所収、岩波書店 (2,940 円)、72-97 頁
- 小松久男 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004 に所載
- Komatsu, Hisao, 2004 → Dudoignon, Stéphane A. and Komatsu, Hisao, ed., 2004 に所載
- 小松久男 2007 「ロシア革命とイスラーム：中央アジアを中心に」『ユーラシア研究』(ユーラシア研究所) 37, 15-20 頁
- Komatsu, Hisao, 2007 → Uyama, Tomohiko, ed., 2007 に所載
- 小松久男 2008 → 小杉泰、林佳世子、東長靖編 2008 に所載
- 小松久男、後藤寛 2009 「中央アジアの動態を読む：GIS による地域研究の試み」水島司、柴山守編『地域研究のための GIS』古今書院 (3,500 円+税), 95-112 頁
- 小松久男 2010 「中央アジアのムハージル」宮治美江子編『中東・北アフリカのディアスポラ』(叢書 グローバル・ディアスポラ 3) 明石書店, 102-125 頁
- 小松久男 2010 「中央ユーラシアの変容と波動」小杉泰編『イスラームの歴史 2 イスラームの拡大と変容』(宗教の世界史 12) 山川出版社, 131-164 頁
- 小松久男 2012 「中央ユーラシア研究の新天地：イスラーム地域研究部門の活動によせて」『文化交流研究：東京大学文学部次世代人文学開発センター研究紀要』(25), 1-9 頁
- 小松久男 2012 『ユーラシア世界』へのいざない (2) シベリアからアナトリアへ：ある汎イスラーム主義者の復権『UP』41(7), 20-26 頁
- 小松久男 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載

- 近藤昭彦等 2013 → シャオケイテイ・アジ、近藤昭彦 2013
- 金野雄五 2010 「ロシア・ベラルーシ・カザフスタンの関税同盟」『ロシア NIS 調査月報』  
55(6) (通号 944), 14-25 頁
- 金野雄五 2010 「ロシア・ベラルーシ・カザフスタン関税同盟の始動」『国際金融』1211,  
34-39 頁
- 金野雄五 2012 「ロシア・ベラルーシ・カザフスタン関税同盟の現状と展望：統合の現段階と  
「共通経済空間」が目指すもの」『ロシア NIS 調査月報』57(4), 1-8 頁
- 崔淑芬 2006 「新疆ウイグル自治区の教育現状」『筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学  
部紀要』1, 189-200 頁
- 斎尾恭子 2012 「シルクロードの中継点、ウズベキスタンのパンと麺」『愛国学園短期大学紀要』  
(29), 83-93 頁
- 斎尾恭子 2013 「中国西域の食：シルクロードのパンと麺（続編）」『愛国学園短期大学紀要』  
30, 25-40 頁
- 斎藤治子 2006 → 『ユーラシア研究』35, 2006 に所載
- 斎藤元秀 2005 「旧ソ連地域と大国の関係：利害の錯綜と新たな現実」『国際問題』（日本国  
際問題研究所）544, 13-25 頁
- 坂井弘紀 2005 「語り継がれる『記憶』」林佳世子、榎谷友子編『記憶と表象：資料が語るイ  
スラーム世界』東京大学出版会, 33-54 頁
- 坂井弘紀 2007 「中央ユーラシアの英雄叙事詩「チョラ・バトゥル」の地域的特徴再考：ノ  
ガイとカラカルパクのヴァリエーションについて」『東西南北 2007』（和光大学総合文化研  
究所）210-229 頁
- 坂井弘紀 2007 「死から逃れようとする賢者：テュルク世界の伝説的人物コルクトについて」  
永澤峻編著『死と来世の神話学』言叢社, 279-300 頁
- 坂井弘紀 2007 → 新免康編 2007 に所載
- 坂井弘紀 2008 「中央ユーラシア・テュルクの叙事詩に描かれる「異民族」」『北東アジア研究』  
(島根県立大学北東アジア地域研究センター) 別冊 1, 109-133 頁
- 坂井弘紀 2012 「カザフの神話的昔話「エル・トスティク」」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』  
14, 233-262 頁
- 坂井弘紀 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 坂井弘紀 2012 → 塩川伸明、小松久男、沼野充義編 2012 に所載
- 坂口泉 2007 「カザフスタンの石油分野におけるロシアのプレゼンス」『ロシア NIS 調査月報』  
52(6), 14-27 頁
- 坂口泉 2011 「回復遅れる NIS 乗用車市場：ウクライナ・ベラルーシ・カザフ」（特集 NIS 諸

- 国のベクトルを探る)『ロシア NIS 調査月報』56(6), 14-28 頁
- 坂口泉 2011「ロシアとカザフスタンの石油産業の歩み」(特集 ソ連解体と NIS 諸国の独立から 20 年)『ロシア NIS 調査月報』56(12), 22-42 頁
- 坂口泉 2011「タタルスタンとパシコルトスタンの石油産業：新首長の下での動き」『ロシア NIS 調査月報』56(2)( 通号 951), 1-16 頁
- 坂口泉 2012「タタルスタン共和国の石油および化学産業」『ロシア NIS 調査月報』57(8), 18-31 頁
- 坂下明彦等 2012 → 中村正士、坂下明彦 2012
- 酒田剛 2009「資源国としての存在感が高まるカザフスタン：金属鉱物をめぐる最近の動向と注目点」『金属資源レポート』38(4)( 通号 369), 433-445 頁
- 坂元一光、アナトラ・グリジャナティ 2007「ビュシュック(揺籃) 育児とその再編：中国新疆ウイグルの産育文化の一側面」『(九州大学) 大学院教育学研究紀要』10, 59-78 頁
- 坂元一光、アナトラ・グリジャナティ 2008「中国少数民族の子どもと漢語受容：新疆都市部における言語接触と人間形成」『国際教育文化研究』8, 19-34 頁
- 坂元一光、アナトラ・グリジャナティ 2009「新疆ウイグル社会の女兒に対する産育及び教育：中国少数民族の子どもとジェンダー」『(九州大学) 大学院教育学研究紀要』11, 151-165 頁
- 佐久間潤 2012 → お茶の水女子大学グローバル協力センター編 2012 に所載
- 櫻井雅夫 2011「ウズベキスタンの外資関係法規(5)」『貿易と関税』59(1)( 通号 694), 40-49 頁
- 櫻井雅夫 2011「ウズベキスタンの外資関係法規(6)」『貿易と関税』59(2)( 通号 695), 21-27 頁
- 櫻井雅夫 2011「ウズベキスタンの外資関係法規(7)」『貿易と関税』59(3)( 通号 696), 31-37 頁
- 櫻井雅夫 2011「ウズベキスタンの外資関係法規(8)」『貿易と関税』59(4)( 通号 697), 8-35 頁
- 櫻井雅夫 2011「ウズベキスタンの外資関係法規(9)」『貿易と関税』59(7)( 通号 700), 36-43 頁
- 櫻間瑛 2009「『受洗タタール』から『クリャシェン』へ：現代ロシアにおける民族復興の様態」『スラヴ研究』56, 127-155 頁
- 櫻間瑛 2013「多・民族共和国の葛藤：タタール語歴史映画『ジョレイハ』を手がかりに」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』969, 23-33 頁
- 笹井宏益 2012 → お茶の水女子大学グローバル協力センター編 2012 に所載
- 佐々木紳 2008「メフメト・エミーン・エフェンディの『中央アジア紀行』について：概要と史料的价值」『内陸アジア史研究』23, 153-163 頁
- 佐々木紳 2012「オスマン帝国と中央アジア：アリ・スアーヴィーのまなざしから」『海外事情』60(9), 49-60 頁
- 佐藤信行等 2013 → 阿提拉・庫尔班、榎本弘行、佐藤信行 2013
- 佐藤ゆき子 2006「現代ロシアの政治エリートのイスラーム観に関する一考察：2004 年 9 月

- のベスラン事件におけるプーチン大統領の言説を手掛かりに『スラヴ文化研究』5, 79-89 頁
- サトパエフ, D. 2012 「カザフスタン政権人事異動に関する背景分析」『ロシア NIS 経済速報』1575, 1-8 頁
- 真田安 2005 「歴史概念としてのシルクロード批判：『世界史』にとって「シルクロード」は歴史用語としてどこまで有効か」『社会科研究集録』（埼玉県高等学校社会科教育研究会）41, 34-36 頁
- 真田安 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 真田安 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- サブルベコフ, ラハット（富樫耕介訳）2013 「クルグズ（キルギス）共和国に対する外国投資の分析」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』975, 14-25 頁
- ザルコス, ティエリー 2004 「二十世紀東トルキスタン及び現代新疆におけるスーフィー教団と聖者崇敬」『神戸大学史学年報』19, 10-21 頁。
- 澤井充生 2006 「ムスリムの呪医：回族のバーバに関する覚書」『人文学報』（東京都立大学人文学部社会学科・首都大学東京都市教養学部都市教養学科）371（社会学41）, 47-64 頁
- 澤井充生 2007 「現代中国の異民族間通婚：寧夏回族自治区銀川市の事例」『人文学報』（東京都立大学人文学部社会学科・首都大学東京都市教養学部都市教養学科）378（社会学42）, 77-93 頁
- 澤井充生 2007 「清真寺のネットワーク型社会：中国におけるムスリム知識人の事例」『国際シンポジウム「移動する中国ムスリム：ヒトと知識と経済を結ぶネットワーク」』（平成19年度科学研究費補助金基盤研究（B）「中国ムスリムの宗教的・商業的ネットワークとイスラーム復興に関する学際的共同研究」関連著作物）30-44 頁
- 澤井充生 2008 「中華人民共和国のムスリム・コミュニティ：清真寺（モスク）の管理運営に関する調査報告」『アル・イスラーム』（日本ムスリム協会）163, 30-36 頁
- 澤井充生 2008 「国際シンポジウム 移動する中国ムスリム — ヒトと知識と経済を結ぶネットワーク」『日本中央アジア学会報』4, 56-63 頁
- 澤井充生 2008 「西域からやってきた聖者：中国寧夏回族自治区の聖者崇敬」赤堀雅幸編『民衆のイスラーム：スーフィー・聖者・精霊の世界』山川出版社, 130-133 頁
- 澤井充生 2008 「清真寺の寄宿学生がつむぐネットワーク：寧夏回族自治区銀川市の事例」『人文学報』（東京都立大学人文学部社会学科・首都大学東京都市教養学部都市教養学科）393（社会人類学分野第1号）, 41-59 頁
- 澤井充生 2008 → 『中国ムスリムの宗教的・商業的ネットワークとイスラーム復興に関する学際的共同研究』2008 に所載

- 澤井充生 2009 「ムスリム・コミュニティにおけるフィールドワーク：中国寧夏回族自治区の事例」『人文学報』（東京都立大学人文学部社会学科・首都大学東京都市教養学部都市教養学科）408, 75-93 頁
- 澤井充生 2010 「回族の親族カテゴリーをめぐる覚書」『人文学報』423, 43-69 頁
- 澤井充生 2010 「中国共産党のイスラーム政策の過去と現在：寧夏回族自治区銀川市の事例」小長谷有紀、川口幸大、長沼さやか編『中国における社会主義的近代化：宗教・消費・エスニシティ』勉誠出版, 57-86 頁
- 澤井充生 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- 澤井充生等 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- 澤井充生 2013 「イスラームと現代中国：宗教管理機構と清真寺のポリティクス」瀬川昌久、川口幸大編『現代中国の宗教：信仰と社会をめぐる民族誌』昭和堂, 129-153 頁
- 澤井充生 2013 「日本の回教工作と民族調査：戦前・戦中期の内モンゴルを中心として」『人文学報』468 ( 社会人類学分野第 6 号 ), 55-86 頁
- 澤柿教伸等 2011 → 渡辺悌二、泉山茂之、澤柿教伸、ガウナビナカ・レンバイアテライテ、マクサト・アナルバエフ 2011
- 澤田稔 2005 → 松原正毅、小長谷有紀、楊海英編 2005 に所載
- 澤田稔 2007 → 澤田稔編 2007 に所載
- 澤田稔 2007 → 新免康編 2007 に所載
- 澤田稔 2008 「一六世紀前後の中央アジアにおける通商ネットワーク」川村朋貴、小林功、中井精一編『海域世界のネットワークと重層性』桂書房, 55-67 頁
- Sawada, Minoru, 2010 → Millward, James A., Shinmen Yasushi and Sugawara Jun, eds., 2010 に所載
- 澤田稔 2012 「『タズキラ・イ・ホージャガーン』の諸写本にみえる相違：書名と系譜について」『西南アジア研究』(76), 72-85 頁
- 澤田稔 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- Sawada, Minoru, 2013 → Shinmen, Yasushi, Sawada Minoru and Edmund Waite, eds., 2013 に所載
- 澤野由紀子 2012 → 嶺井明子、川野辺敏編 2012 に所載
- 侍建宇 2011 → 梅村坦, 新免康編 2011 に所載
- シェリンアイ → 希日娜依・買蘇提
- 塩谷哲史 2006 → 堀川徹編 2006 に所載
- Shioya Akifumi, 2011, "Irrigation Policy of the Khanate of Khiva regarding the Lawzan Canal (1), 1830-1873" 『筑波大学地域研究』32, 115-136 頁
- 塩谷哲史 2012 「ハンと企業家：ラウザーン荘の成立と終焉 1913-1915」『東洋史研究』71(3),

58-84 頁

- 塩谷哲史 2012 「帝政末期アムダリヤ流域の灌漑利権問題に関する一考察：ラウザーン荘設立をめぐるロシア＝ヒヴァ・ハン 国関係の変遷、1913-1915 年」『メトロポリタン史学』8, 107-129 頁
- Shioya, Akifumi, 2013, “Who Should Manage the Water of the Amu-Darya?: Controversy over Irrigation Concessions between Russia and Khiva, 1913-1914,” P. Sartori ed., *Explorations in the Social History of Modern Central Asia (19th-Early 20th Century)*, Leiden: Brill, , pp. 111-136.
- 塩谷哲史 2013 「教育研究報告 中央アジア特別プログラム（日本研究プログラム）の歩み」『国際日本研究』5, 87-91 頁
- 塩谷昌史 2012 「19 世紀前半におけるロシアの綿織物輸出とアジア商人の商業ネットワーク」『歴史と経済』54(2), 32-47 頁
- 志賀永一等 2006 → 甫爾加甫、黒河功、志賀永一、祖力菲亜・買買提 2006  
シガブディノフ, リナット 2012 (高橋巖根訳・解説) 「翻訳 中央アジアのタタール人：第 1 章 中央アジアのタタール人の活動」『流通経済大学社会学部論叢』22(2), 193-205 頁
- 司馬義・阿布力米提 (イスマイル・アビリミト) 2005 「新疆ウイグル自治区経済の現状と課題 (上)」『世界経済評論』49(12), 54-59 頁
- 司馬義・阿布力米提 (イスマイル・アビリミト) 2006 「新疆ウイグル自治区経済の現状と課題 (下)」『世界経済評論』50(1), 79-85 頁
- 司馬義・阿布力米提 2008 「中国新疆農村における労働移動の決定要因に関する分析」『経済學雑誌』(大阪市立大学) 109(2), 58-80 頁
- 嶋尾孔仁子 2009 → 宇山智彦、クリストファー・レン、廣瀬徹也編 2009 に所載
- 島田志津夫 2004 「イラン系文化とトルコ系文化の十字路：中央アジア」岡田恵美子、北原圭一、鈴木珠里編『イランを知るための 65 章』明石書店, 254-258 頁
- 島田志津夫 2008 「ユーラシア巡見 タジキスタンにおける水力エネルギー資源開発」『ロシア NIS 調査月報』53(2) (通号 918), 86-90 頁
- 清水克之 2012 → 窪田順平監修、渡邊三津子編 2012 に所載
- 清水克之等 2013 → 安西俊彦、清水克之、北村義信 他 2013
- 清水学 2004 「中央アジアの体制転換と社会的緊張」私市正年、栗田禎子編『イスラーム地域の民衆運動と民主化』東京大学出版会, 223-245 頁。
- 清水学 2005 「石油・天然ガスと旧ソ連圏をめぐる国際関係」『国際問題』(日本国際問題研究所) 544, 26-41 頁
- 清水学 2006 「中央アジア・南アジア・中東」山口博一、小倉充夫、田巻松雄編著『地域研究の課題と方法：アジア・アフリカ社会研究入門 理論編』文化書房博文社, 102-124 頁

- 清水学 2011 「(書評) 堀江典生編著『現代中央アジア・ロシア移民論』『比較経済研究』48(1), 77-81 頁
- 清水学 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 清水由里子 2004 「近年の新彊ウイグル自治区における『双語』教育を巡る動向について」『イスラム世界』63, 65-77 頁
- 清水由里子 2007 「カシュガルにおけるウイグル人の教育運動 (1934-37 年)」『内陸アジア史研究』22, 61-82 頁
- 清水由里子 2007 → 新免康編 2007 に所載
- 清水由里子 2008 「(書評) James A. Millward. *Eurasian Crossroads: A History of Xinjiang*」『イスラム世界研究』(Kyoto Bulletin of Islamic Area Studies) 2(1), 299-304 頁
- 清水由里子 2008 「東トルキスタンのイスラーム」『世界史の研究』217 (『歴史と地理』通号 619), 38-41 頁
- 清水由里子 2009 「ムハンマド・エミン・ボグラに関する一考察: その思想形成の背景と著作『東トルキスタン史』を中心に」『日本中央アジア学会報』5, 21-36 頁
- 清水由里子 2010 「国民党系ウイグル人の文化・言論活動 (1946-1949 年) について: 『自由』紙にみる「テュルク」民族意識の検討を中心に」『日本中央アジア学会報』6, 23-45 頁
- 清水由里子 2011 「『新生活』紙にみる「ウイグル」民族意識再考」『中央大学アジア史研究』35, 45-69 頁
- 清水由里子 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- 下出鉄男 2010 「新疆の杜重遠: 盛世才政権との関係をめぐって」『日本中国当代文学研究会会報』(24), 34-53 頁
- シャオケイテイ・アジ、近藤昭彦 2013 「1949 年～2008 年における新疆の食糧生産の時空間的な変化とその要因解析」『沙漠研究』23(2), 51-57 頁
- ジャナエヴァ、ヌルグル 2008 「中央アジアにおける女性学と女性運動の現状」『アジア女性研究』17, 70-80 頁
- 朱永浩、三村光弘 2012 「会議・視察報告 中国・カザフスタン国境地域を行く: アルマトイ、ホルゴス、アラシャンコウ視察報告」『Erina report』106, 67-71 頁
- ジュマトウルディ → アディル・ジュマトウルディ
- ジュラティ・セイティ 2013 「新疆における少数民族の大学卒業生に対する雇用政策」『アジア研究所紀要』40, 103-116 頁
- 承志 2012 → 窪田順平監修、承志編 2012 に所載
- 承志 2012 → 窪田順平監修、承志編 2012 に所載
- 承志等 2013 → 梅村坦、江上綏総合編集 2013 に所載

- 庄司ゆりこ 2010 → 大杉卓三、大谷順子編 2010 に所載
- 白須浄真 2004 「大谷探検隊に関する日本外務省外交記録の紹介」 森安孝夫編『中央アジア出土文物論叢』 朋友書店, 163-179 頁
- 白鳥智裕 2012 「疾走する中央アジア・カザフスタン」『石油・天然ガスレビュー』 46(6), 85-97 頁
- シンジルト 2011 「牧畜民にとってのよいこと：セテル実践にみる新疆イリ＝モンゴル地域の自然認識の動態」(特集 国家・開発・民族)『中国 21』 34, 135-162 頁
- シンジルト 2012 「伸縮する遠近：モンゴル＝キルギス人の現在」 風間計博、中野麻衣子、山口裕子、吉田匡興編『共在の論理と倫理：家族・民・まなざしの人類学』 はる書房, 247-270 頁
- Shinmen, Yasushi, 2004, "The History of the Mausoleum of the Ashab al-kahf in Turfan," *Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko* 61, 2003, pp. 83-104
- 新免康 2005 「ウイグル：トゥルファンのイスラーム聖廟の歴史と現在」 末成道男、曾士才編『〈講座・世界の先住民族：ファースト・ピープルズの現在〉 01 東アジア』 明石書店, 211-226 頁
- 新免康等 2005 → 王建新、新免康 2005
- 新免康 2005 → 『アジ研ワールド・トレンド』 112, 2005 に所載
- 新免康 2006 「中国新疆のウルムチ（烏魯木齊）市の歴史的変遷」『都市と環境の歴史学』 第 2 集（特集・国際シンポジウム：東アジアの都市史と環境史－新しい世界へ－），科学研究費補助金・基盤研究 S 「歴史学的視角から分析する東アジアの都市問題と環境問題」（研究代表者：妹尾達彦）
- 新免康、河原弥生 2007 → 澤田稔編 2007 に所載
- 新免康 2007 → 新免康編 2007 に所載
- 新免康 2008 → 小杉泰、林佳世子、東長靖編 2008 に所載
- 新免康 2009 「中国新疆のウルムチ（烏魯木齊）市の歴史的変遷」妹尾達彦編『都市と環境の歴史学・第 2 集〈特集〉国際シンポジウム「東アジアの都市史と環境史：新しい世界へ」』中央大学文学部東洋史学研究室, 171-202 頁
- 新免康 2009 「中国新疆のオアシス都市ヤルカンドとイスラーム聖者廟（マザール）」妹尾達彦編『都市と環境の歴史学・第 4 集〈特集〉国際シンポジウム「都市と環境の歴史学：5 年間の成果」』中央大学文学部東洋史学研究室, 243-254 頁
- 新免康 2009 「『ターリーヒ・ラシーディー』テュルク語訳附編の叙述傾向に関する一考察：カシュガルの歴代ハーキム・バグの部分を中心に」『西南アジア研究』 70, 111-131 頁
- 新免康 2010 「オアシス都市ヤルカンドとイスラーム聖者廟」中央大学人文科学研究所編『ア

- フロ・ユーラシア大陸の都市と宗教』(中央大学人文科学研究所研究叢書 50) 中央大学出版部, 145-178 頁
- Shinmen, Yasushi et al., 2010 → Millward, James A., Shinmen Yasushi and Sugawara Jun, eds., 2010 に所載
- 新免康 2011 → 梅村坦, 新免康編 2011 に所載
- Shinmen, Yasushi and Onuma Takahiro, 2012, "First Contact between Ya'qūb Beg and the Qing: The Diplomatic Correspondence of 1871," *Journal of Asian and African Studies* 84, pp. 5-37
- 新免康 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 新免康等 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- 新免康 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- 新免康 2013 → 梅村坦、江上綏総合編集 2013 に所載
- Shinmen, Yasushi et al., 2013 → Shinmen, Yasushi, Sawada Minoru and Edmund Waite, eds., 2013 に所載
- 新免康等 2013 → 小沼孝博、新免康、河原弥生 2013
- Sugahara, Mutsumi, 2004, "Devrik Cumle' in Middle Turkic," Fujishiro, S., ed., *Approaches to Eurasian Linguistic Areas* (Contribution to the Studies of Eurasian Languages 7), Kobe City University of Nursing, pp.1-13.
- 菅原睦 2004 → 林徹、梅谷博之編 2004 に所載
- 菅原睦 2005 「ウイグル文字本『聖者伝』の研究:ペルシア語原本との比較」『語学研究所論集』10, 1-14 頁
- 菅原睦 2006 『クタドゥグ・ビリグ』から『五体清文鑑』まで:中央アジア・チュルク語アラビア文字正書法の変遷」ユーラシア諸言語の研究刊行会編『ユーラシア諸言語の研究:庄垣内正弘先生退任記念論集』ユーラシア諸言語の研究刊行会, 43-62 頁
- 菅原睦 2009 → 森本一夫編 2009 に所載
- 菅原睦 2010 「チャガタイ語詩の押韻に関する一考察」『西南アジア研究』72, 36-47 頁
- 菅原睦 2011 → 近藤信彰編 2011 に所載
- 菅原睦 2012 「トルコ語」『語学研究所論集』17, 200-211 頁
- 菅原睦 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 菅原純 2005 → 『アジ研ワールド・トレンド』112, 2005 に所載
- 菅原純 2007 → 澤田稔編 2007 に所載
- 菅原純 2007 → 新免康編 2007 に所載
- Sugawara, Jun, 2010 → Millward, James A., Shinmen Yasushi and Sugawara Jun, eds., 2010 に所載
- 菅原純 2012 「国際ワークショップ『新疆問題』を越えて」『イスラム世界』78, 35-45 頁

- 菅原純 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- 杉浦一孝 2007 「中央アジア諸国における裁判の独立の実態とその基本的特徴」『体制転換と法』（「体制転換と法」研究会）8
- 杉浦一孝 2008 「ウズベキスタン共和国憲法裁判所と立憲主義」『名古屋大学法政論集』224, 157-205 頁
- 杉浦史和等 2005 → 西村可明、杉浦史和 2005
- 杉山清彦 2012 → 窪田順平監修、承志編 2012 に所載
- 杉山典子 2009 「国際研究『中央アジア比較法制研究セミナー』特別案件調査団」ICD news（法務省法務総合研究所国際協力部報）38, 155-168 頁
- 杉山雅樹 2006 「ムザッファル朝における支配の正統性：Mubariz al-Din Muhammad 治世の政策の変遷」『史林』89(5), 70-98 頁
- 鈴木均 2012 「米軍撤退始まるもアフガン国民の前途は多難」『アジア動向年報』574-590 頁
- 鈴木均 2013 「ターリバーンとの交渉不調もアメリカは撤退戦略を優先」『アジア動向年報』2013, 574-590 頁
- 須田将 2004 「ウズベキスタンのコミュニティにおける住民組織形成：フィールドからの報告」『ユーラシアの平和と紛争』（秋野豊ユーラシア基金）4, 73-102 頁
- 須田将 2004 → 『国際政治』138, 2004 に所載
- 須田将 2009 「ウズベキスタン共和国」松本弘編『中東・イスラーム諸国民民主化ハンドブック 2009』NIHU Program Islamic Area Studies, TIAS Middle East Research Series No.4, 274-297 頁
- 須田将 2011 → 松本弘編著 2011 に所載
- スヘー → バトルガ, スヘー
- スルタン, T、ゾリカフィリ, M. (島村一平他訳) 2013 「モンゴル国のカザフ人の歴史」『人間文化：滋賀県立大学人間文化学部研究報告』34, 83-95 頁
- スルタンガリエヴァ, グルミラ (宇山智彦訳) 2008 「南ウラルと西カザフスタンのテュルク系諸民族に対するロシア帝国の政策の同時性 (18-19 世紀前半)」『ロシア史研究』82, 61-77 頁
- スレイマノフ, エミール (富樫耕介訳) 2012 「序章 チェチェンと北コーカサスの反乱への理解」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』961, 2-12 頁
- スレイメーノワ, グルナラ・ザハーノブナ (中山顕訳) 2010 「カザフスタンにおける司法改革：科学的分析の観点から (1)」『名古屋大学法政論集』（通号 234）, 147-171 頁
- スレイメーノワ, グルナラ・ザハーノブナ (中山顕訳) 2010 「カザフスタンにおける司法改革：科学的分析の観点から (2)」『名古屋大学法政論集』（通号 235）, 277-322 頁

- 石其琳 2007 「中国新疆ウイグル族現代化における生活変化の実態調査研究」『筑紫女学園大学・短期大学部人間文化研究所年報』(筑紫女学園大学・短期大学部人間文化研究所) 18, 125-140 頁
- 石其琳 2012 「中国新疆北部地区現代化における諸問題についての一考察」『筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部紀要』7, 141-153 頁
- 関啓子 2006 → 『ロシア・ユーラシア経済調査資料』893, 2006 に掲載
- 関啓子 2007 「クルグズスタンの教育改革と国民形成」『ロシア・ユーラシア経済:研究と資料』(ユーラシア研究所) 902, 25-35 頁
- 関啓子 2008 「クルグズスタンの教育改革と国民形成 (特集 移行期における教育改革)」『ロシア・ユーラシア経済』(ユーラシア研究所) 902, 25-35 頁
- 関啓子 2012 → 嶺井明子、川野辺敏編 2012 に掲載
- 関啓子 2013 「変わりゆくタタルスタン:新たな「民族」アイデンティティの構築に向けて」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』969, 13-22 頁
- 瀬渡章子 2004 → 岩崎雅美編 2004 に掲載
- 宗野ふもと 2013 「合い間の仕事としての手織り物生産:ウズベキスタンにおける社会変容と女性」『アジア・アフリカ地域研究』13 (2), 212-248 頁
- 宗野ふもと 2013 → 帯谷知可編 2013 に掲載
- 相馬拓也 2012 「アルタイ=カザフ牧畜社会における騎馬鷹狩猟(きばたかがりりょう):イヌワシと鷹匠(ブルクツッチュ)の夏季生活誌についての基礎調査」『ヒトと動物の関係学会誌』32, 38-47 頁
- 相馬拓也 2013 「アルタイ=カザフ鷹匠たちの狩猟誌:モンゴル西部サグサイ村における騎馬鷹狩猟の実践と技法の現在」『ヒトと動物の関係学会誌』35, 58-66 頁
- ゾリカフィリ, M. 等 2013 → スルタン, T.、ゾリカフィリ, M. (島村一平他訳) 2013
- 祖力菲亜・買買提等 2006 → 甫爾加甫、黒河功、志賀永一、祖力菲亜・買買提 2006
- 高橋巖根 2012 「独立後の中央アジア」『流通経済大学論集』46(4), 215-226 頁
- 高橋浩ほか 2006 「2005年のCIS諸国の経済トレンド」(特集 ソ連解体から15年目のCIS諸国)『ロシア東欧貿易調査月報』51(6), 9-25 頁
- 竹原美佳 2010 「中国国有石油企業の対中央アジア投資戦略」『東亜』521, 22-31 頁
- 竹原美佳 2012 「講演録 ガスを通じ、中央アジアとの紐帯を進める中国:中国の中央アジア資源戦略」『中国研究月報』66(2), 28-41 頁
- 竹村寧乃 2011 「ソ連初期南コーカサス史の研究に向けて:ザカフカス連邦(1922-1936)に関する先行研究と史料の概要」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』947, 23-39 頁
- 竹村寧乃 2013 「ザカフカス連邦ヴェセンハは必要か?:一九二〇年代のソ連における経済機

- 関と民族問題』『ロシア史研究』92, 24-42 頁
- タシ・メメティ 2007 「イスラーム社会における教育の世俗化:トルコとウイグルの比較」『国際人間学フォーラム』(中部大学大学院国際人間学研究科) 3, 209-222 頁
- タシ・メメティ 2010 「婚姻関係から見るウイグル人の帰属意識:トルコ共和国のウイグル人村を事例に」『国際人間学フォーラム』6, 27-59 頁
- タシ・メメティ 2011 「トルコ共和国のウイグル人移民集団に関する調査報告」『国際人間学フォーラム』7, 45-65 頁
- タシエフ, スールヤグディ (木村暁訳・解説) 2010 「ウズベキスタン共和国科学アカデミー東洋学研究所所蔵コレクション:イスラーム文化の諸問題の研究におけるその意義」『日本中央アジア学会報』6, 47-56 頁
- タスタンベコワ, クアニシ 2007 「カザフスタンにおける言語教育政策の課題:ロシア語優位社会におけるカザフ語中心主義の行方」『比較教育学研究』35, 33-48 頁
- タスタンベコワ, クアニシ 2007 「カザフスタンの言語政策:過去からの解放へ向かって」『ユーラシア研究』(ユーラシア研究所) 37, 66-70 頁
- タスタンベコワ, クワニシ 2010 「カザフスタンの多言語教育政策に関する一考察:「言語の三位一体」政策に焦点を当てて」『比較教育学研究』(通号 41), 117-137 頁
- タスタンベコワ, クワニシ 2010 「カザフスタンの言語教育政策に関する一考察:在外帰還カザフ人(オラルマン)の言語問題に着眼して」『教育学論集』(筑波大学大学院人間総合科学研究科教育学専攻) 6, 83-103 頁
- タスタンベコワ, クワニシ 2012 → 嶺井明子、川野辺敏編 2012 に所載
- 多田明夫等 2012 → 阿布都沙塔爾・買買提明、田中丸治哉、多田明夫 2012
- ダダバエフ, ティムール 2004 「ウズベキスタンの地域社会『マハッラ』からみた人権の保護・確保」『東欧・中央ユーラシアの近代とネイションⅢ』(スラブ研究センター研究報告シリーズ No.95), 北海道大学スラブ研究センター, 27-40 頁
- ダダバエフ, ティムール 2004 「中央アジア諸国の現代化における伝統的地域社会のあり方と役割:ウズベキスタンの『マハッラ』を中心に」『東洋文化研究所紀要』(東京大学東洋文化研究所) 146, 100-73 頁
- ダダバエフ, ティムール 2006 → 『ユーラシア研究』35, 2006 に所載
- ダダバエフ, ティムール 2008 「中央アジア地域における水管理政策と諸国間関係:現状、課題と展望」『筑波大学地域研究』29, [23]-40 頁
- ダダバエフ, ティムール 2008 「地方主義と国家:ウズベキスタンとタジキスタンにおけるソビエト人事政策とその影響」『国際政治経済学研究』(筑波大学大学院人文社会科学研究所国際政治経済専攻) 21, 13-37 頁

- Dadabaev, Timur, 2009, “Trauma and public memory in Central Asia: public responses to political violence of the state policies in Stalinist era in Uzbekistan and Kyrgyzstan” 『イスラーム世界研究』(京都大学イスラーム地域研究センター) 3(1), 108-138 頁
- ダダバエフ, ティムール 2009 → 猪口孝編 2009 に掲載
- ダダバエフ, ティムール 2009 → 宇山智彦、クリストファー・レン、廣瀬徹也編 2009 に掲載
- 立花優 2005 「革命なき世代交代：アゼルバイジャンの政局と与党」『国際問題』(日本国際問題研究所) 544, 63-69 頁
- 立花優 2008 「新アゼルバイジャン党と政治体制」『アジア経済』49(7), 2-20 頁
- 立花優 2011 「2010 年アゼルバイジャン国民議会選挙」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』947, 40-49 頁
- 立花優 2011 → 松本弘編著 2011 に掲載
- Tateishi, Ryutaro et al., 2008 → Alimujiang Kasimu, Li Hu, Takashi Ishiyama and Ryutaro Tateishi 2008
- 田中周 2010 「新疆ウイグル自治区における国家統合と民族区域自治政策：1950 年代前半の自治区成立過程から考える」『早稲田政治公法研究』94, 63-76 頁
- 田中周 2010 「改革開放期にみるウイグル・アイデンティティの再構築：トルグン・アルマス著『ウイグル人』を中心に」『ワセダアジアレビュー』8, 60-65 頁
- 田中周 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に掲載
- 田中周等 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に掲載
- 田中周 2013 「民族名称「ウイグル」の出現と採用」鈴木隆、田中周編『転換期中国の政治と社会集団 (WICCS 研究叢書 2)』国際書院, 181-207 頁
- 田中賢治等 2012 → 峠嘉哉、田中賢治、小尻利治、浜口俊雄 2012
- 田中哲二 2007 「中央アジア 5 カ国の最新事情：経済パフォーマンスと権威主義的政権の継続・交代」『世界週報』88(3), 22-29 頁
- 田中哲二 2010 「中央アジア・コーカサスの政治・経済の現状と日本の立場」『アジア時報』41(6) (通号 457), 20-58 頁
- 田中福一郎 2005 「中央アジア・シルクロード地域経済圏の市場経済移行プロセスの特色と課題：移行経済支援に関する一つの視点として」『開発金融研究所報』(国際協力銀行) 23, 105-117 頁
- 田中丸治哉等 2012 → 阿布都沙塔爾・買買提明、田中丸治哉、多田明夫 2012
- 田畑伸一郎 2004 → 田畑伸一郎、末澤恵美編 2004 に掲載
- 田畑久夫 2012 「ロシア人による中央アジア探検：セミョーノフ (Семёнов, П. П.) の場合」『民

俗と歴史』30, 1-26 頁

田畑理一 2008 → 池本修一、杉浦史和、岩崎一郎編 2008 に所載

ターライバクキズ・ジャーナクリ 2007「日本語の『V- テイル』に対応するキルギス語の『V-jat』  
の aspek 的な意味用法をめぐって」『日本語文化研究会論集』3, 305-334 頁

地田徹朗 2004「ソ連邦中央=カザフスタン関係の変遷（1980-1991）：党エリート人事動向  
を素材として」『スラヴ研究』51, 29-61 頁

地田徹朗 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004 所載

地田徹朗 2005「ソ連邦構成共和国共産党エリートの『移動』と『巡礼』：カザフスタン  
（1955-1991）」『スラヴ文化研究』（東京外国語大学ロシア東欧課程ロシア語研究室）4,  
65-80 頁

地田徹朗 2009「戦後スターリン期トルクメニスタンにおける運河建設計画とアラル海問題」  
『スラヴ研究』56, 1-36 頁

地田徹朗 2010「多民族領域帝国ソ連における地域・空間認識：戦後スターリン期を中心に」『地  
域研究』10(2), 109-130 頁

地田徹朗 2011「ポスト・ニヤゾフ時代のトルクメニスタン政治：ベルディムハメドフ「改革」  
の方向性と政治体制の変化」『日本中央アジア学会報』7, 19-44 頁

地田徹朗 2012「ユーラシアにおける開発と環境：「自然改造」の歴史と現在」『Seeder：種ま  
く人：地球環境情報から考える地球の未来』6, 6-12 頁

地田徹朗 2012 → 窪田順平監修、渡邊三津子編 2012 に所載

地田徹朗等 2012 → 窪田順平監修、渡邊三津子編 2012 に所載

地田徹朗 2013「地域環境史研究の可能性：ソ連時代のバルハシ湖流域での水利開発と史資料」  
中嶋毅編『新史料で読むロシア史』山川出版社, 298-319 頁

地田徹朗 2013「アラル海救済の現代史：『20 世紀最大の環境破壊』の教訓」大塚健司編『長  
期化する生態危機と環境ガバナンス（アジア経済研究所 調査研究報告書 2012-C-36）』  
23-48 頁

地田徹朗 2013「小アラル海漁業の現在：湖水位の回復とその後」『アジ研ワールド・トレンド』  
214, 23-27 頁

チャガイ, アリョーナ 2013「ウズベキスタンのコリョサラムのロシア首都圏への移動とその  
原因：ソ連時代末期～2011 年」『ククロス：国際コミュニケーション論集』10, 17-31 頁

中馬瑞貴 2007「ロシアの連邦中央とタタルスタン共和国との間の権限分割条約」『外国の立  
法』（国立国会図書館調査及び立法考査局）232, 111-119 頁

中馬瑞貴 2010「カザフスタンの省庁改編と閣僚人事」『ロシア NIS 経済速報』1492, 1-10 頁

中馬瑞貴 2011「カザフスタン臨時大統領選挙と新政府発足」（特集 NIS 諸国のベクトルを探

- る)『ロシア NIS 調査月報』56(6), 30-35 頁
- 中馬瑞貴 2011 「カザフスタン臨時大統領選挙実施」『ロシア NIS 経済速報』1525, 1-6 頁
- 中馬瑞貴 2013 「カザフスタンのイノベーション政策」『ロシア NIS 調査月報』58(4), 35-42 頁
- 趙宏偉 2010 「中国の外交における中央アジアの意味：一九九〇年代半ばから」『季刊中国』100, 36-50 頁
- チョン・アジム 2007 「中国新疆ウイグル自治区の中央アジア諸国に対する対外貿易について」『熊本大学社会文化研究』(熊本大学大学院社会文化科学研究科) 5, 173-191 頁
- チョン・アジム 2008 「中国と中央アジア諸国との経済関係の現状と課題」『世界経済評論』52(5), 45-53 頁
- 陳維新 2009 → 窪田順平、承志、井上充幸編 2009 に所載
- 辻忠博 2011 「中央アジアにおける経済発展の可能性：ダイナミック・キャッチアップ・モデルの観点から」(新シルクロードの経済発展に関する研究) 日本大学経済学部経済科学研究所紀要 (41), 125-139 頁
- 塚谷恒雄 2006 → 『ユーラシア研究』35, 2006 に所載
- 角田安正 2004 「ロシアの対中央アジア外交」横手慎二編『東アジアのロシア』慶應義塾大学出版会 (3,400 円)、111-131 頁。
- 角田安正 2004 → 田畑伸一郎、末澤恵美編 2004 に所載
- 津谷好人等 2008 → マイラ・トルソン、津谷好人 2008
- 津谷好人等 2009 → マイラ・トルソン、津谷好人 2009
- 翟高燕 2010 「新疆ウイグル自治区高等教育における「教育公平」:アカデミック・リテラシー・カリキュラムに着目して」『哲学』123, 271-294 頁
- デュセンアイル・アブディラシム → 杜山那里
- デュンダル, メルトハン 2012 「私は夢も日本語で見ていた：トルコ・タタール移民の活動」塩川伸明、小松久男、沼野充義編『ユーラシア世界 2：ディアスポラ論』東京大学出版会, pp. 205-228 頁
- 土井菜保子 2010 「カザフスタンのエネルギー需給見通し」『エネルギー経済』36(4) (通号 347), 78-88 頁
- 土井菜保子 2010 「トルクメニスタンのエネルギー需給見通し」『エネルギー経済』36(5) (通号 348), 33-42 頁
- Duishonova, Nariza Tolbekovna 2011 「特定課題研究報告 キルギス語母語話者における名詞修飾節の使用状況：誤用のタイプから難しい用法を探る」『日本言語文化研究会論集』7, 139-166 頁
- 峠嘉哉、田中賢治、小尻利治、浜口俊雄 2012 「中央アジア域の灌漑地拡大の影響を考慮した

- 陸面解析によるアラル海縮小の再現」『京都大学防災研究所年報・B』55(B), 571-577 頁
- Tursunay Reyim 等 2008 → 平田昌弘、Aibibula Yimamu、Tursunay Reyim 他 2008
- 富樫耕介 2010 「イングーシ共和国における政治的危機とその背景：モスクワの北コーカサス政策の課題」『ロシア・ユーラシア経済』937, 22-38 頁
- 富樫耕介 2010 「ソ連期のチェチェンにおける政治・経済・社会構造：紛争前の構造から紛争への理解を試みる」『国際文化研究』（東北大学国際文化学会）16, 263-281 頁
- 富樫耕介 2010 「社会文化的要因からの第一次チェチェン紛争の考察：社会文化的特徴の重要性と評価を巡る問題」『インターカルチュラル』（日本国際文化学会）8, 130-145 頁
- 富樫耕介 2012 「チェチェン共和国における政治的争点としての「イスラーム」の出現過程（1997-99）」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』961, 26-36 頁
- 富樫耕介、ウラコワ、マハバット 2013 「移行期のクルグズ（キルギス）共和国の現況：内と外からの点描」『ユーラシア研究』48, 50-55 頁
- 杜山那里（デュセンアイル・アブディラシム）2010 「タルバガタイ参贊大臣宛文語カザフ語文書1種」『西南アジア研究』72, 65-78 頁
- 富田寿代、水谷令子 2012 「カザフスタン南東部の水」『鈴鹿国際大学紀要 Campana』18, 65-73 頁
- 豊川浩一 2007 「バルティースキー・ポルトの囚人サラヴァト・ユラーエフとその周辺：帝政ロシアにおける地域史研究の試み」『駿台史學』（明治大学駿台史學會）132, 23-58 頁
- 豊田隆等 2013 → カル・モハマト・アハマトザイ、豊田隆 2013
- 鳥越隆士、堀谷留美 2008 「研究授業を通じたウズベキスタン聾学校への教育開発支援の試み」『学校教育学研究』（兵庫教育大学学校教育研究センター）20, 59-66 頁
- 鳥山祐介等 2009 → 久保慶一、西山克典、鳥山祐介、家田修、宇山智彦、松里公孝 2009
- トルソン → マイラ・トルソン
- 中居孝文 2007 「トルクメニスタン新政権の誕生：強権体制の踏襲か、雪どけの始まりか」『ロシア NIS 調査月報』52(6), 28-36 頁
- 永井朋美 2008 「トルキスタン総督府とワクフ問題：ワクフ地の所有権と免税権を中心に」『アジア史学論』創刊号, 31-63 頁
- 永井朋美 → 中村朋美の項目も参照
- 中島隆晴 2004 「プーチン政権と中央アジア：九・一一事件を中心に」『海外事情』（拓殖大学海外事情研究所）52(2), 68-75 頁。
- 中島隆晴 2005 「トルクメニスタンで変革は起こりうるか」『海外事情』（拓殖大学海外事情研究所）53(5), 63-73 頁
- 中島隆晴 2005 「ニヤゾフとカリモフの対立・急接近」『海外事情』（拓殖大学海外事情研究所）

- 53(2), 121-130 頁
- 中島隆晴 2006 「ウズベキスタンにおけるイスラーム統治の弾圧の実態」『シャリーア研究』3, 193-203 頁
- 中島隆晴 2006 「軽視できない中央アジアのイスラーム勢力」『海外事情』（拓殖大学海外事情研究所）54(9), 120-132 頁
- 中島隆晴 2007 「トルクメニスタン：注目される新政権の船出」『海外事情』（拓殖大学海外事情研究所）55(5), 109-124 頁
- 中島隆晴 2007 「「格差」に見るイスラーム過激派問題：ウズベキスタンとトルクメニスタンを例に」『海外事情』55(11), 65-80 頁
- 中島隆晴 2008 「イスラーム運動の背景にあるもの：中央アジアを例に」（特集 中東・南アジア情勢）『海外事情』56(5), 2-13 頁
- 中島隆晴 2008 「中央アジアの天然資源開発の現状と展望」（特集 エネルギー・気候変動問題の展望と課題）『海外事情』56(10), 47-60 頁
- 中島隆晴 2008 「2 期目を終えるプーチン大統領：今後の中央アジア戦略の焦点」『海外事情研究所報告』42, 91-95 頁
- 中島隆晴 2009 「キルギスの米軍基地閉鎖問題」『海外事情』（拓殖大学海外事情研究所）57(3), 71-82 頁
- 中島隆晴 2009 「A・Q・カーンネットワークとIMU」『海外事情』57(10), 75-82 頁
- 中島隆晴 2009 「中央アジアと核・原子力問題」『海外事情』57(6), 104-115 頁
- 中島隆晴 2010 「トルクメニスタン：新規天然ガスパイプライン開設とその意味」『海外事情研究所報告』（通号 44), 65-71 頁
- 中島隆晴 2011 「中央アジア：イスラーム過激派組織とその活動の変遷」『海外事情研究所報告』45, 91-99 頁
- 中島隆晴 2012 「トルクメニスタン：ニヤゾフ外交：ニヤゾフ時代のウズベキスタンとの関係を例に」『海外事情研究所報告』46, 111-118 頁
- 中島隆晴 2012 「近年のアフガニスタンをめぐる米・露・中・中央アジア情勢」『海外事情』60(3), 61-70 頁
- 中島幸宏 2010 「清末新疆における義塾教育」『九州大学東洋史論集』38, 38-56 頁
- 中杉秀夫 2010 「カザフスタンの原子力の現状と対日協力」『ロシア NIS 調査月報』55(7) (通号 945), 30-46 頁
- 中田理恵子 2004 → 岩崎雅美編 2004 に所載
- 長縄宣博 2004 「日露戦争期ロシアのなかのムスリム兵士」『ロシアの中のアジア／アジアの中のロシア（Ⅱ）』（21 世紀 COE プログラム研究報告シリーズ No.5）、北海道大学スラ

ブ研究センター、1-20 頁。

Naganawa, Norihiro, 2007, "Islam and empire observed : muslims in the Volga-Ural region after the 1905 revolution," Matsuzato, Kimitaka, ed., *Imperiology: from empirical knowledge to discussing the Russian Empire, 21st century COE program*, Slavic Eurasian studies No. 13, Sapporo: Slavic Research Center, Hokkaido University, pp. 68-84

Naganawa, Norihiro, 2007 → Uyama, Tomohiko, ed., 2007 に所載

長縄宣博 2008 → 宇山智彦編、北海道大学スラブ研究センター監修 2008 に所載

長縄宣博 2009 「帝政ロシア末期のワクフ：ヴォルガ・ウラル地域と西シベリアを中心に」『イスラム世界』73, 1-27 頁

長縄宣博 2013 「ロシア・ムスリムがみた 20 世紀初頭のオスマン帝国：ファーティフ・ケリミー『イスタンブールの手紙』を読む」中嶋毅編『新史料で読むロシア史』山川出版社、92-110 頁

長縄宣博 2013 「近代帝国の統治とイスラームの相互連関：ロシア帝国の場合」秋田茂、桃木至朗編『グローバルヒストリーと帝国』大阪大学出版会、158-184 頁

中西健 2004 「国際交流の利益実現と在外自国民の利益保護：観光立国をめざす中央アジアのキルギス共和国を事例に」『ユーラシアの平和と紛争』（秋野豊ユーラシア基金）4, 43-72 頁

中西健 2009 「クルグズスタンにおける国家意識：マナス英雄叙事詩と国家性 2200 年を中心に」『日本大学大学院総合社会情報研究科紀要』9, 29-37 頁

中西健 2013 「クルグズスタンにおける民族関係：ロシア人、ダウンガン人、ウズベク人とクルグズ人との関係を中心に」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』974, 19-32 頁

中西竜也 2009 → 森本一夫編 2009 に所載

長峰博之 2009 「『カザク・ハン国』形成史の再考：ジョチ・ウルス左翼から『カザク・ハン国』へ」『東洋学報』90(4), 1-26 頁

長峰博之等 2010 → 川口琢司、長峰博之 2010

長峰博之等 2013 → 川口琢司、長峰博之 2013

Нагаминэ, X. 等 2010 → Кавагучи, Т., Нагаминэ, X., 2010

中村泰三 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004 に所載

中村唯史 2009 → 前田弘毅編 2009 に所載

中村知子 2012 → 窪田順平監修、渡邊三津子編 2012 に所載

中村朋美 2012 「19 世紀前半コーカンド・ハーン国の遣露使節とロシア帝国の中央アジア政策」『アジア史学論集』5, 1-18 頁

中村朋美 2013 → 帯谷知可編 2013 に所載

- 中村朋美 → 永井朋美の項目も参照
- 中村正士、坂下明彦 2012 「タジキスタン農業の再編と農民組織の役割」『農経論叢』67, 47-61 頁
- 中室牧子等 2010 → 小川啓一、中室牧子 2010
- 中屋昌子 2013 「中国における「イスラーム復興」と宗教統制について：新疆ウイグル自治区の事例から」『イスラム世界』80, 1-42 頁
- 奈良間千之 2012 → 窪田順平監修、奈良間千之編 2012 に所載
- 成岡道男 2011 「ウズベキスタンにおける農業労働者のセーフティネット」『水土の知』79(4) (通号 713), 279-283 頁
- 西岡いずみ 2004 → 林徹、梅谷博之編 2004 に所載
- 西川有司 2012 「資源と法 (4) 小国は資源を守るのか：コーカサスのサバイバル」『時の法令』1911, 57-62 頁
- 錦見浩司 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004 に所載
- 西原明史 2007 「ウイグル族のもう一つのクルアーン：宗教詩『ヘクマツ』の翻訳と解説」『安田女子大学紀要』35, 123-133 頁
- 西原明史 2008 「イスラーム / 家 / エスニシティ：ウイグル族の住文化に関する民族誌」『安田女子大学紀要』(安田女子大学・安田女子短期大学) 36, 93-104 頁
- 西原明史 2010 「宮崎駿と「構造」の力：新疆の民族間関係に関する一提案」『安田女子大学紀要』38, 51-63 頁
- 西原明史 2011 「イスラーム「主義」：ウイグル族の信仰と社会に関する一考察」『安田女子大学紀要』39, 95-108 頁
- 西原明史 2012 「裁きから赦(ゆる)しへ：ウイグル族の語りを「症候」として読む」『安田女子大学紀要』40, 113-126 頁
- 西原明史 2013 「生き延びるための学びに向けて、今、人類学にできること：ウイグル族における共生の倫理から」『安田女子大学紀要』41, 125-138 頁
- 西村多恵 2004 → 林徹、梅谷博之編 2004 に所載
- 西村可明、杉浦史和 2005 「旧ソ連におけるザカフカス諸国の経済発展」『経済研究』56(1), 53-68 頁
- 西村可明 2006 「移行国における年金改革」『経済研究』57(2), 165-187 頁
- Нисияма, Кацунори, 2004, Принятие ислама крещеными татарами и православная церковь: этнокультурное противостояние на Среднем Поволжье в середине XIX в.// Новая волна в изучении этнополитической истории Волго-Уральского региона: Сборник статей. Саппоро: Центр славянских исследований Университета Хоккайдо, С. 200-224

- 西山克典 2004 「クルバンガリー追尋：もう一つの『自治』を求めて」『ロシアの中のアジア／アジアの中のロシア（I）』（21世紀COEプログラム研究報告シリーズNo.3）、北海道大学スラブ研究センター、37-58頁。
- 西山克典 2006 「クルバンガリー追尋：国際情勢に待機して(1)」『国際関係・比較文化研究』4(2), 325-350頁
- 西山克典等 2009 → 久保慶一、西山克典、鳥山祐介、家田修、宇山智彦、松里公孝 2009
- 西脇隆夫 2007 「ウイグルの反戦詩人ル・ムタリプ」『季刊中国』89, 11-19頁
- 西脇隆夫 2012 「ウイグル昔話「英雄チン・トゥムール」再論」『名古屋学院大学論集 人文・自然科学篇』48(2), 41-52頁
- 西脇隆夫（訳）2011 → アディル・ジュマトウルディ、西脇隆夫（訳）2011
- 西脇隆夫（訳）2012 → アディル・ジュマトウルディ（西脇隆夫訳）2012
- ニマテ → マミテリ・ニマテ
- Numata, Sayoko 2012 “Fieldwork Note on Tatar Migrants from the Far East to the USA : For Reviews of Islam Policy in Prewar and Wartime Japan,” 『日本中東学会年報』28(2), 127-144頁
- 熱依木 → 居来提・熱依木
- 野坂潤子 2005 「帝政ロシア統治政策におけるカフカースのムスリム法（シャリーアと慣習法）（ロシア帝国におけるイスラーム地域統合政策の諸相：教育および司法を中心に）『ロシア史研究』76, 28-37頁
- 野田仁 2005 「露清の狭間のカザフ・ハーン国：スルタンと清朝の関係をを中心に」『東洋学報』87(2), 29-59頁
- 野田仁 2006 「清朝によるカザフへの爵位授与：グバイドゥッラの汗爵辞退の事例（1824年）を中心に」『内陸アジア史研究』21, 33-56頁
- 野田仁 2007 「カザフ・ハン国とトルキスタン：遊牧民の君主埋葬と墓廟崇拜からの考察」『イスラム世界』68, 1-24頁
- 野田仁 2007 「一八世紀中央アジアにおける露清関係：ジューンガル政権崩壊からカザフ、アルタイ諸族の帰属問題へ」『史学雑誌』116(9), 1457-1493頁
- 野田仁 2008 → 宇山智彦編、北海道大学スラブ研究センター監修 2008 に所載
- 野田仁 2009 「中央アジアにおける露清貿易とカザフ草原」『東洋史研究』68(2), 1-31頁
- 野田仁 2009 → 窪田順平、承志、井上充幸編 2009 に所載
- Noda, Jin, 2011, “Titles of Kazakh Sultans Bestowed by the Qing Empire: The Case of Sultan Ghubaydulla in 1824,” *Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko* 68, pp. 63-94
- Noda, Jin, 2011 → Uyama Tomohiko, ed., 2011 に所載
- 野田仁 2012 「(書評) 森永貴子『イルクーツク商人とキャフタ貿易：帝政ロシアにおけるユ

- ユーラシア商業』『歴史学研究』889, 55-57, 61 頁
- 野田仁 2012 → 窪田順平監修、承志編 2012 に所載
- 野田仁 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- 野田仁 2013 「帝国の境界を越えて:露清間の境域としてのカザフ」『歴史学研究』911 (増刊), 10-18 頁
- 野部公一 2007 「縮小から回復に転ずるカザフスタン農業: 経済体制転換後のあゆみ」『ユーラシア研究』(ユーラシア研究所) 37, 28-33 頁
- 野部公一 2008 「再編途上のカザフスタン農業: 1999 ~ 2007 年: 「連邦」の食料基地からの脱却」『専修経済学論集』43(1) (通号 100), 73-91 頁
- 買蘇提 → 希日娜依・買蘇提 (シェリンアイ・マソティ)
- 買買提 → 祖力菲亜・買買提 → 甫爾加甫、黒河功、志賀永一、祖力菲亜・買買提 2006
- 買買提明 → 阿布都沙塔爾・買買提明
- 袴田茂樹 2005 「政変ドミノ後の CIS 諸国の動向」『国際問題』(日本国際問題研究所) 544, 2-12 頁
- 袴田茂樹 2013 → 伊東孝之監修、広瀬佳一、湯浅剛編 2013 に所載
- 白海提 → バフティヤール・イスマーイール
- 蓮見雄 2011 「EU と中央アジア: 欧州近隣諸国政策を超えて」『経済学季報』60(3・4), 111-172 頁
- 蓮見雄 2011 「危機後の中央アジア経済: 出稼ぎ労働、水資源、パイプラインをめぐって」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』942, 37-51 頁
- 長谷川晋 2012 「平和構築における非国家主体と規範: イラク・アフガニスタンの治安部門改革における米国の民間安全保障会社を例に」『国際協力研究誌』18(3), 53-63 頁
- 長谷川理恵 2006 「中国新疆の元遊牧民の現在: 北地域のカザフ族を中心に」『地域文化研究』4, 101-120 頁
- 服部範子等 2004 → 宮坂靖子、服部範子 2004
- 服部範子 2004 → 岩崎雅美編 2004 に所載
- バートルガ、スヘー 2007 「ポスト社会主義モンゴルにおける伝統の復興とエスニシティ: カザフ人社会における二つの儀礼をめぐって」『愛知県立大学大学院国際文化研究科論集』8, 109-133 頁
- バートルガ、スヘー 2013 「モンゴル西部カザフ集住県におけるイスラム信仰と伝統文化の復興」『共生の文化研究』8, 26-30 頁
- 花岡伸也、川崎智也 2012 「中央アジアを対象とした内陸国貨物輸送における港湾アクセス」『日本物流学会誌』20, 229-235 頁

- 羽生勇作 2010 → 大杉卓三、大谷順子編 2010 に所載
- バヒリディノフ, マンスル 2006 「ウズベキスタン共和国における近代国際法の受容及び外交の発展：シルクロード衰退期から不平等条約締結まで」『法學政治學論究：法律・政治・社会』 69, 227-258 頁
- バヒリディノフ, マンスル 2008 「ウズベキスタン共和国における国際法の国内実施および形成の過程：一九九二年の共和国憲法と一九九五年のウズベキスタン共和国条約法を中心に」『法學政治學論究：法律・政治・社会』 78, 63-88 頁
- バフティヤール・イスマーイール（白海提）2008 「中国社会科学院民族学人類学研究所所蔵のチャガタイ語・ペルシア語写本」『内陸アジア史研究』 23, 139-151 頁
- バフティヤール・イスマーイール（白海提）2010 「ホージャ・イスハークの伝記 *Ḍiyā' al-Qulūb*：その構成と執筆意図をめぐって」『西南アジア研究』 72, 48-64 頁
- バフロノヴァ, ムニサ 2008 「民族的マイノリティの言語選択とアイデンティティ：旧ソ連中央アジア・ウズベキスタンの学校教育現場の事例から」『言語情報科学』（東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻） 6, 265-282 頁
- 浜口俊雄等 2012 → 峠嘉哉、田中賢治、小尻利治、浜口俊雄 2012
- Hamada, Masami, 2004 → Dudoignon, Stéphane A. and Komatsu Hisao, eds., 2004 に所載
- 濱田正美 2005 → 松原正毅、小長谷有紀、楊海英編 2005 に所載
- 濱田正美 2008 「北京第一歴史档案館所蔵コーカンド関係文書 9 種」『西南アジア研究』 68, 82-111 頁
- 濱本真実 2005 「テュルク系エリートのロシア化とロシア人エリート社会：17 世紀末のナルベコフ家系譜を中心に」『内陸アジア史研究』 20, 45-65 頁
- 濱本真実 2005 「17 世紀ロシアにおける非ロシア正教徒エリート政策」『スラヴ研究』 52, 63-98 頁
- 濱本真実 2007 「一六四九年法典とリトアニア法典における異民族：タタール人に関する条項を中心に」『ロシア史研究』 80, 25-35 頁
- Hamamoto, Mami, 2011 → Uyama, Tomohiko, ed., 2011 に所載
- 濱本真実 2012 → 塩川伸明、小松久男、沼野充義編 2012 に所載
- ハムヅラ・アスカ等 2011 → アプリミテ・ミジテ、河原達也、ハムヅラ・アスカ 2011
- 林裕 2012 「アフガニスタン農村における現状と意思決定構造」『東洋研究』 (185), 103-120 頁
- 原百年 2011 「新疆における中国ナショナリズムの展開」（政治行政学科創立二十周年記念号）『山梨学院大学法学論集』 68, 189-206 頁
- パルハト・アブドカディル → マミテリ・ニマテ、パルハト・アブドカディル、山本いずみ 2011

- 番原理 2004 「カザフスタンにおける物流の現状と問題点」『物流問題研究』（流通経済大学物流科学研究所）44, 15-37 頁
- 半谷史郎 2004 「フルシチョフ秘密報告と民族強制移住：クリミア・タタール人、ドイツ人、朝鮮人の問題積み残し」『ロシア史研究』75, 85-100 頁
- 半谷史郎等 2005 → 岡奈津子、半谷史郎 2005
- Hanya, Shiro, 2007 → Uyama, Tomohiko, ed., 2007 に所載
- 半谷史郎 2010 「ツェリノグラード事件再考：「停滞の時代」のソ連の民族政策」『アジア経済』51(6), 24-42 頁
- 半谷史郎、岡奈津子 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 費燕 2007 「新疆におけるウイグル族の中国語教育、学習の現状について」『成城文芸』（成城大学文芸学部）198, 53-71 頁
- 東島雅昌 2013 → 伊東孝之監修、広瀬佳一、湯浅剛編 2013 に所載
- 日高晋介 2013 「ウズベク語：補遺データ（受動表現、ヴォイスとその周辺、モダリティ）」『語学研究所論集』18, 467-485 頁
- 日吉秀松 2009 「中国のエネルギー戦略と中央アジアとの経済関係」『日本大学精神文化研究所紀要』39, 103-124 頁
- 平田弘治 2004 「アゼルバイジャンの石油産業とコーカサスの経済発展」中津孝司編『ロシア東欧産業新地図』創文社, 104-124 頁
- 平田弘治 2004 「カザフスタンの経済開発とエネルギー産業」中津孝司編『ロシア東欧産業新地図』創成社, 131-150 頁
- 平田昌弘、アイピブラ・イマム 2007 「中国新疆ウイグル自治区中央部における乳加工体系」『北海道民族学』3, 1-9 頁
- 平田昌弘、Aibibula Yimamu、Tursunay Reyim 他 2008 「中国新疆ウイグル自治区昌吉市阿什里合薩克族郷における定住化政策と牧畜形態の変遷」『沙漠研究』17(3), 123-132 頁
- 平田昌弘 2011 「ユーラシア大陸の乳加工技術と乳製品（第9回）中央アジア：カザフスタンの事例」『ニューフードインダストリー』53(9), 71-82 頁
- 平林今日子、川野徳幸、松尾雅嗣 2009 「カザフスタン共和国セミパラチンスク核実験被害に関する近郊住民インタビュー（核の被害再考）」『IPSHU 研究報告シリーズ』（広島大学平和科学研究センター）41, 109-176 頁
- 平林今日子、佐藤健一、大瀧慈他 2012 「セミパラチンスク地区住民の核実験に起因する認識構造」『長崎医学会雑誌』87（特集号）, 280-285 頁
- 廣瀬徹也 2009 → 宇山智彦、クリストファー・レン、廣瀬徹也編 2009 に所載
- 廣瀬徹也 2010 「中央アジアと日本」『ロシア・ユーラシア経済』932, 26-40 頁

- 廣瀬陽子 2004 → 田畑伸一郎、末澤恵美編 2004 に所載
- 廣瀬陽子、岩下明裕ほか 2004 → 田畑伸一郎、末澤恵美編 2004 に所載
- 廣瀬陽子 2004 → 『国際政治』 138, 2004 に所載
- 廣瀬陽子 2005 「アゼルバイジャンの世襲政治」『海外事情』（拓殖大学海外事情研究所）  
53(5), 51–62 頁
- 廣瀬陽子 2006 → 『ロシア・ユーラシア経済調査資料』 893, 2006 に所載
- 廣瀬陽子 2008 「ロシア・グルジア紛争で緊迫するコーカサス情勢」『ロシア NIS 経済速報』  
1439, 1–11 頁
- 廣瀬陽子 2009 → 前田弘毅編 2009 に所載
- 廣瀬陽子 2012 「グルジア紛争後のグルジアとアゼルバイジャン：未承認国家政策の変化を中心」『国際情勢：紀要』 82, 157–167 頁
- 廣田千恵子 2013 「カザフの伝統的手芸技法：モンゴル国バヤン・ウルギー県の事例から」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』 15, 131–149 頁
- 樋渡雅人 2004 「ウズベキスタンの慣習経済：マハッラ共同体機能の検討から」『アジア研究』  
50(4), 79–97 頁
- 樋渡雅人 2005 「ウズベキスタンのプライベート・トランスファー（私的資源移転）：社会保障機能の分析」『アジア経済』（アジア経済研究所） 46(4), 21–46 頁
- Hiwatari, Masato, 2008, “Traditions and the Informal Economy in Uzbekistan: A Case Study of Gaps in the Andijan Region”, *Acta Slavica Iaponica* 25, pp. 43–66
- 樋渡雅人 2010 「ウズベキスタンの『マハッラ』と『自治村落論』：地縁共同体の国際比較に向けて」『経済学研究』 60(2) (通号 213), 123–145 頁
- 樋渡雅人 2011 「ウズベキスタンの経営文化：開発論における共同体像とマハッラの共同体像」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』 951, 19–33 頁
- Hu, Li et al., 2008 → Alimujiang Kasimu, Li Hu, Takashi Ishiyama and Ryutaro Tateishi 2008
- 夫馬基彦 2012 「逆接のウズベキスタン」『季刊文科』 55, 26–41 頁
- 福島青史 2008 「日本の多言語状況と「複言語主義」：来日ウズベキスタン人の多言語能力と使用領域調査から」『早稲田日本語教育学』 2, 29–44 頁
- 福田誠治 2012 → 嶺井明子、川野辺敏編 2012 に所載
- 福田浩子 2009 「中央アジア・ウズベクの刺繍布（スザニ）：アイ・パラックと呼称される一群について」『関西大学東西学術研究所紀要』 42, 37–49 頁
- 福田浩子 2011 「中央アジアの民族衣装・女性用脚衣についての一考察：広島県立美術館蔵ウズベクのイシュトン、トルクメンのバラクを中心に」『広島県立美術館研究紀要』 14, 1–12 頁

- 福田浩子 2011 「中央アジア・トルクメン人の民族衣装コイネクについて」 橋寺知子, 森部豊, 蜷川順子, 新谷英治共編『アジアが結ぶ東西世界 (アジアにおける経済・法・文化の展開と交流; 3)』関西大学出版部, 210-243 頁
- 福田浩子 2012 → 森部豊、橋寺知子編 2012 に所載
- 藤沼貴 2007 「ロシアの作家とチェチェン：A・S・プーシキンの故郷と異境」『創価大学外国語学科紀要』17, 5-23 頁
- 藤本透子 2005 「あるインテリ女性の子育て：ソ連時代からカザフスタン独立後の変動のなかで」『沙漠研究』14(4), 231-246 頁
- 藤本透子 2008 「ポスト・ソビエト時代の死者供養：カザフスタン北部農村における犠牲祭の事例を中心に」『スラヴ研究』55, 1-28 頁
- 藤本透子 2013 → 帯谷知可編 2013 に所載
- 藤森信吉等 2006 → 宇山智彦、前田弘毅、藤森信吉 2006
- 藤家洋昭 2004 → 林徹、梅谷博之編 2004 に所載
- 藤山正二郎 2005 → 『アジ研ワールド・トレンド』112号, 2005 に所載
- 藤山正二郎 2006 「ウイグル社会の民俗宗教におけるタブーとジェンダー」『福岡県立大学人間社会学部紀要』14(2), 1-13 頁
- 藤山正二郎 2007 「言語教育、実践共同体、身体知：ウイグルの漢語教育」『福岡県立大学人間社会学部紀要』15(2), 37-48 頁
- 藤山正二郎 2007 → 新免康編 2007 に所載
- 藤山正二郎 2010 「ウイグル民族アイデンティティと民考漢の将来」『福岡県立大学人間社会学部紀要』18(2), 1-12 頁
- 船田善之 2006 → 森川哲雄、佐伯弘次編 2006 に所載
- 古澤文 2012 「新疆ウイグル自治区における施設栽培の展開とその分布特徴」『人間文化研究科年報』27, 217-226 頁
- 古幡哲也 2009 「カザフスタン、アゼルバイジャン、トルクメニスタンの石油・ガスの探鉱・開発の現状」『石油・天然ガスレビュー』43(1), 37-62 頁
- 古屋薫 2004 → 林徹、梅谷博之編 2004 に所載
- 古屋薫 2008 「ウズベク語」; 「アゼルバイジャン語」石井米雄編『世界の言葉・辞書の辞典アジア編』三省堂, 347-355 頁; 356-364 頁
- 米克拉依・魏力 (ミヒライ・ウィーリ) 2011 「現代ウイグル語の漢語借用に見られる音韻現象」『研究論集』11, 29-50 頁
- ベウプトヴァ, エルス (富樫耕介訳) 2013 「中央アジアとクルグズスタン (キルギス) における紛争の要因」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』974, 7-18 頁

- 鳳英里子 2008 「ソビエト・ウズベキスタン建築の表層に現れた地域性の展開：集合住宅をケース・スタディとして」『日本建築学会計画系論文集』627, 1089–1095 頁
- 保坂俊司 2011 → 梅村坦, 新免康編 2011 所載
- 甫爾加甫、黒河功、志賀永一、祖力菲亜買提 2006 「新疆地域における遊牧業展開基盤の変容：遊牧民の定住化施策の背景をめぐって」『北海道大学農経論叢』62, 77–87 頁
- 星野真 2008 → 『中国ムスリムの宗教的・商業的ネットワークとイスラーム復興に関する学際的共同研究』2008 に所載
- 星野昌裕 2005 「少数民族の在外運動組織」佐々木智弘（編）『現代中国の政治変容：構造的変化とアクターの多様化』アジア経済研究所, 131–155 頁
- 星野昌裕 2009 「ウイグル騒乱からみる中国の民族政策」『東亜』506, 32–39 頁
- 細谷良夫 2012 「新疆ウイグル自治区に残る清代城堡の探訪」『アジア流域文化研究』(8), 41–70 頁
- 堀直 2004 「清代『葉爾羌』の境域」『甲南大学紀要文学編』134, 93–122 頁
- 堀直 2005 → 松原正毅、小長谷有紀、楊海英編 2005 に所載
- 堀直 2005 → 『アジ研ワールド・トレンド』112, 2005 に所載
- 堀直 2006 「ヤルカンドの街区：旧城内の歴史的プラン復原の試み」『甲南大学紀要 文学編』144, 11–39 頁
- 堀直 2007 → 新免康編 2007 に所載
- 堀直 2008 「中国・新疆の「地方志」の現段階：現代化の十年（1998-2007）」甲南大学総合研究所編『アジア研究：文化の多様性と現代化』甲南大学総合研究所, 28–43 頁
- Hori, Sunao, 2013, “A Reconsideration of the Yarkand Document in the Ōki Collection,” *Memoirs of the Research Department of The Toyo Bunko* 70, pp. 79–109
- 堀江典生、セルゲイ・リャザンツェフ 2010 → 堀江典生編 2010 に所載
- 堀江則雄 2006 → 『ユーラシア研究』35, 2006 に所載
- 堀川徹 2005 「タリーカ研究の現状と展望：道、流派、教団」赤堀雅幸、東長靖、堀川徹編『イスラームの神秘主義と聖者信仰』東京大学出版会, 161–185 頁
- 堀川徹 2006 → 堀川徹編 2006 に所載
- Horikawa, Toru, 2012 → Babadjanov, Bakhtiyar and Kawahara Yayoi, eds., 2012 に所載
- 堀川徹 2012 → 森部豊、橋寺知子編 2012 に所載
- 堀谷留美等 2008 → 鳥越隆士、堀谷留美 2008
- 本多光雄 2009 「東アジア 3 国と中央アジアの関係：ユーラシアン・ランド・ブリッジへの模索」『日本大学経済学部経済科学研究所紀要』39, 131–147 頁
- マイラ・トルソン、津谷好人 2008 「中国西部地域の農業産業化における龍頭企業間競争の

- 実態分析：新新疆ウイグル自治区の二大トマト加工龍頭企業を事例に『農業経営研究』46(1), 183-188 頁
- マイラ・トルソン、津谷好人 2009 「農業産業化における龍頭企業と農家間の契約栽培に関する分析：新疆ウイグル自治区を事例に」『農業経営研究』47(2), 191-196 頁
- 前川恵 2012 「アゼルバイジャンのエネギー戦略：近年の石油・天然ガス分野の動向と今後の展望」『外務省調査月報』2012 年度 (2), 27-55 頁
- 前田弘毅 2004 「シャー・アッパース 1 世の対カフカス政策：『異人』登用の実像」『史学雑誌』113(9), 1-37 頁
- 前田弘毅 2006 「国境と民族：コーカサスの歴史から考える」岩下明裕編著『国境・誰がこの線を引いたのか：日本とユーラシア』（スラブ・ユーラシア叢書）北海道大学出版会，31-56 頁（第二章）
- 前田弘毅等 2006 → 宇山智彦、前田弘毅、藤森信吉 2006
- 前田弘毅 2009 → 前田弘毅編 2009 に所載
- 前野高章 2011 「中央アジア諸国の貿易構造と輸出決定要因分析」『日本大学経済学部経済科学研究所紀要』41, 169-190 頁
- 松井啓 2007 「冷戦終焉とルーブル圏の崩壊：カザフスタン共和国の例」『杏林社会科学研究』（杏林大学社会科学学会）22(4), 44-70 頁
- 松井啓 2010 「カザフスタンと中央アジアの新グレートゲーム」『ロシア・ユーラシア経済』938, 2-19 頁
- 松里公孝 2009 → 前田弘毅編 2009 に所載
- 松里公孝等 2009 → 久保慶一、西山克典、鳥山祐介、家田修、宇山智彦、松里公孝 2009
- 松嶋希会 2008 「特集 2 ロシア・中央アジア諸国における倒産法制」『ICD news：法務省法務総合研究所国際協力部報』34, 91-111 頁
- 松嶋希会 2010 「移行経済国に対する支援：ウズベキスタン・中央アジア諸国」『法律時報』82(1) (通号 1017), 38-41 頁
- 松永裕二 2012 → 嶺井明子、川野辺敏編 2012 に所載
- 松本和久 2010 「新疆生産建設兵団における党・政・軍関係」『早稲田政治公法研究』93, 43-57 頁
- 松本ますみ 2006 「中国ムスリムに対するキリスト教宣教」『日本中東学会年報』22(1), 141-171 頁
- 間野英二 2005 「15・16 世紀、中央アジアにおける君臣儀礼：その一 会見の儀礼」『東方学』109, 1-23 頁
- 間野英二 2008 「シルクロード史観再考：森安孝夫氏の批判に関連して」『史林』91(2), 116-

136 頁

マヒムットジャン・ママトジャン 2011 「ウイグル語・日本語機械翻訳における格助詞対応問題」『情報学研究：朝日大学経営学部電子計算機室年報』20, 21-26 頁

ママティ → ラヒラ・ママティ

マミテリ・ニマテ、パルハト・アブドカディル、山本いずみ 2011 「MOSES を用いた日本語ウイグル語機械翻訳実験」『情報処理学会研究報告 自然言語処理研究会報告』2011-NL-203(5), 1-5 頁

丸山鋼二 2012 「新疆クチャ地方のイスラム化と仏教文化破壊：中国新疆イスラム教小史 (4)」『文教大学国際学部紀要』22(2), 121-141 頁

丸山鋼二 2012 「新疆トルファン地方のイスラム化と仏教衰退：中国新疆イスラム教小史 (5)」『文教大学国際学部紀要』23(1), 85-100 頁

丸山鋼二 2013 「新疆ハミ地方のイスラム化：中国新疆イスラム教小史 (6)」『文教大学国際学部紀要』23(2), 59-75 頁

ミジテ → アプリミテ・ミジテ

水嶋一雄 2008 「タジキスタン南東部ワハン地域に居住するワヒ民族」『地理学論集』（北海道地理学会）83, 12-21 頁

水嶋一雄等 2011 → 落合康浩, 水嶋一雄 2011

水谷邦子 2012 → 嶺井明子、川野辺敏編 2012 に所載

水谷尚子 2007 → 新免康編 2007 に所載

水谷尚子 2008 「ムハンマド・イミン・ボグラと『東トルキスタン史』を語る：娘婿ユヌス・ボグラ、娘ファティマ・ボグラの口述」『日本中央アジア学会報』4, 29-39 頁

水谷尚子 2012 『『革命的東トルキスタン』紙のタタール人記者ムニール・イブラギモヴィチ・イェルズィン回想録』『社会システム研究』24, 181-222 頁

水谷尚子 2012 「キルギス共和国のウイグル人」『麗沢大学紀要』94, 177-218 頁

水谷令子等 2012 → 富田寿代、水谷令子 2012

南野大介 2004 「クリミアにおける民族関係と紛争予防：クリミア・タタール人の社会統合と市民社会の構築を中心に」『ユーラシアの平和と紛争』（秋野豊ユーラシア基金）4, 5-42 頁

嶺井明子 2012 → 嶺井明子、川野辺敏編 2012 に所載

ミヒライ・ウィーリ → 米克拉依・魏力

三村光弘等 2012 → 朱永浩、三村光弘 2012

三宅隆史 2012 → お茶の水女子大学グローバル協力センター編 2012 に所載

宮坂靖子、服部範子 2004 「中国・新疆ウイグル自治区におけるウイグル族の家族・世帯と

- ライフコース：イーニン市におけるケース・スタディ」『家政学研究』50(2), 163-169 頁  
宮坂靖子 2004 → 岩崎雅美編 2004 に所載
- 関丙勳 2012「講演 韓国における中央アジア学研究的現況：学際的研究とその実例の紹介」『史  
滴』34, 274-277 頁
- ムサエフ, ターライベク 2007「英雄叙事詩『マナス』に見られるキルギス語の使役接尾辞：  
Dir と Giz」『ククロス：国際コミュニケーション論集』4, 17-31 頁
- ムフタル・アブドゥラフマン 2013『『幸福を与える智慧』における国家論：ウイグル哲学の  
頂点における理想的国家像』『哲学論文集』49, 37-55 頁
- 村上信明 2009 → 窪田順平、承志、井上充幸編 2009 に所載
- 村田仁代 2004 → 岩崎雅美編 2004 に所載
- 村田仁代等 2006 → 岩崎雅美、村田仁代 2006
- 村主道美、小野瑞絵 2013「急進的イスラーム主義と「国家」の独立：ザワヒリの幻想と、北  
コーカサス・チェチェン共和国」『学習院大学法学会雑誌』49(1), 211-258 頁
- 村山和之 2007「イスラーム礼拝施設実見録：ウズベキスタン・オアシス都市での祈り方『パ  
ハウッディン』と『ヒズル・モスク』にて」『東西南北 2007』（和光大学総合文化研究所）  
199-209 頁
- 奈尾雪絵 2010 → 大杉卓三、大谷順子編 2010 に所載
- メメティ → タシ・メメティ
- メルトハン・デュンダル → デュンダル, メルトハン
- 元木靖 2011「新疆ウイグル自治区の土地利用」(特集 アジアの暮らしと土地利用)『地理』  
56(9), 36-49 頁
- モハンティ・アルン (本村 眞澄 編) 2012「インドから見たロシア・中央アジアのエネルギー  
戦略」『石油・天然ガスレビュー』46(3), 7-15 頁
- 森岡修一 2010「中央アジアにおける教育と発展：タジキスタンとカザフスタンの社会変  
動に関するケース・スタディーを中心に」『コミュニケーション文化論集』（通号 8）,  
89-112 頁
- 森岡修一 2012「中央アジアにおける教育と発展：ウズベキスタンの社会変動に関するケース・  
スタディーを中心に」『コミュニケーション文化論集』10, 41-63 頁
- 森岡修一 2012 → 嶺井明子、川野辺敏編 2012 に所載
- 森川哲雄 2010 → 大杉卓三、大谷順子編 2010 に所載
- 矢島洋一 2006 → 堀川徹編 2006 に所載
- 矢島洋一 2009 → 森本一夫編 2009 に所載
- Yajima, Yoichi, 2012 → Babadjanov, Bakhtiyar and Kawahara Yayoi, eds., 2012 に所載

- 梁井新一 2012 「アフガニスタンは何処へ行く？米国はパキスタンの懸念を直視せよ」『パキスタン』241, 11-29 頁
- 山口博子 2010 「紀昀の見た烏魯木齊：清朝による辺境開発の一側面」『都市文化研究』12, 65-76 頁
- 山崎典子 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- 山本いずみ等 2011 → マミテリ・ニマテ、パルハト・アブドカディル、山本いずみ 2011
- 山本賢二 2008 「北京五輪前後の新疆情勢」『現代中国事情』（日本大学国際関係学部中国情報センター）22, 70-89 頁
- 山本賢二 2011 「新疆「七・五」事件と中国のインターネット規制」『政経研究』47(4), 779-812 頁
- 山本賢二 2012 「中国における共通語普及政策と少数民族語：新疆ウイグル自治区を例にして」『桜文論叢』82, 83-113 頁
- 矢元龍治、泉田洋一 2008 「カザフスタン共和国北部における小麦農家の総合生産性分析」『農村研究』106, 84-95 頁
- 湯浅剛 2004 「日本の対中央アジア諸国外交：経緯と課題」『最近のロシア情勢と我が国の対ロシア外交のあり方に関する調査研究』（財団法人産業研究所委託研究報告書）, 財団法人世界平和研究所, 114-124 頁
- 湯浅剛 2004 「カザフスタン、ウズベキスタンの対外政策：9.11 事件後のロシア、米国との関係を中心に」『イラク戦争後のプーチン政権の対中央アジア政策』（平成 15 年度外務省委託研究報告書）, 日本国際問題研究所, 31-45 頁
- 湯浅剛 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004 に所載
- 湯浅剛 2004 → 『国際政治』138, 2004 に所載
- 湯浅剛 2006 「中央アジアにおける集団的アイデンティティ：地域秩序を形成する要因として位置づける」『ロシア・東欧研究』34, 37-47 頁
- 湯浅剛 2006 「2005 年の中央アジア諸国：キルギスタン、ウズベキスタンでの動乱とその余波」『アジア動向年報 2006』（アジア経済研究所）, 621-644 頁
- 湯浅剛 2007 「中央アジアにおける中国ファクター」木村汎、袴田茂樹編『アジアに接近するロシア：その実態と意味』北海道大学出版会, 118-135 頁
- 湯浅剛 2007 「2006 年の中央アジア諸国：安定と動乱ーさらなる政治変動への予兆」富重真一、村山真弓編『アジア動向年報 2007』アジア経済研究所, 609-632 頁
- Yuasa, Takeshi, 2007, "Japan's Multilateral Approach toward Central Asia", Iwashita, Akihiro, ed., *Eager Eyes Fixed on Eurasia*. Vol. 1, Russia and Its Neighbors in Crisis, 21st Century COE Program, Slavic Eurasian Studies No.16-1, Sapporo: Slavic Research Center, Hokkaido

- University, pp.65-84.
- Yuasa, Takeshi, 2007, "Russia's Policy toward Central Asia: Tendencies of Limited Engagement", Eberhardt, Adam and Akihiro Iwashita, eds., *Security Challenges in the Post-Soviet Space: European and Asian Perspectives*, Warsaw-Sapporo: Polish Institute of International Affairs, Slavic Research Center, Hokkaido University, pp.118-135.
- 湯浅剛 2008 「ロシア・中央ユーラシア：地域の概観」；「ロシア」広瀬佳一、小笠原高雪、上杉勇司編『ユーラシアの紛争と平和』明石書店, 85-94 頁; 95-107 頁
- 湯浅剛 2009 「介入と地域メカニズムの形成：ロシア主導型地域協力枠組みの考察のための覚え書き」望月克也編『国際安全保障における地域メカニズムの新展開』（アジア経済研究所 2008 年度調査研究報告書）アジア経済研究所, 31-47 頁
- 湯浅剛 2009 「ユーラシア国際秩序の新展開：2008 年 8 月、ロシア・グルジア紛争の衝撃」『中・東欧・コーカサス及び中央アジアから見た欧州の安全保障情勢』（平成 20 年度外務省委託研究「安全保障に関する知的交流」報告書 [主査：福島安紀子・国際交流基金特別研究員]）財団法人日本国際フォーラム, 39-51 頁
- 湯浅剛 2009 「ソ連のアフガニスタン経験：外部勢力による国家形成への介入」『防衛研究所紀要』12(1), 1-28 頁
- 湯浅剛 2009 → 宇山智彦、クリストファー・レン、廣瀬徹也編 2009 に所載
- 湯浅剛 2010 「ユーラシアの移民と安全保障：問題の位置づけとロシア、カザフスタンの現状」『防衛研究所紀要』12(2・3), 31-47 頁
- 湯浅剛 2010 「上海協力機構（SCO）：地域安全保障に向けた可能性と限界」広瀬佳一、宮坂直史編『対テロ国際協力の構図：多国間連携の実態と課題』ミネルヴァ書房, 133-152 頁
- 湯浅剛 2011 → 松本弘編著 2011 に所載
- 湯浅剛 2012 → 堀江典生編 2010 に所載
- 湯浅剛 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 湯浅剛 2013 → 伊東孝之監修、広瀬佳一、湯浅剛編 2013 に所載
- ユスップ → アブリズ・ユスップ
- 吉川元 2011 「民族自治制度とアイデンティティ政治：ザカフカス民族紛争をもたらした自治制度」『法学新報』117(11・12), 457-494 頁
- 由川稔 2005 「中央アジア諸国の対外政策と開発戦略（下）」『東洋研究』（大東文化大学東洋研究所）156, 21-55 頁
- 吉田一康 2012 「カザフスタンの国際商事仲裁について」『JCA ジャーナル』59(5), 2-7 頁
- 葎田光三等 2008 → 大塚友美、青木一能、葎田光三他 2008
- 吉田世津子 2004 「宴の作法：中央アジア・北部農村クルグズ人の祝宴とふるまい」渡邊欣

- 雄編『アジア遊学 61：世界の宴会』所収、勉誠出版, 91-103 頁
- 吉田世津子 2007 → 新免康編 2007 に所載
- 吉田世津子 2008 → 『中国ムスリムの宗教的・商業的ネットワークとイスラーム復興に関する学際的共同研究』2008 に所載
- 吉田世津子 2012 「家屋を建てる：旧ソ連領中央アジア・北部クルグズ農村における世帯形成とキョウダイ」風間計博、中野麻衣子、山口裕子、吉田匡興編『共在の論理と倫理：家族・民・まなごしの人類学』はる書房, 73-95 頁
- 吉田世津子 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 吉田達矢 2013 「戦前期の名古屋におけるタタール人の諸相：人口推移と就業状況を中心に」『名古屋学院大学論集 言語・文化篇』24(2), 281-291 頁
- 吉田達矢 2013 「戦前期の名古屋におけるタタール人の諸相 (2)：名古屋回教徒団とイデル・ウラル・トルコ・タタール文化協会名古屋支部の活動を中心に」『名古屋学院大学論集 人文・自然科学篇』50(1), 15-34 頁
- 吉村貴之 2006 → 『ロシア・ユーラシア経済調査資料』893, 2006 に所載
- 吉村貴之 2011 → 松本弘編著 2011 に所載
- 四日市康博 2006 → 森川哲雄、佐伯弘次編 2006 に所載
- 米山正博 2013 「アフガニスタン国農業灌漑牧畜省組織体制強化プロジェクト（農業研究・普及支援）」『国際農林業協力』36(4), 25-31 頁
- 羅郁重（西脇隆夫訳）2013 「翻訳 最初の漢語訳断片「マナスの誕生」」『名古屋学院大学論集 人文・自然科学篇』49(2), 57-73 頁
- ラヒラ・ママティ 2010 「中国・新疆におけるウイグル族のリプロダクティブ・ヘルス/ライツ：中絶に影響を与える要因を中心に」『家政学研究』56(2) ( 通号 112), 50-58 頁
- 李彦及 2012 「中国の高校における新疆クラスの生徒募集に関する考察」『広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部 教育人間科学関連領域』61, 129-135 頁
- リズワン・アプリミティ 2005 「中国新疆のウイグル人学校における「漢語教育」の推進とその背景」『九州人類学会報』32, 82-87 頁
- リズワン・アプリミティ 2005 → 『アジア研ワールド・トレンド』112, 2005 に所載
- リズワン・アプリミティ 2007 → 新免康編 2007 に所載
- リズワン・アプリミティ 2008 「中華人民共和国成立後の新疆における学校教育の再編：1950～1959年を中心に」『内陸アジア史研究』23, 115-137 頁
- リズワン・アプリミティ 2010 「中華人民共和国成立後の新疆における「民族学校」の漢語教育をめぐる一考察」『アジア・アフリカ言語文化研究』78, 43-77 頁
- リズワン・アプリミティ 2010 → 大杉卓三、大谷順子編 2010 に所載

- リヤザンツェフ,セルゲイ等 2010 → 堀江典生編 2010 に所載
- 龍甚良、加藤孝明、小出治 2010 「中国の都市地震防災対策における地震被害想定の実用性の現状と課題：中国新疆ウイグル自治区ウルムチ市の事例として」『地域安全学会論文集』12・13, 157-165 頁
- 劉智彪、吳琮 2012 「新疆英吉沙小刀伝統工芸概説」 *Bulletin of Asian Design Culture Society : International Symposium of Asian Design Culture Society* 6, 179-184 頁
- Reyim → Tursunay Reyim
- 呂光洙 2009 「中国農村における教員指導力開発プログラムの展開過程の分析：新疆ウイグル自治区を事例として」『教育学研究ジャーナル』（中国四国教育学会）5, 21-29 頁
- ロシャングリ・ウフル 2013 「中国における森林資源の最適管理政策：新疆ウイグル自治区を事例として」『国際開発研究』22(1), 1-12 頁
- 和崎聖日 2007 「ポスト・ソヴィエト時代のウズベキスタンの『乞食』：都市下位文化におけるイスラームと共同性」『文化人類学』（日本文化人類学会）71(4), 458-482 頁
- 和崎聖日 2008 「人々はなぜ『乞食』に施しをするのか？：体制転換期のウズベキスタンにおける物乞い - 施し交渉の分析」『三田社会学』13, 93-113 頁
- 和崎聖日 2008 「多民族都市タシュケントの欲動：ポスト・ソヴィエト・ウズベキスタンにおける物乞い生活者像が照らすもの」『生活学論叢』13, 3-14 頁
- 鷲尾惟子 2009 「ウイグル民間歌曲の変容と意識の方向性：ホタン民間歌曲を中心に」『内陸アジア史研究』24, 105-122 頁
- 鷲尾惟子 2009 「観光化によるパフォーマンス空間の変容：中国新疆・ウイグル人の民間音楽を中心に」『旅の文化研究所研究報告』17, 47-62 頁
- 鷲尾惟子 2012 → 帯谷知可、北川誠一、相馬秀廣編 2012 に所載
- 鷲尾惟子 2012 → 中国ムスリム研究会編 2012 に所載
- 鷲尾惟子 2013 「民謡の歌詞と演奏スタイルに見る「個人」の役割：中国新疆ウイグル人の民謡を例に」『人間文化研究科年報』28, 191-201 頁
- 輪島実樹 2004 → 岩崎一郎、宇山智彦、小松久男編 2004 に所載
- 輪島実樹 2004 → 『国際政治』138, 2004 に所載
- 輪島実樹等 2004 → 岩崎一郎、片山博文、輪島実樹 2004
- 輪島実樹 2008 → 池本修一、杉浦史和、岩崎一郎編 2008 に所載
- 和田賢治 2012 「アフガニスタンの農村女性に対するカナダの自立支援プログラム：統治技術としてのエンパワーメント」『カナダ研究年報』32, 19-34 頁
- 渡辺紫乃 2012 「中国の中央アジア外交：安全保障、資源エネルギー、経済面での協力と今後の課題」『海外事情』60(9), 32-48 頁

- Watanabe, Teiji, Maksat Anarbaev, Yasuhiro Ochiai, Shigeyuki Izumiyama and Lebaiatelaite Gaunavinaka, 2009, “Tourism in the Pamir-Alai Mountains, Southern Kyrgyz Republic” 『地理学論集』(北海道地理学会) 84, 3–13 頁
- Watanabe, Teiji, Shigeyuki Izumiyama, Lebaiatelaite Gaunavinaka and Maksat Anarbaev, 2010, “Wolf depredation on livestock in the Pamir” 『地理学論集』 85, 26–36 頁
- 渡辺悌二、泉山茂之、澤柿教伸、ガウナビナカ・レンバイアテライテ、マクサト・アナルバエフ 2011 「ソ連邦崩壊後のパミールにおける家畜の移牧と環境問題」 『季刊地理学』 63(1), 42–43 頁
- 渡邊知積 2011 「JFL 環境におけるピア・ラーニングを前提としたモノリンガル教師による日本語通訳入門コースの考察：キルギス共和国日本人材開発センターにおける実践を通して」 『群馬大学国際教育・研究センター論集』 10, 59–75 頁
- 渡邊三津子 2012 → 窪田順平監修、渡邊三津子編 2012 に所載
- 渡邊三津子等 2012 → 窪田順平監修、渡邊三津子編 2012 に所載
- Wafayezada M. Qasim 2012 「アフガニスタンにおけるエスニック政治， エスニック政党と民主的平和建設の将来」 『人間社会環境研究』 24, 65–91 頁
- Wafayezada, Qasim 等 2012 → 鹿島正裕、Qasim Wafayezada 2012

中央アジア関連研究文献リスト 2004～2013年  
(『日本中央アジア学会報』第11号付録)

---

2015年3月25日発行

編集 日本中央アジア学会編集委員会

発行 日本中央アジア学会

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

中央大学文学部 新免康研究室内

日本中央アジア学会事務局

E-mail: [jacas\\_info@yahoo.co.jp](mailto:jacas_info@yahoo.co.jp)

Website: <http://www.jacas.jp/>

---

© 2015 JACAS